

2025 年度  
講 義 要 領  
(シラバス)

理学療法学科  
昼間部 1 年生



専門学校東京医療学院

# 講 義 要 項

科目名	社会福祉概論						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	30	授業形態	講義
担当教員	渡辺 芳								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	火	時限	2		
授業概要	社会福祉制度の必要性、各領域の活動・法律、社会福祉と医療の関係を学ぶことを目的として授業を行う。								
学修目標	社会福祉の法・制度について、体系的理解をめざす。社会福祉の考え方を理解し、患者・利用者支援に必要な価値観を身に付ける。								
授業方法	講義形式中心に行います。映像教材や事例検討をとり入れて行う予定です。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8	(火)	2限	社会福祉とは何か:現代社会と社会福祉					渡辺 芳
2	4/15	(火)	2限	社会福祉の援助活動:友人をたすける事との違い					渡辺 芳
3	4/22	(火)	2限	ライフデザインと社会福祉・家族・労働					渡辺 芳
4	4/29祝	(火)	2限	ライフサイクル上の生活課題					渡辺 芳
5	5/13	(火)	2限	社会福祉におけるニーズ					渡辺 芳
6	5/20	(火)	2限	社会福祉の政策					渡辺 芳
7	5/27	(火)	2限	福祉国家の形成 ①国民皆保険・皆年金体制の確立					渡辺 芳
8	6/3	(火)	2限	福祉国家の形成 ②ボランティアと家族主義					渡辺 芳
9	6/10	(火)	2限	ライフサイクルにおける社会福祉:児童・障害・老年・公的扶助					渡辺 芳
10	6/17	(火)	2限	社会保険制度①:介護保険					渡辺 芳
11	6/24	(火)	2限	社会保険制度②:健康保険					渡辺 芳
12	7/1	(火)	2限	社会保険制度③:年金保険					渡辺 芳
13	7/8	(火)	2限	社会福祉の行財政、給付体制、社会保障関係費					渡辺 芳
14	7/15	(火)	2限	社会福祉の理念:ノーマライゼーション QOL ソーシャルインクルージョン					渡辺 芳
15	7/22	(火)	2限	社会福祉と共生・グローバル化・格差					渡辺 芳
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習:テキストを読む(20分) 復習:授業で学んだ社会福祉活動・制度・法に関する新聞記事を探し、それについて自分の意見をまとめる。(60分)								
学修評価の 基準と方法	期末試験(持ち込み不可)で評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)~8月1日(金)								
テキスト・参考書	使用テキスト:『社会福祉をつかむ』 稲沢公一・岩崎晋也 著 (有斐閣) 参考書:講義時間内に紹介します。								
教員紹介	大学や専門学校で社会福祉を教える傍ら、川崎市のホームレス支援の活動をしています。社会福祉援助を必要とする人々の生活について一緒に考えていきましょう。								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	老年学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	30	授業形態	講義
担当教員	武田校長								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日		時限			
授業概要	高齢化社会において、老化、高齢者の身体的、精神的特徴を理解することは理学療法士にとって、治療を行う上で重要である。老年学授業で高齢者の特徴を深く理解出来る授業を心がける。								
学修目標	高齢者の心身の特徴を理解し、高齢者特有の疾患概要を習得する。臨床の現場での応用に役立つ授業を行って行く。								
授業方法	老年学の教科書は、一部臓器別に構成されているが、いずれも高齢者を理解する上で重要な内容である。小児、成人とは高齢者は別なる特徴有する事を、知ってもらう授業を心がける。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	老化と老年病の考え方、加齢に伴う変化(生理機能)								武田校長
2	加齢に伴う変化(運動機能)、(精神心理面)、(性差医療)								武田校長
3	高齢者の定義および人口動態、高齢者との接し方								武田校長
4	高齢者の機能評価、薬物療法								武田校長
5	老年症候群、循環器疾患								武田校長
6	呼吸器疾患、消化器疾患								武田校長
7	骨・運動器疾患、神経疾患								武田校長
8	精神疾患、内分泌疾患								武田校長
9	血液・免疫疾患、腎疾患								武田校長
10	泌尿器疾患、皮膚・口腔疾患								武田校長
11	感染症、耳鼻咽喉疾患								武田校長
12	眼疾患、東洋医学								武田校長
13	老年学、社会学								武田校長
14	高齢者医療、リハビリテーション、終末期医療								武田校長
15	総合まとめ								武田校長
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習は教科書の単元ごとに、どのような内容か、授業前に一読して欲しい。また復習はプリント、黒板の記載内容をしっかりと理解することが重要である。毎週90分予習・復習にあてる。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験(記述+国試形式)にて評価する。試験内容は論述式を中心に出题し、試験結果60点未満は再試。								
試験時期	第16回授業日に本試験を行う。								
テキスト・参考書	テキスト: 標準 理学療法学・作業療法学 奈良 勲、鎌倉 矩子著 医学書院(ISBN:978-4-260-01984-2) 参考書: 老年学テキスト 飯島節、鳥羽研二著 南江堂(ISBN:4-524-2402-7)								
教員紹介	約30年程、リハビリテーションの教育に携わってきました。内科学が専門です。								
その他	高齢化社会の中でリハビリの臨床の現場で高齢者に接する機会が多い。理学療法士として、高齢者の特徴を知る事は、臨床の現場でより良き治療を行って行く上で大変重要である。 本試験は60点未満は再試験となります。 ※コロナ感染症の拡がりか認められた際は、休講となる可能性があり、Web授業、レポート提出に変更になります。								

# 講 義 要 項

科目名	行動科学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	金井 良								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	金	時限	2		
授業概要	行動科学とは、人間の行動を総合的に解明し、予測・統御しようとする実証科学である。本講義では、医療における対人行動に焦点を絞り、患者の主体性・自律性を尊重・また自身の特性・行動を考える。また、患者の自立に向けてどのように援助することが大切なのか考える。								
学修目標	患者の主体性・自律性を尊重しながら、患者の自立に向けた援助を実践するための理論・スキルを身につける。個人の特性やストレス耐性に対するスキルを身につける。								
授業方法	座学、演習、発表								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/4 (金) 2限	行動科学とは							金井
2	4/11 (金) 2限	信頼社会と安心社会 ソーシャル・キャピタルとは何か？信頼を高めるゲーム							金井
3	4/18 (金) 2限	3分間スピーチ①							金井
4	4/25 (金) 2限	3分間スピーチ①							金井
5	5/2 (金) 2限	3分間スピーチ①							金井
6	5/9 (金) 2限	自己分析(エゴグラム)							金井
7	5/16 (金) 2限	コーチング・ティーチング							金井
8	5/23 (金) 2限	対人援助・コミュニケーション							金井
9	5/30 (金) 2限	グループディスカッション							金井
10	6/6 (金) 2限	3分間スピーチ②							金井
11	6/13 (金) 2限	3分間スピーチ②							金井
12	6/20 (金) 2限	3分間スピーチ②							金井
13	6/27 (金) 2限	社会人基礎力とマナー							金井
14	7/4 (金) 2限	医療面接(問診)							金井
15	7/11 (金) 2限	医療面接(問診)							金井
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	課題が提示されたら発表までの事前準備をしっかりと実施しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	課題・発表点:60点 レポート点:40点 合計:100点								
試験時期	授業内で提示								
テキスト・参考書	対人援助とコミュニケーション／諏訪茂樹								
	自分がわかる心理テストpart2／芦原睦								
教員紹介	回復期、維持期(病院、施設、在宅)で現場経験を積んだ教員(理学療法士)が、現場でのノウハウを交えて講義する。								
その他	・ ・出席について:授業開始後30分以内に入室した場合は遅刻、それ以降の入室は欠席扱いとなる。授業開始60分以降に退出した場合は早退とする。								

# 講 義 要 項

科目名	心理学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	30	授業形態	講義
担当教員	高橋 早苗						オムニバス・通年等 シラバス分割		
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	火	時限	4		
授業概要	心理学は、人間の心や行動のメカニズムを科学的に研究する学問です。対象範囲が広く、多様性に富んでいて、さまざまな分野に分かれます。発達心理学・社会心理学・犯罪心理学などの分野だけでなく、医学やその他の分野と関連付けた研究も進んでいます。本授業では、臨床心理学の内容も含め、入門的な内容として、心理学・臨床心理学の基礎知識を学び、心を深く知り理解することで、他者とのかかわりに活かし、自分自身を見つめてよりよく生きる一助とすることを願います。								
学修目標	人間の心的過程について科学としての心理学を様々な研究分野から広く理解することを目標にします。そして心理学的な視点から思考力を高め、コミュニケーション力向上につながる授業を目指します。								
授業方法	心理学は、心を科学的に研究した学問です。難しい理論も多いと思いますが、できるだけアクティブラーニングを実施し、体験を通して具体的に学べるように教材を工夫していきます。テキストは、教育心理学なので、授業では幅広く心理学全般を扱っていきます。スライドや資料を提示しながら、具体的に理解してもらえるように様々な方法でアプローチしていきます。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8 (火)	4限	なぜ心理学を学ぶのか						高橋 早苗
2	4/15 (火)	4限	心理学とは						高橋 早苗
3	4/22 (火)	4限	心理学の研究方法						高橋 早苗
4	4/29祝 (火)	4限	感覚・知覚・注意・認知						高橋 早苗
5	5/13 (火)	4限	情動・動機付け・パーソナリティ・社会						高橋 早苗
6	5/20 (火)	4限	記憶・学習						高橋 早苗
7	5/27 (火)	4限	言語・概念・思考						高橋 早苗
8	6/3 (火)	4限	発達と知能						高橋 早苗
9	6/10 (火)	4限	防衛機制						高橋 早苗
10	6/17 (火)	4限	心理アセスメント						高橋 早苗
11	6/24 (火)	4限	臨床で用いられる心理検査						高橋 早苗
12	7/1 (火)	4限	臨床心理学の介入方法(行動的)						高橋 早苗
13	7/8 (火)	4限	臨床心理学の介入方法(内面的)						高橋 早苗
14	7/15 (火)	4限	臨床心理学の介入方法(相談的)						高橋 早苗
15	7/22 (火)	4限	総括(まとめと振り返り)						高橋 早苗
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキスト「リハベーシック 心理学・臨床心理学」は、キーワード等も簡単にまとめています。疑問点を調べたり、深く勉強したいと思う場合は、参考にして下さい。心理学は、難しい言葉や理論が多いため、予習・復習も心がけて下さい。								
学修評価の 基準と方法	授業の振り返りシート(①学習のポイント(要約)、②自分の気づきや今後の課題、③授業の振り返り)、試験を中心に評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:「リハベーシック 心理学・臨床心理学」 内山靖・藤井浩美・立石雅子 編 医歯薬出版株式会社								
教員紹介	【出身】東京都 【所属】創価大学教育学部(非常勤) 修士筑波大学教育研究科カウンセリング専攻 リハビリテーション修士、創価大学 大学院博士後期課程 文学研究科 教育学専攻 教育学博士修得 【専門】臨床心理士(2002年)、公認心理師(2021年) 学校心理学、教育心理学、発達心理学、臨床心理学、教育心理学								
その他	期末試験 60点、提出物(小テストや振り返りシート) 40点								

# 講 義 要 項

科目名	教育学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	常深 新平								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	木	時限	4		
授業概要	この講義では「教育とは何か」「教育学とは何か」ということを考えていきます。授業の前半に講義を行い、授業の後半には適宜自分で考えてもらう時間を設けます。また正しい日本語を書ける力を身につけることも目指します。								
学修目標	「教育とは何か」ということを、その理念を踏まえた上で自分の言葉で説明することができるようになる。また理学療法士としての自分の「成長」について考える。								
授業方法	最初に講義内容の概説を行います。その後、適宜ワークおよびグループ発表をしてもらいます。それをもとにみんなでディスカッションを行うことも考えています。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3 (木) 4限	イントロダクション:教育学は何のためにあるのか、教育学にはどのようなものがあるのか						常深 新平	
2	4/10 (木) 4限	「教育」とはなんだろうか①						常深 新平	
3	4/17 (木) 4限	「教育」とはなんだろうか②						常深 新平	
4	4/24 (木) 4限	「見える制度」としての公教育						常深 新平	
5	5/1 (木) 4限	教育における「見えない制度」						常深 新平	
6	5/8 (木) 4限	大人から見た「子ども」						常深 新平	
7	5/15 (木) 4限	理学療法士の教育はどのようなものが望ましいのか考えてみよう(ディスカッション)						常深 新平	
8	5/22 (木) 4限	まとめ 教育学を学んで						常深 新平	
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	事前にテキストの指定箇所はきちんと読んできて下さい。また復習として、自分が受けてきた教育を思い出して、それを捉え直してみると良いでしょう。								
学修評価の 基準と方法	評価は期末試験(レポート)100%で評価します。テーマに合った文章か、何か主張をするときにきちんと理由が述べられているか、主語と述語は合っているか、表現として適切なのか(相手に伝わる文章なのか)、といったことから総合的に評価します。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:『ワークで学ぶ、教育学 増補版 第2版』井藤 元 編 ナカニシヤ出版								
	参考書:適宜指示します。								
教員紹介	経験の質的な変容の条件について考える現象学という学問の枠組みで研究しています。とりわけメルロ＝ポンティというフランスの現象学者の理論研究から、芸術を介した知覚経験の変容のあり方とその条件を探求しています。								
その他	レポートの内容と必要な準備について最終回の授業で指示します。								

# 講 義 要 項

科目名	情報科学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	齋藤 秀敏								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	火	時限	1		
授業概要	コンピュータや情報通信ネットワークを活用して、自ら情報収集、処理、発信するための基礎知識と技能の習得を目的とする。このため、情報理論の基礎、コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェアについて理解し、特に、数値処理、統計処理においてアルゴリズムの理解からプログラムへ展開することができるような学習を行う。								
学修目標	本講義では学生各自の情報処理能力を発展させ、コンピュータを利用して問題解決できる教養と技能を習得することを目的とする。具体的には下記の項目について講義を行い、課題を各自が処理することによって講義を進めていく。								
授業方法	配布資料、プレゼンテーションおよび板書を併用して、学習内容を解説する。その後、テーマに沿った課題問題を受講者各自が解決する演習を組み合わせることで授業を進める。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	6/3 (火)	1限	コンピュータの基礎:情報・通信・コンピュータに関する基礎						齋藤 秀敏
2	6/10 (火)	1限	表計算ソフトウェア1:基本操作、データ入力、数値演算の基礎						齋藤 秀敏
3	6/17 (火)	1限	表計算ソフトウェア2:アルゴリズムの理解とプログラミングへの展開						齋藤 秀敏
4	6/24 (火)	1限	表計算ソフトウェア3:データの可視化						齋藤 秀敏
5	7/1 (火)	1限	統計の基礎1:基本統計量と組込関数						齋藤 秀敏
6	7/8 (火)	1限	統計の基礎2:2つの量的変量間の関係、相関と回帰						齋藤 秀敏
7	7/15 (火)	1限	統計の基礎3:量的変量の2群間での比較						齋藤 秀敏
8	7/22 (火)	1限	統計の基礎4:質的変量の2群間での比較						齋藤 秀敏
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	毎回の授業時に次回のテーマを提示するので、配布資料の該当箇所を予習すること。また、授業の内容の復習、課題問題を解いておくこと。								
学修評価の 基準と方法	演習課題と小テストでの評価(40%)、定期試験での評価(60%)で、授業内容の理解度と応用能力を総合的に評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	教科書は指定しない。								
	参考書は講義の中で随時紹介する。								
教員紹介	東京都立大学 名誉教授、(元)東京都立大学健康福祉学部 教授								
その他	本講義では受講者各自が積極的に課題に取り組むことを期待する。非常勤講師であるため、質問がある場合は講義時間内ですできるだけ対応する。その他の場合は、初講日に提示するメールアドレスで質問に対応する。								

# 講 義 要 項

科目名	コミュニケーション論						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	30	授業形態	講義
担当教員	高橋 早苗						オムニバス・通年等 シラバス分割	/	
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	火	時限	3		
授業概要	医療従事者は、人に対する援助に関わる対人援助職です。多種多様な人に関わることが多く、コミュニケーション能力は、重要なスキルです。本講座では、コミュニケーションの在り方について基礎知識を学ぶと共に、様々なコミュニケーションスキルを身につけることことが出来るよう実践を多く取り入れて進めていきます。								
学修目標	コミュニケーションは、相互の関係の中で成立するものであり、自己理解、他者理解を深めるために友好的コミュニケーションスキルを身につけることを目標にします。さらに異業種連携も重要な課題であり、相互理解、相互協力のためのコミュニケーションスキルも養っていきたいと考えます。								
授業方法	授業は、コミュニケーションの基礎知識を学ぶと共に、実践やワーク、グループ活動などを取り入れたアクティブラーニング中心の授業を行っていきます。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8 (火) 3限	なぜコミュニケーションを学ぶのか							高橋 早苗
2	4/15 (火) 3限	コミュニケーションの基本的な考え方							高橋 早苗
3	4/22 (火) 3限	自分を理解しよう1 交流分析を利用した自己理解・他者理解							高橋 早苗
4	4/29祝 (火) 3限	自分を理解しよう2 人生態度							高橋 早苗
5	5/13 (火) 3限	傾聴のスキル(1)							高橋 早苗
6	5/20 (火) 3限	傾聴のスキル(2)							高橋 早苗
7	5/27 (火) 3限	非言語コミュニケーション							高橋 早苗
8	6/3 (火) 3限	セルフコントロール(アンガーマネジメント)							高橋 早苗
9	6/10 (火) 3限	チームアプローチ 1(アンガーマネジメント)							高橋 早苗
10	6/17 (火) 3限	チームアプローチ 2(課題と対応)							高橋 早苗
11	6/24 (火) 3限	伝える力1ー相手の応じて							高橋 早苗
12	7/1 (火) 3限	伝える力2ーアサーション							高橋 早苗
13	7/8 (火) 3限	質問する力ー多職種連携							高橋 早苗
14	7/15 (火) 3限	ネットを介したコミュニケーション							高橋 早苗
15	7/22 (火) 3限	総括とディスカッション(まとめ)							高橋 早苗
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキストは、リハビリテーションの現場に即した内容で構成されています。時間の関係で授業では、扱えない内容もありますが、大切なことなので、自ら学んで理解してほしいと思います。								
学修評価の 基準と方法	授業の振り返りシート(①学習のポイント(要約)、②自分の気づきや今後の課題、③授業の振り返り)、試験を中心に評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:「PT・OTのためのこれぞ安心コミュニケーション実践ガイド 第2版」山口 実和者 医学書院 参考書 「リハビシク コミュニケーション論 多職種連携論」内山靖・藤井浩美・立石雅子 編 医歯薬出版								
教員紹介	【出身】東京都 【所属】創価大学教育学部(非常勤) 修士筑波大学教育研究科カウンセリング専攻 リハビリテーション修士、創価大学 大学院博士後期課程 文学研究科 教育学専攻 教育学博士修得 【専門】臨床心理士(2002年)、公認心理師(2021年) 学校心理学、教育心理学、発達心理学、臨床心理学、教育心理学								
その他	期末試験 50点、提出物(小テストや振り返りシート) 50点								

# 講 義 要 項

科目名	人間発達学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	30	授業形態	講義
担当教員	三沢 峰茂								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	木	時限	2～3		
授業概要	人の胎児期から成長、成熟を経て成人期となり死を迎える老年期までの一生涯にわたる発達について理解を深める。								
学修目標	身体構造、内部臓器、脳神経の成長、発達について理解を深め、発達心理学、精神医学からみた発達とそのそのつまづきから生じる問題について理解する。								
授業方法	配布資料、パワーポイントを用いて基本的知識を習得し考える力をつける。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/11 (木) 2限	人間発達学概論							三沢 峰茂
2	9/11 (木) 3限	受胎から老年期までの発達							三沢 峰茂
3	9/18 (木) 2限	胎児の成長と発達							三沢 峰茂
4	9/18 (木) 3限	中枢神経系の発達							三沢 峰茂
5	9/25 (木) 4限	中枢神経系の発達と反射							三沢 峰茂
6	9/25 (木) 2限	発達段階							三沢 峰茂
7	10/2 (木) 3限	姿勢・運動の発達 I							三沢 峰茂
8	10/2 (木) 2限	姿勢・運動の発達 II							三沢 峰茂
9	10/9 (木) 3限	視覚・聴覚・手の発達							三沢 峰茂
10	10/9 (木) 2限	摂食嚥下機能の発達							三沢 峰茂
11	10/16 (木) 3限	小児期の発達の逸脱							三沢 峰茂
12	10/16 (木) 2限	青年期・成人期の発達							三沢 峰茂
13	10/23 (木) 3限	成人期の発達と逸脱							三沢 峰茂
14	10/23 (木) 2限	生活習慣病と対策							三沢 峰茂
15	10/30 (木) 3限	老年期の発達と課題							三沢 峰茂
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	配布資料、ノートを見直し、疑問点や不明な点を文献等で調べたうえで次の授業で質問する。								
学修評価の 基準と方法	期末試験								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:なし								
	参考書など授業の中で紹介する								
教員紹介	大学病院、リハビリテーションセンター施設で主に小児疾患に携わり、その在宅支援(訪問看護、訪問リハ)の仕事を実践してきました。								
その他	実技演習ができる服装で出席								

# 講 義 要 項

科目名	解剖学 I (体表解剖、骨格系)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30 授業形態	講義
担当教員	竹内 修二							
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	月	時限	4	
授業概要	骨の一般的形態と構造、各部位の骨の数とそれぞれの形態、各関節の構成と形態。							
学修目標	骨と関節、形態およびその連結について理解する。							
授業方法	模型や図と自身の体内と対応させ、骨格形態を説明する。							
授業計画								
NO	授業内容							担当教員
1	4/7 (月) 4限	体の部位・体表解剖						竹内 修二
2	4/14 (月) 4限	全身の骨(実習)						竹内 修二
3	4/21 (月) 4限	骨の連結・上肢の骨						竹内 修二
4	4/28 (月) 4限	上肢帯骨・肩関節・上腕骨						竹内 修二
5	5/12 (月) 4限	前腕の骨・肘関節・手の骨						竹内 修二
6	5/19 (月) 4限	骨の形態・下肢の骨						竹内 修二
7	5/26 (月) 4限	寛骨・大腿骨・股関節						竹内 修二
8	6/2 (月) 4限	下腿の骨・膝関節・足の骨						竹内 修二
9	6/9 (月) 4限	脊柱と椎骨一般						竹内 修二
10	6/16 (月) 4限	頸椎・胸椎・胸郭						竹内 修二
11	6/23 (月) 4限	腰椎・仙骨・骨盤						竹内 修二
12	6/30 (月) 4限	頭蓋骨全体						竹内 修二
13	7/7 (月) 4限	脳頭蓋						竹内 修二
14	7/14 (月) 4限	脳頭蓋						竹内 修二
15	未定	顔面頭蓋						竹内 修二
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキストを読んだ上で受講し、図とノートにより復習する。							
学修評価の 基準と方法	期末試験による							
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)							
テキスト・参考書	テキスト:『読んでわかる解剖生理学』竹内修二著 医学教育出版社							
	参考書:『好きになる解剖学part1～3』竹内修二/講談社							
	参考書:『解剖トレーニングノート』竹内修二/医学教育出版社							
	参考書:『学生版ネッター解剖学図譜』丸善株式会社							
教員紹介	40年以上に亘り、理学療法士・医師・看護師などの医療系の学校で、解剖学の実習や講義を行なって来た。							
その他	解剖学用語の暗記に終始せず、皮下に触れながら形と働きを有機的に結合し、その事象を理解するように。							

# 講 義 要 項

科目名	解剖学Ⅱ(循環器系)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	竹内 修二								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	月	時限	4		
授業概要	心臓の構造、動脈の分岐と走行、静脈は動脈と異なる点、リンパ管の走行、脳脊髄液の分泌と排出。								
学修目標	血液の循環、ポンプ作用の心臓と動・静脈の経路について理解する。								
授業方法	心臓を中心とした、血液の循環を考え、走行経路としての血管・リンパ管を考え、説明する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/8 (月) 4限	循環器系総論							竹内 修二
2	9/15祝 (月) 4限	心臓							竹内 修二
3	9/22 (月) 4限	心臓							竹内 修二
4	9/29 (月) 4限	動脈系							竹内 修二
5	10/6 (月) 4限	動脈系							竹内 修二
6	10/20 (月) 4限	動脈系							竹内 修二
7	10/27 (月) 4限	動脈系							竹内 修二
8	11/10 (月) 4限	静脈系							竹内 修二
9	11/17 (月) 4限	静脈系							竹内 修二
10	12/1 (月) 4限	静脈系							竹内 修二
11	12/8 (月) 4限	胎児循環							竹内 修二
12	12/15 (月) 4限	リンパ器系 総論							竹内 修二
13	12/22 (月) 4限	リンパ器系 各論							竹内 修二
14	1/5 (月) 4限	脳脊髄液循環							竹内 修二
15	未定	まとめ							竹内 修二
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキストを読んだ上で受講し、図とノートにより復習する。								
学修評価の 基準と方法	期末試験の点数(観察レポート含む)								
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:『読んでわかる解剖生理学』竹内修二著/医学教育出版社								
	参考書:『好きになる解剖学 part1~3』竹内修二/講談社								
	参考書:『カラー人体解剖学』/西村書店								
	参考書:『解いてわかる解剖生理学』竹内修二著/医学教育出版社								
教員紹介	40年以上に亘り、理学療法士・医師・看護師などの医療系の学校で、解剖学の実習や講義を行なって来た。								
その他	血流の方向、他器官の位置を考えながら学ぶように。								

# 講 義 要 項

科目名	解剖学Ⅲ(筋系)						対象学科・専攻	理学療法学科 屋間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	竹内 修二								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	金	時限	3		
授業概要	部位ごとの骨格筋の形状、関節に対する位置、筋の走行等と血管・神経の位置。								
学修目標	筋の働きと神経との関連について理解する。								
授業方法	関節の動きに対応させ、図を多用して、働きなどから筋の事項を説明する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/4 (金)	3限	筋総論						竹内 修二
2	4/11 (金)	3限	筋に必要な末梢神経総論						竹内 修二
3	4/18 (金)	3限	肩関節の働き、浅胸筋、浅背筋						竹内 修二
4	4/25 (金)	3限	上肢帯筋						竹内 修二
5	5/2 (金)	3限	肘関節の働き、上腕の筋						竹内 修二
6	5/9 (金)	3限	手首と指の働き、前腕の筋、手の筋						竹内 修二
7	5/16 (金)	3限	骨盤の筋						竹内 修二
8	5/23 (金)	3限	大腿の筋						竹内 修二
9	5/30 (金)	3限	下腿の筋						竹内 修二
10	6/6 (金)	3限	足の筋						竹内 修二
11	6/13 (金)	3限	頭部、顔面の筋						竹内 修二
12	6/20 (金)	3限	頸部の筋						竹内 修二
13	6/27 (金)	3限	深胸筋と横隔膜						竹内 修二
14	7/4 (金)	3限	腹部の筋						竹内 修二
15	7/11 (金)	3限	背部の筋						竹内 修二
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキストを読んだ上で受講し、図とノートにより復習する。								
学修評価の 基準と方法	試験の点数								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:『読んでわかる解剖生理学』竹内修二著 医学教育出版社 参考書:『よくわかる筋の機能解剖』/メディカル・サイエンスインターナショナル 参考書:『好きになる解剖学 part 1～3』竹内修二/講談社 参考書:『カラー人体解剖学』/西村書店 参考書:『解いてわかる解剖生理学』竹内修二著/医学教育出版社								
教員紹介	40年以上に亘り、理学療法士・医師・看護師などの医療系の学校で、解剖学の実習や講義を行なって来た。								
その他	骨と関節と関連づけ、働きを考えながら理解するように。								

# 講 義 要 項

科目名	解剖学Ⅳ(感覚器、末梢神経系)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	竹内 修二								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	金	時限	3		
授業概要	脳神経の分布域、感覚器の構造、脊髄神経の分布域と支配する筋。								
学修目標	末梢神経について、筋や感覚器官との関連を考えて理解する。								
授業方法	脳神経12対は各感覚器の説明と同一視して行ない、脊髄神経は前期に行った骨格筋を復習しながら関連づけて説明する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/12 (金)	3限	末梢神経総論						竹内 修二
2	9/19 (金)	3限	内・外頭蓋底・脳底部(脳神経総論)						竹内 修二
3	9/27 (金)	3限	脳神経(1)・嗅覚器、視覚器						竹内 修二
4	10/3 (金)	3限	脳神経(2)						竹内 修二
5	10/10 (金)	3限	脳神経(3)・聴覚器、味覚器						竹内 修二
6	10/17 (金)	3限	脳神経(4)						竹内 修二
7	10/24 (金)	3限	椎骨・脊柱管(脊髄神経総論)						竹内 修二
8	10/31 (金)	3限	頸神経・頸神経叢と枝、腕神経叢の構成						竹内 修二
9	11/7 (金)	3限	腕神経叢の枝						竹内 修二
10	11/14 (金)	3限	胸神経と枝、腰神経と腰神経叢の構成						竹内 修二
11	11/21 (金)	3限	腰神経叢の枝、仙骨神経と仙骨神経叢の構成						竹内 修二
12	11/28 (金)	3限	仙骨神経叢の枝						竹内 修二
13	12/5 (金)	3限	自律神経(1)						竹内 修二
14	12/12 (金)	3限	自律神経(2)						竹内 修二
15	12/19 (金)	3限	末梢神経復習						竹内 修二
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキストを読んだ上で受講し、図とノートにより復習する。								
学修評価の 基準と方法	期末試験の点数								
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:『読んでわかる解剖生理学』竹内修二著/医学教育出版社								
	参考書:『好きになる解剖学part1~3』竹内修二/講談社								
	参考書:『カラー人体解剖学』/西村書店								
	参考書:『解いてわかる解剖生理学』竹内修二著/医学教育出版社								
教員紹介	40年以上に亘り、理学療法士・医師・看護師などの医療系の学校で、解剖学の実習や講義を行なってきた。								
その他	末梢神経の分布先を理解し、体に対応させて学ぶように。								

# 講 義 要 項

科目名	解剖学Ⅴ(組織学、消化器、呼吸器、内分泌系等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	金	時限	4		
授業概要	理学療法士に求められる基礎的な解剖学について解説する。								
学修目標	細胞学、組織学では、生体の基本構築を理解する。内臓学では、器官固有の機能との関連においてさまざまな器官の構造を理解する。								
授業方法	教科書と別に用意するプリントに基づいて講義を進める。特に重要な事項については板書して解説を加える。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/4 (金) 4限	人体の構成、頭蓋内、胸腹部の臓器							野上 晴雄
2	4/11 (金) 4限	細胞、細胞膜、核・染色体、細胞分裂							野上 晴雄
3	4/18 (金) 4限	細胞内小器官、上皮組織							野上 晴雄
4	4/25 (金) 4限	筋組織、軟骨組織、骨組織							野上 晴雄
5	5/2 (金) 4限	神経組織、結合組織							野上 晴雄
6	5/9 (金) 4限	消化器系の構成、口腔、歯							野上 晴雄
7	5/16 (金) 4限	舌、唾液腺、咽頭、嚥下							野上 晴雄
8	5/23 (金) 4限	食道、胃							野上 晴雄
9	5/30 (金) 4限	小腸と大腸							野上 晴雄
10	6/6 (金) 4限	肝臓、胆嚢、膵臓							野上 晴雄
11	6/13 (金) 4限	呼吸器系の構成、鼻腔、副鼻腔							野上 晴雄
12	6/20 (金) 4限	喉頭、声帯、気管							野上 晴雄
13	6/27 (金) 4限	気管支、肺、細気管支、肺、							野上 晴雄
14	7/4 (金) 4限	肺胞、呼吸のメカニズム、泌尿器系の構成							野上 晴雄
15	7/11 (金) 4限	腎臓の構造、ネフロン、尿管と膀胱							野上 晴雄
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業計画に従って教科書を予習しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(80%)と随時行う小テスト(20%)で評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト 標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第6版 野村 嶺 編 医学書院								
教員紹介	医学博士、薬学博士。慈恵医大、筑波大等の大学を始め、40年余り解剖学教育に携わっている。								
その他	不明の点があったらその場で質問すること。								

# 講 義 要 項

科目名	解剖学Ⅵ(生殖器、リンパ、中枢神経系等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	金	時限	4		
授業概要	理学療法士に求められる基礎的な解剖学について解説する。								
学修目標	中枢神経系への情報の入力、認知、運動系への出力という神経機能の概略を理解する。これらのシステムを解剖学的用語を用いて説明できるようにする。								
授業方法	教科書と別に用意するプリントに基づいて講義を進める。特に重要な事項については板書して解説を加える。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/12 (金) 4限	内分泌系総論、内分泌器官の種類と位置							野上 晴雄
2	9/19 (金) 4限	視床下部・下垂体系、甲状腺と上皮小体、副腎、ランゲルハンス島							野上 晴雄
3	9/27 (金) 4限	男性生殖器系、女性生殖器系、性周期							野上 晴雄
4	10/3 (金) 4限	ヒトの発生、胎盤、血液、血球の分類							野上 晴雄
5	10/10 (金) 4限	皮膚とその付属器、血管の組織、リンパ性器官							野上 晴雄
6	10/17 (金) 4限	中枢神経系概論 脳の区分、髄膜と脳室							野上 晴雄
7	10/24 (金) 4限	終脳、皮質の機能局在、							野上 晴雄
8	10/31 (金) 4限	大脳の髄質、基底核の位置と働き							野上 晴雄
9	11/7 (金) 4限	大脳辺縁系、間脳、							野上 晴雄
10	11/14 (金) 4限	脳幹の基本構造、中脳							野上 晴雄
11	11/21 (金) 4限	橋と小脳							野上 晴雄
12	11/28 (金) 4限	小脳の組織、延髄							野上 晴雄
13	12/5 (金) 4限	錐体交叉、錐体路、毛帯交叉、							野上 晴雄
14	12/12 (金) 4限	脊髄							野上 晴雄
15	12/19 (金) 4限	伝導路							野上 晴雄
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業計画に従って教科書を予習しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(80%)と随時行う小テスト(20%)で評価する。								
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト 標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第6版 野村 嶺 編 医学書院 参考書 「新組織学」野上晴雄編著/日本医事新報社								
教員紹介	医学博士、薬学博士。慈恵医大、筑波大等の大学を始め、40年余り解剖学教育に携わっている。								
その他	不明の点があったらその場で質問すること。								

# 講 義 要 項

科目名	生理学 I (植物性機能等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	60	授業形態	講義
担当教員	菊池 吉晃								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	水	時限	3~4		
授業概要	生理学 I・II を正しく理解するために必要な物理化学の基礎を学ぶとともに、細胞の構造や機能、循環、呼吸、消化と吸収などについて講義と演習をおこなう。								
学修目標	理学療法士を目指す諸君に必要な専門知識の一つに生理学がある。人体は体外、体内の変化に対応する複雑な反応系・制御系を有し、これらの系がいかにして有機的統一を行っているかを理解する。								
授業方法	パワーポイントによる授業をおこなう。授業で使用するパワーポイント資料は当日配布する。講義後は、演習をおこない講義内容の理解を深める。演習問題は、配布したパワーポイント資料や教科書などを自由に調べてすべてを解答することが望まれる。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/2	(水)	3・4限	細胞の構造と働き					菊池 吉晃
2	4/9	(水)	3・4限	体液の組成と働き					菊池 吉晃
3	4/16	(水)	3・4限	血液の組成と働き					菊池 吉晃
4	4/23	(水)	3・4限	心臓血管系					菊池 吉晃
5	4/30	(水)	3・4限	心機能の調節・心電図					菊池 吉晃
6	5/7	(水)	3・4限	血管系の構造と機能					菊池 吉晃
7	5/14	(水)	3・4限	循環の調節					菊池 吉晃
8	5/21	(水)	3・4限	リンパ系					菊池 吉晃
9	5/28	(水)	3・4限	呼吸運動とその調節					菊池 吉晃
10	6/4	(水)	3・4限	消化と吸収					菊池 吉晃
11	6/11	(水)	3・4限	消化管の運動とその調節					菊池 吉晃
12	6/18	(水)	3・4限	消化液の働きとその調節					菊池 吉晃
13	6/25	(水)	3・4限	吸収					菊池 吉晃
14	7/2	(水)	3・4限	代謝					菊池 吉晃
15	7/9	(水)	3・4限	栄養素の働き					菊池 吉晃
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	毎回、講義内容の復習をおこない、テーマの内容だけでなくテーマ間の関連についてもよく理解する。								
学修評価の 基準と方法	期末試験の結果による。								
試験時期	2025年7月28日(月)~8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト: 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版 医学書院								
	参考書	Qシリーズ 新生理学 日本医事新報社 からだが見える 人体の構造と機能 メディックメディア							
教員紹介	fMRIによる脳科学研究を推進してきました。研究テーマは、愛、共感、ノスタルジア、自他認知、タッチ、身体性など重要で面白そうなものを選んでやってきました。研究結果は、国際学術雑誌に多数掲載、Journal of Nervous System and Physiological PhenomenaやNeurology and Neuroscience ReportsなどのChief Editorを務めています。								
その他	生理学は、理学療法士だけでなく、臨床・基礎科学にとって最も重要な基礎科目のひとつです。みなさんが様々な生理現象に興味を持って、その仕組みについて楽しく理解してもらえたらとても嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。								

# 講 義 要 項

科目名	生理学Ⅱ(動物性機能等)						対象学科・専攻		理学療法学科 昼間部
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	60	授業形態	講義
担当教員	菊池 吉晃								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	水	時限	3~4		
授業概要	生理学Ⅰで学んだことを基盤にして、さらに、体温調節、腎臓、ホルモン、神経、運動と感覚などについて講義と演習をおこなう。								
学修目標	理学療法士を目指す諸君に必要な専門知識の一つに生理学がある。人体は体外、体内の変化に対応する複雑な反応系・制御系を有し、これらの系がいかんして有機的統一を行っているかを理解する。								
授業方法	パワーポイントによる授業をおこなう。授業で使用するパワーポイント資料は当日配布する。講義後は、演習をおこない講義内容の理解を深める。演習問題は、配布したパワーポイント資料や教科書などを自由に調べてすべてを解答することが望まれる。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/10 (水)	3・4限	体温の発生と調節						菊池 吉晃
2	9/17 (水)	3・4限	外気温への適応・調節障害						菊池 吉晃
3	9/24 (水)	3・4限	腎臓の構造と働き						菊池 吉晃
4	10/1 (水)	3・4限	ホルモンの一般的性質						菊池 吉晃
5	10/8 (水)	3・4限	視床下部・下垂体・甲状腺・上皮小体ホルモン						菊池 吉晃
6	10/15 (水)	3・4限	膵臓・副腎・精巣・卵巣ホルモン						菊池 吉晃
7	10/22 (水)	3・4限	生殖・成長と老化						菊池 吉晃
8	10/29 (水)	3・4限	神経系の構造と働き						菊池 吉晃
9	11/5 (水)	3・4限	末梢神経系・中枢神経系						菊池 吉晃
10	11/12 (水)	3・4限	内臓の自律神経調節						菊池 吉晃
11	11/19 (水)	3・4限	骨格筋の構造と働き						菊池 吉晃
12	11/26 (水)	3・4限	筋運動調節						菊池 吉晃
13	12/3 (水)	3・4限	感覚のしくみ・体性感覚・深部感覚						菊池 吉晃
14	12/10 (水)	3・4限	聴・味・嗅・視覚						菊池 吉晃
15	12/17 (水)	3・4限	生体防御機構・ホメオスタシス						菊池 吉晃
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	毎回、講義内容の復習をおこない、テーマの内容だけでなくテーマ間の関連についてもよく理解する。								
学修評価の 基準と方法	期末試験の結果による。								
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版 医学書院								
	参考書	Qシリーズ 新生理学 日本医事新報社 からだがみえる 人体の構造と機能 メディックメディア							
教員紹介	fMRIによる脳科学研究を推進してきました。研究テーマは、愛、共感、ノスタルジア、自他認知、タッチ、身体性など重要で面白そうなものを選んでやってきました。研究結果は、国際学術雑誌に多数掲載、Journal of Nervous System and Physiological PhenomenaやNeurology and Neuroscience ReportsなどのChief Editorを務めています。								
その他	生理学は、理学療法士だけでなく、臨床・基礎科学にとって最も重要な基礎科目のひとつです。みなさんが様々な生理現象に興味を持って、その仕組みについて楽しく理解してもらえたらとても嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。								

# 講 義 要 項

科目名	運動学 I (生体力学、四肢と体幹の運動等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	60	授業形態	講義・演習
担当教員	田中進吾・杉浦浩平								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	月	時限	1~2		
授業概要	運動学の知識を使って身体運動の表現方法についてまず学び、ついでその運動に関与する関節運動について生体力学的視点を理解する。また、身体の筋・骨格系の機能と構造を解剖学、運動学の視点から理解する。								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体各関節の運動方向とその運動面・運動軸を説明できる</li> <li>・力学の基礎的語句の定義を説明できる             <ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の骨、軟骨、骨格筋の特徴と、筋力の調整、てこ・モーメントについて力学的に説明できる</li> </ul> </li> <li>・各関節の機能解剖学的特徴を踏まえ、関節運動と筋の作用、支配神経を説明できる</li> </ul>								
授業方法	授業は座学および学生グループによる実習形式により行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/7 (月) 1-2限	運動の面と軸、関節運動方向の定義 演習 運動学的分析							杉浦
2	4/14 (月) 1-2限	力のベクトルの合成、関節運動のモーメント(トルク)、演習 体重心の求め方							杉浦
3	4/21 (月) 1-2限	ニュートン力学、運動器の構造と機能 骨格系(骨、関節包、滑膜、靭帯)							杉浦
4	4/28 (月) 1-2限	筋系 骨格筋の構造と機能 筋節長と筋張力の関係 筋収縮様態							杉浦
5	5/12 (月) 2-3限	肩関節の構造と機能							田中
6	5/19 (月) 1-2限	肩関節の構造と機能							田中
7	5/26 (月) 2-3限	肘関節、手関節の構造と機能							田中
8	5/27 (火) 1限	肘関節、手関節・指の構造と機能							田中
9	6/2 (月) 2-3限	股関節の構造と機能							田中
10	6/9 (月) 2-3限	股関節の構造と機能							田中
11	6/11 (水) 1限	膝関節の構造と機能							田中
12	6/16 (月) 2-3限	膝関節の構造と機能							田中
13	6/23 (月) 2-3限	足関節の構造と機能							田中
14	6/30 (月) 2-3限	体幹の構造と機能							田中
15	7/7 (月) 2-3限	体幹の構造と機能							田中
16	7/14 (月) 2-3限	咀嚼・換気・顔面筋の構造と作用							田中
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	講義内容を復習して、疑問点を翌日までに解決する。週60分程度の自己学習時間が必要である。								
学修評価の 基準と方法	学期末の筆記試験60点、小テスト30点、課題10点 計100点								
試験時期	正規の本試験期間に行う予定								
テキスト・参考書	テキスト: エッセンシャル・キネシオロジー P.J.Mansfield, Donald A. Neumann 著 南江堂 テキストを各自で抄読することを前提として、配布する授業プリント(ワークシート)に沿って授業を進める								
教員紹介	(杉浦) 回復期病院での臨床経験から、いかに基礎的な運動学的知識から多様な症状を理解するかが重要であると考え、日々実践および養成施設での講義活動を行っている。 (田中) は急性期病院に勤務した経験があり、臨床・教育・研究と呼吸器疾患への実務経験に基づいて理学療法士の育成に向けた授業を展開する。								
その他	授業の進度、他必要に応じてこの授業内容を変更することがあります。 5点満点の小テストを6回実施します。各小テストは7/14(月)までの期間内なら何度でも口頭試問により受けなおすことができ、合格すれば5点となります。合格できない場合は初回小テストの得点のまま据え置きとなります。この小テストの得点(30点満点)と課題点(10点満点)は期末試験受験時の持ち点となり、本試験だけでなく、再試験時にも持ち替えられます。小テストの実施日に事前連絡なく遅刻・欠席した場合、その回の小テストは0点となり、口頭試問								

# 講 義 要 項

科目名	運動学Ⅱ						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	金井 良								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日		時限			
授業概要	<p>本講義では、まず運動学1の続きとして、胸郭および顔面の運動を理解する。          続いて、神経生理学的な観点から筋収縮の機序を学習し、原始的な運動である反射運動を理解する。          また運動学1で学習した基礎知識(すなわち生体力学や四肢における関節運動学など)を理解した上で、実際の人間の健常歩行について狭義の運動学、運動力学的視点から分析を行う。</p>								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胸郭の構造と呼吸筋の機能、顎関節の構造と咀嚼筋、顔面筋の機能を説明できる。</li> <li>・筋収縮の生理的機序と遅筋、速筋の特徴を説明できる</li> <li>・伸張反射機構と反射運動の概略を説明できる</li> <li>・健常な静止立位姿勢と健常歩行について生体力学的に説明できる</li> </ul>								
授業方法	視聴覚教材、講義プリントを用いて講義を行う。また、歩行解析実技演習およびグループ討議を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	胸郭の構造と機能(肋椎関節、呼吸機能、呼吸筋)								金井
2	顔面筋の機能と構造								金井
3	健常者の静止立位・静止座位姿勢のバイオメカニクスと活動筋								金井
4	健常歩行の基礎知識(重複歩、歩幅、ケイデンス、歩行の各相分け)								金井
5	健常歩行の運動学的分析(歩行周期に各関節はどの程度動くか?)								金井
6	健常歩行の運動学的分析(歩行周期に各関節はどの程度動くか?)								金井
7	健常歩行の運動力学的分析(歩行周期で各関節にかかるモーメントは?)								金井
8	健常歩行の運動力学的分析(歩行周期で各関節で活動する筋は?)								金井
9	健常歩行の運動力学的分析(歩行周期で各関節で活動する筋は?)								金井
10	筋収縮の神経生理的機序(イオンチャネルの重要な仕組み)								金井
11	筋収縮の神経生理的機序(イオンチャネルの重要な仕組み)								金井
12	筋線維の種類(遅筋線維、速筋線維とはなにか)								金井
13	伸張反射機構								金井
14	伸張反射機構								金井
15	反射運動の神経機構								金井
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	各回最低30分の復習を行い、疑問点は解決しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験(70%)と小テスト(30%)の総合点で評価する								
試験時期	後期試験期の前の週を予定								
テキスト・参考書	テキスト: エッセンシャル・キネシオロジー P.J.Mansfield, Donald A. Neumann 著 南江堂 参考書: 観察による歩行分析 Gehen verstehen 著 医学書院 参考書: カラー図解よくわかる生理学の基礎 Agamemnon Despopoulos 著 佐久間康夫監訳 メディカルサイエンスインターナショナル								
教員紹介	回復期病院での臨床経験から、特定の治療手技に囚われず、いかに基礎的な運動学的知識から多様な症状を理解するかが重要であると考え、日々実践および臨床施設での講義活動を行っている。								
その他	<b>【講義時の留意点】</b> ・小テストは5点満点で、試験当日に事前連絡なく休む場合は0点となり、再試験対象となりません。 ・小テストが4点以下だった場合、口頭試問による再テストを受けることができ、合格すれば5点となります。 ・小テストの再テストを受けられる期間は各小テスト実施後2週間までです。								

# 講 義 要 項

科目名	病理学概論						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	千葉 諭								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	金	時限	1		
授業概要	病理学は、疾病と症候の意義と分類、病因となる内因と外因を踏まえ、退行性病変、循環障害、進行性病変、炎症、免疫疾患、アレルギー疾患、腫瘍、先天異常などに含まれる主要疾患について理解することを目的とする。具体的には疾病の原因、経過、本態、他疾患との鑑別、治療効果などについて細胞、組織、臓器などの形態の変化の点から具体的に学ぶ。								
学修目標	1) 疾患の基本的病態を系統的に説明出来る。 2) 病態の発生機構と関連因子についての説明出来る。 3) 病理学的用語を理解し正しく使える。 病理学を修得することで、病氣と臨床の現場を理解し、ことにあたって何をすべきかを考えられるようになる。								
授業方法	パワーポイント、資料、板書を使った講義								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/12 (金)	1限	病理学とは：医学のなかの病理学、医師法、死体解剖保存法、病理学の方法(病理組織診、細胞診、病理解剖)						千葉 諭
2	9/19 (金)	1限	疾病の原因：内因(年齢、性、人種、体質、遺伝、アレルギーと免疫など)、外因(物理的因子、化学的因子、生物的因子)						千葉 諭
3	9/27 (金)	1限	細胞とその変化：組織、細胞死と変性、萎縮(退行性病変)、肥大と過形成、修復と再生(進行性病変)						千葉 諭
4	10/3 (金)	1限	循環障害：循環とは、心不全、うっ血、充血、出血、血液凝固、塞栓症、梗塞、浮腫、脱水、ショック、DIC						千葉 諭
5	10/10 (金)	1限	炎症と感染症：炎症とは、炎症5徴候：発赤・腫脹・熱・疼痛・機能障害、急性炎症・慢性炎症、肉芽腫						千葉 諭
6	10/17 (金)	1限	免疫とアレルギー：免疫とは、免疫細胞、T・Bリンパ球、アレルギー(I・II・III・IV型)、免疫不全症、自己免疫疾患						千葉 諭
7	10/24 (金)	1限	代謝障害と先天異常：代謝障害(脂質、タンパク質、糖質等)、先天性疾患(環境的要因、遺伝的要因)						千葉 諭
8	10/31 (金)	1限	腫瘍：腫瘍とは、原因、良性と悪性の形態学的特徴、命名法、上皮・非上皮(癌と肉腫)、血液腫瘍(白血病)、神経性腫瘍、組織形、転移						千葉 諭
9	11/7 (金)	1限	筆記試験						千葉 諭
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	講義前に教科書を眺めて、おおまかに何が書いてあるか知っておくこと。								
学修評価の基準と方法	全講義終了後に終講試験を行う。最終評価は、終講試験(100点)で行う。								
試験時期	第9回目の講義日に行う。								
テキスト・参考書	テキスト：「新訂版 クイックマスター 病理学 第2版」堤寛著 サイオ出版								
教員紹介	東京医療学院大学 教授								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	栄養学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	岡田 昌己								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火	時限	4		
授業概要	人間が生まれてから死ぬまでを栄養学の観点から理解することを目的とする。そのために五大栄養素の働き、栄養素と食品の関係、日本人の食事摂取基準と食生活、治療食の種類と分類、食生活と生活習慣病の関係について、また、ライフサイクルと栄養について学習する。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 五大栄養素の構造、消化・吸収・代謝や消化・吸収を行うための消化器官について基礎的な知識を理解できる。</li> <li>2. 1.の基本的な知識応用させて、ライフステージ別、病態別、特殊環境での栄養について理解できる。</li> <li>3. 日本の食生活状況や問題点について、栄養学の基本的な考えから理解できる。</li> </ol>								
授業方法	毎回の講義で補足資料を配布する。講義後に小試験を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	11/11 (火) 4限	食べるとは、人体の構造(消化器官・細胞)について							岡田 昌己
2	11/18 (火) 4限	食品に含まれる栄養素の種類とはたらき(主にエネルギー生産栄養素、消化・吸収・代謝)について							岡田 昌己
3	11/25 (火) 4限	食品に含まれる栄養素の種類とはたらき(主にビタミン・ミネラル)について							岡田 昌己
4	12/2 (火) 4限	ライフステージと栄養(妊婦、乳児期～思春期)について							岡田 昌己
5	12/9 (火) 4限	ライフステージと栄養(成人期～高齢期、スポーツ栄養)について							岡田 昌己
6	12/16 (火) 4限	治療食(食事療法)、栄養補給法について							岡田 昌己
7	12/23 (火) 4限	疾患別食事療法について							岡田 昌己
8	4限	栄養と生活習慣病、食生活の問題、食事摂取基準について							岡田 昌己
準備学修 (予習・復習)等 の内容と分量	(予習)高校の生物基礎を理解しておく。 (復習)毎回配布するプリント、小試験を解き直す。								
学修評価の 基準と方法	定期試験80%、毎回の講義後の小試験20%								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	好きになるシリーズ、好きになる栄養学第2版(麻美直美、塚原典子 著)講談社								
教員紹介	駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科 講師(専門分野)生理・生化学、スポーツ栄養学								
その他	必ずテキストを持参のうえ受講すること								

# 講 義 要 項

科目名	予防医学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	千葉 百子								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火	時限	2		
授業概要	予防医学は「生を衛る」学問である。病気の予防や健康増進の知識と技術、これらが展開される保健福祉の法制・理論を理解する。机上や実験室内の理論ではなく、広く社会とかかわりを持って学ぶ学問である。								
学修目標	予防医学の意義を知り、人々の健康を維持するために地域、学校、職域、母子、成人、高齢者など各集団を対象に疾病の概要、予防について知る。現代社会を取り巻く環境を捉え生態系にもたらす影響を理解する。保健統計により集団の健康問題を把握し、これからの時代の保健行動の方向性を学ぶ。								
授業方法	テキスト、配布プリント、「国民衛生の動向」などを使って授業を進めるほか、新聞などで報道される予防医学・環境衛生に関係する記事についてみんなで話し合う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/9	(火)	2限	予防医学の歴史・保健予防概念・人口統計					千葉 百子
2	9/16	(火)	2限	感染症(分類・予防対策・治療)・消毒法					千葉 百子
3	9/30	(火)	2限	環境保健(物理的要因、化学的要因、生物的要因、精神的要因、その他)					千葉 百子
4	10/7	(火)	2限	環境保健(Ⅱ)公害・四大公害					千葉 百子
5	10/14	(火)	2限	環境保健(Ⅲ) 衣食住の衛生、公衆栄養					千葉 百子
6	10/21	(火)	2限	産業保健(職業病) 関連法令 産業理学療法					千葉 百子
7	10/28	(火)	2限	疫学					千葉 百子
8	11/4	(火)	2限	学校保健					千葉 百子
9	11/11	(火)	2限	母子保健					千葉 百子
10	11/18	(火)	2限	成人保健・ライフスタイル・健康管理・健康増進					千葉 百子
11	11/25	(火)	2限	老人保健					千葉 百子
12	12/2	(火)	2限	精神保健					千葉 百子
13	12/9	(火)	2限	国際保健					千葉 百子
14	12/16	(火)	2限	衛生行政・保健衛生法規					千葉 百子
15	12/23	(火)	2限	まとめ					千葉 百子
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業の準備前に該当するテキストの項目を読んでおく。受講後に知識の整理をする。								
学修評価の 基準と方法	期末試験において評価を行う。								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	<b>テキスト</b> ： シンプル 衛生公衆衛生学2025 小山洋 監修/南江堂 <b>参考書</b> ：①国民衛生の動向(厚生労働統計協会編)、コンパクト公衆衛生学(松浦賢長 他編、朝倉書店) <b>参考書</b> ：②病気と健康の世界地図(千葉百子 訳、丸善)								
教員紹介	順天堂大学医学部衛生学講座 客員教授 元国際医療福祉大学大学院特任教授 Kazakh National Medical University 名誉教授 ハルピン医科大学名誉教授								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	リハビリテーション概論						対象学科・専攻		理学療法学科 昼間部
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	武田 淳史 校長								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	水	時限	2限		
授業概要	理学療法士をめざす学生にとって1年目のリハビリテーション概論は将来の理学療法士としての仕事をにう上で、仕事の全体像を理解することにおいて重要で有り、授業内容は広範囲にわたるが、重要な点は強調して講義授業を進めていく。								
学修目標	リハビリテーションは単に医療にとどまらず、保健・医療・福祉を包括するものである。近年の高齢化社会への進展と、疾病構造の変化に対応するために、この科目は医療専門職として必須である。本講義では、リハビリテーションの定義・理念およびそれに係る社会制度の概要を含め、リハビリテーション医学の基礎を学習する。								
授業方法	教科書を用い、テーマごとに区切り詳細な説明を行っていく授業形式をとる。また、関連プリントを配布する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/9	(水)	2限	リハビリテーションの理念、定義、目的、国際障害分類、総論的まとめ					武田校長
2	4/16	(水)	2限	国際生活機能分類について					武田校長
3	4/23	(水)	2限	ADL評価法のパーゼルインデックスについて					武田校長
4	4/30	(水)	2限	ADL評価法のカツインデックスについて					武田校長
5	5/7	(水)	2限	個人情報保護法とインフォームドコンセントについて					武田校長
6	5/14	(水)	2限	意識障害について					武田校長
7	5/21	(水)	2限	運動障害、歩行障害、ADL障害について					武田校長
8	5/28	(水)	2限	感覚障害について					武田校長
9	6/4	(水)	2限	反射について					武田校長
10	6/11	(水)	2限	知能障害について					武田校長
11	6/18	(水)	2限	言語障害について					武田校長
12	6/25	(水)	2限	高次脳機能障害について					武田校長
13	7/2	(水)	2限	心理障害、発達障害について					武田校長
14	7/9	(水)	2限	廃用症候群、排尿障害について					武田校長
15	7/16	(水)	2限	摂食嚥下障害、心機能、呼吸器障害について					武田校長
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	1年後期に履修する「リハビリテーション医学」と密接に連動する科目であるので、十分に整理・復習し、理解しておくこと。予習は教科書の講義単元を読んでおく。復習は黒板の記載内容をしっかりとノートに記載し理解する。毎週60分予習・復習にあてる。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験(記述+国試形式)にて判定します。試験結果が60点未満は再試となる。								
試験時期	講義時間内に発表する。								
テキスト・参考書	テキスト:「リハビリテーション医学テキスト」三上真弘・出江紳一編 南江堂 (ISBN:978-4-524-26549-7)								
	参考書:「リハビリテーション概論」上好孝行、土肥信之編 永井書店								
	参考書:「リハビリテーション」第一出版 (ISBN:978-4-8041-1375-3)								
教員紹介	約30年程、リハビリテーションの教育に携わってきました。内科学が専門です。								
その他	リハビリテーション概論は、内容が高度で有るためしっかりと本を読んで予習、復習をして下さい。試験点数60点未満は再試験となります。								

# 講 義 要 項

科目名	リハビリテーション医学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	武田校長								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日		時限			
授業概要	前期で広範囲なリハビリテーション概論の授業を行ってきたが、今回は後期に、それぞれの関連疾患テーマを詳細に説明し様々な分野のリハビリテーションのあり方を知ってもらうことで、高度なリハビリ加療の理解を深めてもらう授業を行う。								
学修目標	リハビリテーション医学の対象となる疾患は、中枢神経疾患、末梢神経疾患、筋疾患、骨関節疾患、循環・呼吸器疾患を含む内部疾患などがある。これらの疾患のうちから主要なものについて、その病態、症状、診断、評価、治療、リハビリテーション治療手段の概要を重要ポイントを中心に講義を行なう。2年生の授業の基本となる大事な内容です。								
授業方法	「リハビリテーション概論」と同じ教科書を用い、テーマごとに深く各種疾患の内容に入り授業を行う。関連プリントを配布する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	脳疾患(1)								武田校長
2	脳疾患(2)								武田校長
3	脊髄疾患								武田校長
4	関節リウマチ								武田校長
5	小児疾患								武田校長
6	神経・筋疾患								武田校長
7	末梢神経障害								武田校長
8	関節疾患								武田校長
9	外傷								武田校長
10	脊椎疾患								武田校長
11	内部疾患								武田校長
12	末梢循環障害								武田校長
13	切断								武田校長
14	高齢者リハビリテーション								武田校長
15	総合まとめ								武田校長
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習は教科書の単元ごとにどのような内容か授業前に一読して欲しい。また復習はプリント、黒板の記載内容をしっかりと理解することが重要である。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験(記述+国試形式)にて評価する。筆記試験100%で評価し、60点未満は再試。								
試験時期	第16回授業日に本試験を行う。								
テキスト・参考書	テキスト:「リハビリテーション医学テキスト」三上真弘・出江紳一編 南江堂(ISBN:978-4-524-26549-7) 参考書:「リハビリテーション」第一出版(ISBN:978-4-8041-1375-3)								
教員紹介	約30年程、リハビリテーションの教育に携わってきました。内科学が専門です。								
その他	講義内容の疾患はいずれも臨床実習で遭遇するものであること、国家試験の重要出題領域であることから、専門科目の授業とともに、疾患ごとに十分に整理・復習しておくこと。理学療法ではいずれも専門分野に係る疾患であることから各領域の参考書を備えておくこと。 本試験は60点未満は再試験となります。								

# 講 義 要 項

科目名	地域リハビリテーション概論						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	60	授業形態	講義・演習
担当教員	杉浦 浩平								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日		時限			
授業概要	理学療法士は、障害を個人の要因(心身機能・身体構造・年齢等)として捉えるとともに、生活環境から捉える必要もある。講義では、生活環境を住居や公共交通機関、公共建築物などに代表される物理的環境のみならず、福祉制度や施策といった制度的環境、あるいは家族や介護者、専門家、当事者、ボランティア等、人的環境の視点からも捉え、障害者、高齢者が自立した主体的生活が保障されるための生活環境整備・改善の支援について学習する。								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回復期、通所、訪問における理学療法士としての役割を理解し、地域への貢献ができるようになる。</li> <li>・適切な住環境の設定や福祉用具の選定ができるようになる。</li> </ul>								
授業方法	座学、グループ・個人演習、発表								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	地域リハビリテーション 総論								杉浦
2	介護保険・医療保険制度								杉浦
3	福祉機器①								杉浦
4	福祉機器②								杉浦
5	福祉機器③								杉浦
6	福祉機器④								杉浦
7	回復期リハビリテーション病院								杉浦
8	通所リハビリテーション								杉浦
9	訪問リハビリテーション								杉浦
10	介護保険と福祉用具選定								杉浦
11	住環境整備								杉浦
12	グループワーク								杉浦
13	グループワーク								杉浦
14	グループワーク								杉浦
15	まとめ								杉浦
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	課題が提示されたら提出期限までにしっかり作成しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	レポート(30点)、小テスト(20点)の評価とする。小テストは12/23(月)を期限に、繰り返し受ける事を可能とする。								
試験時期	講義内で伝達する。								
テキスト・参考書	授業内でプリント配布								
教員紹介	回復期、維持期(病院、施設、在宅)で現場経験を積んだ教員(理学療法士)が、現場でのノウハウを交えて講義する。								
その他	出席について:授業開始30分以内に入室した場合は遅刻、それ以降の入室は欠席扱いとなる。授業終了30分前以降に退出した場合は早退とする。出席回数が10回に満たない場合は、試験を受けることができない。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法概論 I (関連法規等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	60	授業形態	講義・演習
担当教員	川崎 孝晃								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	月	時限	1～2		
授業概要	理学療法の全体像を理解し、学習意欲を高めるとともに、対象者に適した理学療法を実施するために生涯学習の必要性について認識することを目的とする。具体的には理学療法の歴史、定義や倫理、法律及び治療原理やその対象疾患について学び、理学療法の必要性について理解する。また施設見学、障害者体験を通して対象者の立場が理解できるように学習する。								
学修目標	理学療法士として求められる基本的な資質・能力とは、専門的知識・技術の向上と豊かな人間性を育み、チーム医療職の一員として科学的根拠に基づいた治療を対象者に提供できることである。さらに、お互いの考えを認知・共感・理解し、有効な関係を築くコミュニケーション能力を養うことができるようになることを目的とする。								
授業方法	講義やグループワーク、ディスカッションを取り入れながらの講義。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/7 (月)	1.2限	オリエンテーション、リハビリテーション総論、リハビリテーションとは						川崎
2	4/14 (月)	1.2限	障害分類(障害構造)、リハビリテーションチーム						川崎
3	4/21 (月)	1.2限	理学療法概論(定義、歴史、関連法規)、理学療法士とは						川崎
4	4/28 (月)	1.2限	理学療法(理学療法士免許、運動療法、物理療法)、理学療法士教育						川崎
5	5/12 (月)	1.2限	理学療法士国家試験、理学療法士の仕事内容、対象疾患、理学療法士の職場						川崎
6	5/19 (月)	1.2限	理学療法における保険制度(医療保険、介護保険)、施設基準、理学療法士の資質						川崎
7	5/26 (月)	1.2限	理学療法士(医療従事者の倫理、理学療法士の使命)の役割、疾患時期別						川崎
8	6/2 (月)	1.2限	信頼関係の構築と協働作業、理学療法士の接遇						川崎
9	6/9 (月)	1.2限	理学療法における臨床的思考、臨床推論、理学療法の実際の流れ、クリニカルパス						川崎
10	6/16 (月)	1.2限	整形外科理学療法、中枢性疾患理学療法						川崎
11	6/23 (月)	1.2限	解剖学 総論						川崎
12	6/30 (月)	1.2限	解剖学 総論						川崎
13	7/7 (月)	1.2限	生理学 総論						川崎
14	7/14 (月)	1.2限	生理学 総論						川崎
15	7/21 (月)	1.2限	まとめ						川崎
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業後は必ず復習を行うこと。								
学修評価の 基準と方法	小テスト、中間試験および期末試験による評価:100%(川崎)								
試験時期	前半講義終了後または期末試験期間中に実施予定。								
テキスト・参考書	テキスト : なし								
	参考書 : 基礎理学療法概論 網本和監修 MEDICALVIEW								
	参考書 : 理学療法概論テキスト 細田多穂監修 南江堂								
教員紹介	担当教員:川崎(保健医療博士)は、理学療法士歴30年目で当校教員歴24年。 大学附属病院、一般病院等の勤務経験あり。現在、クリニック等にて活動中。								
その他	レポート等の提出期限厳守。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学 I						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	中山沙織								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	月	時限	2限		
授業概要	理学療法の基本となる触診および形態測定について、検査、測定に基づく評価法に関する知識を学び、評価技術を身につけることを目的とする。具体的には患者の疾病の特定部位や原因を判断するための筋の触診と骨の触診によるランドマークを基準とした四肢長・周径の評価技術を身につける。また、検査・測定で得られた結果の解釈及び治療の可否などの判断をするために必要な知識を習得する。								
学修目標	理学療法評価とは何か？について他者に説明できる。四肢長、周径に必要な骨のランドマークを正しい触診方法によって確実に触診できる。四肢長、周径の測定を再現性の高い方法で行える。筋を正しい触診方法によって筋の形態、走行、収縮の有無を把握する。四肢長、周径の測定、触診に関して対象者に配慮した自分本位でない測定が行える。								
授業方法	座学、実技								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/9 (水) 1限	総論(理学療法評価とは)							中山
2	4/14 (月) 3限	触診法について							中山
3	4/21 (月) 3限	骨の触診 : 胸骨、鎖骨、肩甲骨							中山
4	4/28 (月) 1限	骨の触診 : 上腕骨、橈骨、尺骨							中山
5	5/7 (水) 1限	骨の触診 : 手根骨、骨盤、大腿骨							中山
6	5/12 (月) 1限	骨の触診 : 膝蓋骨、脛骨、腓骨、距骨、踵骨、その他足根骨							中山
7	5/19 (月) 3限	骨の触診 : 肋骨、頭蓋骨、脊柱							中山
8	5/26 (月) 1限	形態測定 : 四肢長・周径							中山
9	6/2 (月) 1限	筋の触診 : 頸部、腹部、背部							中山
10	6/9 (月) 1限	筋の触診 : 肩甲骨周囲、上腕、前腕							中山
11	6/16 (月) 1限	筋の触診 : 手部、臀部、大腿							中山
12	6/23 (月) 1限	筋の触診 : 下腿、足部							中山
13	6/30 (月) 1限	触診総復習①							中山
14	7/7 (月) 1限	触診総復習②							中山
15	7/14 (月) 3限	まとめ							中山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	資料を配布しその順に触診、形態測定を進めていく。空き時間を利用してクラスメイトと復習をすること。								
学修評価の 基準と方法	参加度(20点)、実技テスト(30点)、筆記試験(50点)の合計100点満点								
試験時期	実技試験: 7/23(水)1~2限 筆記試験: 試験期間中								
テキスト・参考書	最新 理学療法学講座 理学療法評価学 (編著)望月久 医歯薬出版株式会社 理学療法 ゴールドマスターテキスト 理学療法評価学 (編集)柳澤健 メディカルビュー 標準理学療法学 理学療法評価学 編集 内山靖 医学書院								
教員紹介	急性期、回復期、維持期(病院、施設、在宅)で現場経験を積んだ教員が、現場でのノウハウを交えて講義する。								
その他	実技では、触診しやすいよう薄手の服装(なるべく半袖・半ズボン)で参加すること。 出席について: 授業開始30分以内に入室した場合は遅刻、それ以降の入室は欠席扱いとなる。授業終了30分前以降に退出した場合は早退とする。出席回数が10回に満たない場合は、試験を受けることができない。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学Ⅱ						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	中山沙織								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日		時限			
授業概要	理学療法業務の最も基本となる検査・測定・評価について、バイタル測定と関節可動域測定の目的や具体的方法を学び、臨床現場で実践できるようにスキルを向上することを目的としている。対象となる人の身体に触れる際の立ち振る舞いから始まり、医療行為の重要性と危険性について演習および実習を交えて学習し、習得することも目指す。								
学修目標	正確にバイタル測定が実施できる。 正確に関節可動域測定を実施できる。 また、それぞれの検査結果を基に、評価することができる。								
授業方法	座学、実技								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	バイタルサイン(講義)								中山
2	バイタルサイン(実技)								中山
3	バイタルサイン(実技)								中山
4	関節可動域測定(講義)、肩甲帯(実技)								中山
5	肩関節(実技)								中山
6	肩関節(実技)								中山
7	肘関節、前腕、手関節(実技)								中山
8	母指、その他手指(実技)								中山
9	股関節(実技)								中山
10	膝関節、足関節、足部(実技)								中山
11	頸部、胸腰部(実技)								中山
12	関節可動域測定 応用編								中山
13	関節可動域測定 応用編								中山
14	関節可動域測定 応用編								中山
15	まとめ								中山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	小テストにて理解できているかを随時確認する。その為、必ず復習をすること。 また、実技においては、空いている時間に各自繰り返し練習を実施しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	小テスト(10%)、実技試験(50%)、筆記試験(40%)								
試験時期	小テスト: 授業終了時にアナウンス 実技試験: 12/6(1-2限)、12/13(1-2限) 筆記試験: 試験期間								
テキスト・参考書	最新理学療法講座 理学療法評価学 望月久 医歯薬出版株式会社 理学療法評価学 松澤正、江口勝彦 金原出版株式会社 基礎運動学 斎藤宏、長崎浩 医歯薬出版株式会社								
教員紹介	急性期、回復期、維持期(病院、施設、在宅)で現場経験を積んだ教員が、現場でのノウハウを交えて講義する。 現在、訪問看護ステーションにて理学療法士として活動中。								
その他	実技では、動きやすい服装(半袖・短パン等)で参加すること。 出席について: 授業開始30分以内に入室した場合は遅刻、それ以降の入室は欠席扱いとなる。授業終了30分前以降に退出した場合は早退とする。 実技試験、筆記試験はそれぞれで再試験を設ける。								

# 講 義 要 項

科目名	基礎運動療法						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	河野裕也								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	木	時限	2～3		
授業概要	運動療法を適切に行うため、基礎的な知識と技術を習得することを目的とする。総論として、運動療法に関する定義、歴史、対象、理論、種類、機器などについて学ぶ。各論として各種運動療法(関節可動域訓練、ストレッチングなど)の理論と技術を学習する。								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動療法の概要について、理解し説明ができる</li> <li>・各種運動療法の目的を理解し説明ができる</li> <li>・各種運動療法を経験し、実施できる</li> </ul>								
授業方法	パワーポイントを使用し、講義内容を理解した上で実技演習を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	運動療法概論(歴史・定義・方法)								河野
2	ストレッチング(概要)								河野
3	ストレッチング(股関節周囲筋)								河野
4	ストレッチング(股関節周囲筋)								河野
5	ストレッチング(股関節周囲、大腿部周囲筋)								河野
6	ストレッチング(大腿部周囲筋)								河野
7	ストレッチング(下腿周囲筋)								河野
8	ストレッチング(体幹周囲筋)								河野
9	ストレッチング(肩関節周囲筋)								河野
10	ストレッチング(頸部周囲筋)								河野
11	ストレッチングの応用①								河野
12	ストレッチングの応用②								河野
13	ストレッチング(セルフストレッチング)								河野
14	ストレッチング(セルフストレッチング)								河野
15	ストレッチング(全体のまとめ)								河野
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	ストレッチングの方法をテキストで事前に予習すること								
学修評価の 基準と方法	実技試験(30%)、筆記試験(70%)、合計100%								
試験時期	実技試験は期末試験期間前、筆記試験は期末試験期間に実施								
テキスト・参考書	テキスト:セラピストのための機能解剖学ストレッチング上肢・下肢・体幹								
教員紹介	担当講師は整形外科病院での勤務が長く、運動器疾患への実務経験に基づいて理学療法士の育成に向けた授業を展開する								
その他	実技中心のため、動きやすい服装で授業に参加すること。								

# 講 義 要 項

科目名	物理療法学 I						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	杉浦 浩平								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	月	時限	2		
授業概要	物理療法の定義と分類、運動療法と関連する知識と物理療法を実施できる技能の習得を目的とする。①温熱療法、②超音波療法、③寒冷療法、④水治療法について各物理エネルギーの特徴と生理的作用、適応、禁忌、リスク管理について学習する。機器を使用して自ら体験し、実際の治療体験を意識して患者への説明および物理療法の実施方法を学ぶ。								
学修目標	1. 各種物理療法の物理エネルギーの特徴、および主体への生理的作用を説明できる。								
授業方法	座学およびグループによる演習・実習形式により行う。								
授業計画									
NO.	授業内容								担当教員
1	物理療法学 総論								杉浦
2	表在温熱（ホットパック・パラフィン）座学								杉浦
3	表在温熱（ホットパック・パラフィン）演習								杉浦
4	深部温熱（超短波・極超短波・赤外線）座学								杉浦
5	深部温熱（超短波・極超短波・赤外線）演習								杉浦
6	寒冷療法 座学								杉浦
7	寒冷療法 演習								杉浦
8	水治療法 座学								杉浦
9	水治療法 演習								杉浦
10	超音波療法（温熱）座学								杉浦
11	超音波療法（温熱）演習								杉浦
12	グループワーク 物療実験								杉浦
13	グループワーク 物療実験								杉浦
14	グループワーク 物療実験								杉浦
15	まとめ								杉浦
準備学修 （予習・復習）等の 内容と分量	教科書を予習して、自分なりにまとめ、疑問点を出す。演習内容をよく復習する。 レポート課題が課された場合は、期日までに提出すること。								
学修評価の 基準と方法	グループ発表・レポート提出(40%)、筆記試験(60%)の評価とする。								
試験時期	本試・再試：既定の試験期間に実施								
テキスト・参考書	テキスト：イラストでわかる物理療法 / 上杉雅之 監修								
	参考書：物理療法学 / 松澤正・江口勝彦 監修								
教員紹介	回復期、維持期（病院、施設、在宅）で現場経験を積んだ教員（理学療法士）が、現場でのノウハウを交えて講義する。								
その他	出席について：授業開始30分以内に入室した場合は遅刻、それ以降の入室は欠席扱いとなる。授業終了30分前以降に退出した場合は早退とする。出席回数が10回に満たない場合は、試験を受けることができない。								

# 講 義 要 項

科目名	日常生活活動						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	河野								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	木	時限	3		
授業概要	対象者に日常生活活動(以下、ADL)訓練ができるようになるための基本的知識を身につけることを目的とする。そのために、基本的ADLと生活関連活動の概要、評価方法を知り、リハビリテーションにおける位置づけを明確にした上で、訓練における重要性、QOLとの関連性を考える。また、ADLの基本的支援方法の一つとして福祉用具、自助具等について学び、主に歩行補助具(杖、車いす)の処方、使用方法と機能レベルとの関連性を考察する。								
学修目標	基本的ADL、生活関連活動の定義、概念を理解し、その評価ができる。ADLに関連する基本的動作、複合動作を知る。福祉用具、自助具等のADL支援機器を知り、特に杖、車いすの構造、種類、処方について理解し、それらを使用した動作を実施できるようになる。								
授業方法	講義(座学)で学んだ内容をもとに、ADL支援機器を使用した演習を実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3 (木) 1限	オリエンテーション、ADL概論							河野
2	4/10 (木) 1限	生活関連活動/ADLとQOL①							河野
3	4/17 (木) 1限	生活関連活動/ADLとQOL②							河野
4	4/24 (木) 1限	ADLと運動学①							河野
5	5/1 (木) 1限	ADLと運動学②							河野
6	5/8 (木) 1限	静的基本動作(姿勢保持)とADL							河野
7	5/15 (木) 1限	動的基本動作(基本動作)とADL							河野
8	5/22 (木) 1限	複合動作とADL							河野
9	5/29 (木) 1限	介護保険制度/車椅子の構造と操作							河野
10	6/5 (木) 1限	車椅子の種類と処方/車椅子動作							河野
11	6/12 (木) 1限	ADL支援機器と自助具							河野
12	6/19 (木) 1限	杖・歩行器の種類と処方							河野
13	6/26 (木) 1限	杖歩行							河野
14	7/3 (木) 1限	ADL評価①							河野
15	7/10 (金) 1限	ADL評価②							河野
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業内に小テストを実施する(全5回)。前回の授業での学習内容から出題するため、復習をしておくこと。なお、欠席等で小テストを受験できなかった場合は、その点数は0点とする。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験(80%)＋実技試験(20%)、合計100%								
試験時期	全講義終了後に期末試験を行う。実技試験は、授業内で課題・日時を提示する。								
テキスト・参考書	テキスト: 鶴見隆正・他(編): 標準理学療法学 専門分野 日常生活活動学・生活環境学 第6版. 医学書院. ISBN978-4-260-03256-8 参考書: 齋藤宏・他: 姿勢と動作 第3版. メディカルフレンド社. ISBN978-4-8392-1350-3 参考書: 伊藤利之・他(編): 新版 日常生活活動(ADL)-評価と支援の実際-. 医歯薬出版. ISBN978-4-263-21344-5								
教員紹介	担当講師は急性期病院に勤務した経験があり、臨床・教育・研究と脳血管疾患・運動器疾患への実務経験に基づいて理学療法士の育成に向けた授業を展開する。								
その他	正当な理由のない30分以上の遅刻は欠席とする。また、30分未満の遅刻は3回で1回の欠席扱いとする。								

2025 年度  
講 義 要 領  
(シラバス)

理学療法学科  
昼間部 2 年生



専門学校東京医療学院

# 講 義 要 項

科目名	臨床運動学					対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部		
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	金井 良								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	木	時限	1～2限または2限		
授業概要	本講義では、健康成人における、歩行、起立、寝返り、起き上がり動作をバイオメカニクスに基づいて分析し、各疾患各論科目での異常動作パターンの理解につなげることを目的とする。また、運動学習および運動制御理論を学習することで、ダイナミカルシステム理論を基盤とする課題志向的な治療プログラム立案方法を習得する。								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康歩行の知識を用いて、異常歩行パターンを分析できる</li> <li>・健康成人の起立・寝返り・起き上がり動作のバイオメカニクスを説明できる</li> <li>・運動制御理論について説明できる</li> <li>・運動学習と筋力強化の4つの特異性の理論を基に運動プログラムを考案できる</li> </ul>								
授業方法	視聴覚教材、講義プリントを用いて講義を行う。また、歩行解析実技演習およびグループ討議を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8 (火) 1限	異常歩行パターンの分析							金井
2	4/8 (火) 2限	異常歩行パターンの分析							金井
3	4/15 (火) 1限	異常歩行パターンの分析							金井
4	4/15 (火) 2限	異常歩行パターンの分析							金井
5	4/22 (火) 1限	異常歩行パターンの分析							金井
6	4/22 (火) 2限	異常歩行パターンの分析							金井
7	5/20 (火) 2限	臨床場面でよくみられる異常歩行パターン							金井
8	6/3 (火) 1限	健康者における立ち上がり動作の分析							金井
9	6/3 (火) 2限	健康者における立ち上がり動作の分析							金井
10	6/10 (火) 2限	健康者における寝返り動作の分析							金井
11	6/17 (火) 2限	健康者における起き上がり動作の分析							金井
12	6/24 (火) 2限	運動学習(運動学習理論) 課題試行型アプローチ							金井
13	7/1 (火) 2限	筋力強化の特異性 運動制御(姿勢制御)							金井
14	7/22 (火) 1限	症例検討(課題志向型アプローチによる運動プログラム立案)							金井
15	7/22 (火) 2限	症例検討(課題志向型アプローチによる運動プログラム立案)							金井
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	各回30分以上の復習を行い、疑問点は解決しておくこと。ただし、レポート作成についてはこの限りではない。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験(50%)、レポート(50%)の総合点で評価する								
試験時期	規定の本試験期間に実施予定								
テキスト・参考書	【参考書】 観察による歩行分析 Gehen verstehen 著 医学書院								
	【参考書】 臨床動作分析 奈良 勲 監 医学書院								
	【参考書】 セラピストのための運動学習ABC 大橋ゆかり 著 文光堂								
	【参考書】 モーターコントロール 運動制御の理論と臨床応用 第2版 A.S.Cook 著 医歯薬出版								
教員紹介	回復期病院での臨床経験から、特定の治療手技に囚われず、いかに基礎的な運動学的知識から多様な症状を理解するかが重要であると考え、日々実践および臨床施設での講義活動を行っている。								
その他	<b>【講義時の留意点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行分析レポートは30点満点で、提出期限内なら2回まで再提出可能で、なるべく満点に近づけることができる。</li> <li>・起立起居動作レポートは20点満点で、満点に満たない場合、1回出し直し可能で要件を満たせば20点になる。</li> </ul>								

# 講 義 要 項

科目名	内科学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	2	時間	60	授業形態	講義
担当教員	武田 淳史 校長								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	月	時限	1・2限		
授業概要	患者さんに対する理学療法を行う上で、患者さんの持つ各種基礎疾患の内科的医学知識を知ることが、より良きリハビリテーション治療を行う上で重要である。そのために、学生にとって理解しやすい内科学授業を目指し、重要ポイントは繰り返して講義指導を行う。								
学修目標	疾病概念、生理、病理、臨床症状、臨床経過、検査所見、治療予後を含めた内科学の基本的知識の習得と国家試験対策問題にも十分対応する。								
授業方法	教科書を用い臓器別に疾患内容をわかりやすく説明する講義内容を心がける。関連プリントを配布する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/7	(月)	1限	病理学まとめ、診療の進め方、検査と治療法					武田校長
2	4/7	(月)	2限	内科学総論					武田校長
3	4/14	(月)	1限	上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍について					武田校長
4	4/14	(月)	2限	変性と壊死について					武田校長
5	4/21	(月)	1限	肥大と過形成について					武田校長
6	4/21	(月)	2限	急性炎症と慢性炎症の特徴について					武田校長
7	4/28	(月)	1限	最新医療と救命治療					武田校長
8	4/28	(月)	2限	中毒、環境要因による疾患、感染症					武田校長
9	5/12	(月)	1限	循環器疾患1					武田校長
10	5/12	(月)	2限	循環器疾患2					武田校長
11	5/19	(月)	1限	呼吸器疾患1					武田校長
12	5/19	(月)	2限	呼吸器疾患2					武田校長
13	5/26	(月)	1限	消化器疾患1					武田校長
14	5/26	(月)	2限	消化器疾患2					武田校長
15	6/2	(月)	1限	肝・胆道・膵疾患1					武田校長
16	6/2	(月)	2限	肝・胆道・膵疾患2					武田校長
17	6/9	(月)	1限	腎・尿路系疾患1					武田校長
18	6/9	(月)	2限	腎・尿路系疾患2					武田校長
19	6/16	(月)	1限	内分泌・代謝疾患1					武田校長
20	6/16	(月)	2限	内分泌・代謝疾患2					武田校長
21	6/23	(月)	1限	自己免疫・アレルギー疾患1					武田校長
22	6/23	(月)	2限	自己免疫・アレルギー疾患2					武田校長
23	6/30	(月)	1限	血液疾患					武田校長
24	6/30	(月)	2限	脳神経・筋疾患1					武田校長
25	7/7	(月)	1限	脳神経・筋疾患2					武田校長
26	7/7	(月)	2限	脳神経・筋疾患3					武田校長
27	7/14	(月)	1限	精神症状と精神疾患1					武田校長
28	7/14	(月)	2限	精神症状と精神疾患2					武田校長
29	7/21	(月)	1限	循環器 まとめ1					武田校長
30	7/21	(月)	2限	循環器 まとめ2					武田校長
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習は教科書の講義単元を読んでおく、復習は黒板の記載内容をしっかりと理解する必要がある。毎週60分程度の予習、復習を毎回必要とする。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験(記述+国試形式)にて判定します。筆記試験100点で評価。試験結果が60点未満は、再試験となる。								
試験時期	講義時間内に発表する。								
テキスト 参考書	テキスト:「シンプル内科学」第2版 寺野彰著, ISBN 978-4-524-26658-6 参考書:「シンプル病理学」改訂第7版, 笹野公著, ISBN:978-4-524-26154-3								
教員紹介	約30年程、リハビリテーションの教育に携わってきました。内科学が専門です。								
その他	内科学の基本は「病理学」ですので、病理学の復習は十分に行ってください。講義中は、疾患の特徴を理解することに努めて下さい。本試験が60点未満は再試験となります。								

# 講 義 要 項

科目名	整形外科学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	2	時間	60	授業形態	講義
担当教員	請川 洋								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	火	時限	4		
授業概要	リハビリテーションの対象となることが多い整形外科疾患とその治療法を理解することを目的とする。具体的には、骨・関節・筋・神経・軟部組織等の運動器に関する疾患や、障害の病態、病理、臨床症状、治療手技、予後等について教科書の記述をわかりやすく説明する。								
学修目標	①運動器疾患・外傷の病態に応じた基本的治療法(内容)を説明できる。 ②運動器の治療のなかで、理学療法士・作業療法士が果たさなければならない役割を理解する。								
授業方法	板書による講義。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8 (火)	3・4限	整形外科学総論 整形外科学的診断学						請川 洋
2	4/15 (火)	3・4限	整形外科治療法						請川 洋
3	4/22 (火)	3・4限	軟部組織損傷						請川 洋
4	4/29・祝 (火)	3・4限	骨折脱臼総論						請川 洋
5	5/13 (火)	3・4限	肩および上腕の外傷と疾患						請川 洋
6	5/20 (火)	3・4限	肘および前腕の外傷と疾患						請川 洋
7	5/27 (火)	3・4限	手関節と手指の外傷と疾患						請川 洋
8	6/3 (火)	3・4限	股関節および大腿の外傷と疾患						請川 洋
9	6/10 (火)	3・4限	膝関節および下腿の外傷と疾患						請川 洋
10	6/17 (火)	3・4限	膝関節および下腿の外傷と疾患						請川 洋
11	6/24 (火)	3・4限	足関節および足部の外傷と疾患						請川 洋
12	7/1 (火)	3・4限	脊椎・脊髄の疾患1						請川 洋
13	7/8 (火)	3・4限	脊椎・脊髄の疾患2						請川 洋
14	7/15 (火)	3・4限	脊椎・脊髄の疾患3						請川 洋
15	7/22 (火)	3・4限	脊椎・脊髄の疾患4						請川 洋
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	毎回の講義に対応するテキストの通読による予習、講義後のテキストに見直しによる復習が基本。								
学修評価の 基準と方法	期末試験								
試験時期	2025年7月28日(月)～2025年8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト: 整形外科学テキスト(南江堂)改訂第4版								
教員紹介	医師(整形外科専門医)博士(医学)								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	整形外科学						対象学科・専攻	理学療法学科 屋間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	2	時間	60	授業形態	講義
担当教員	請川 洋								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日		時限			
授業概要	リハビリテーションの対象となることが多い整形外科疾患とその治療法を理解することを目的とする。具体的には、骨・関節・筋・神経・軟部組織等の運動器に関する疾患や、障害の病態、病理、臨床症状、治療手技、予後等について教科書の記述をわかりやすく説明する。								
学修目標	①運動器疾患・外傷の病態に応じた基本的治療法(内容)を説明できる。 ②運動器の治療のなかで、理学療法士・作業療法士が果たさなければならない役割を理解する。								
授業方法	板書による講義。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	骨盤周囲の外傷と疾患								請川 洋
2	慢性関節疾患								請川 洋
3	関節リウマチ①								請川 洋
4	関節リウマチ②								請川 洋
5	感染症								請川 洋
6	代謝・内分泌疾患								請川 洋
7	骨軟部腫瘍								請川 洋
8	末梢神経損傷①								請川 洋
9	末梢神経損傷②								請川 洋
10	末梢神経損傷③								請川 洋
11	神経筋疾患								請川 洋
12	骨系統疾患								請川 洋
13	四肢切断及び四肢欠損								請川 洋
14	スポーツ整形外科(総論・各論)・救急時の診察								請川 洋
15	まとめ								請川 洋
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	毎回の講義に対応するテキストの通読による予習、講義後のテキストに見直しによる復習が基本。								
学修評価の 基準と方法	期末試験								
試験時期	2025年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:整形外科学テキスト(南江堂)改訂第4版								
教員紹介	医師(整形外科専門医)博士(医学)								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	神経内科学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	2	時間	60	授業形態	講義
担当教員	灰田 宗孝								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	木	時限	3		
授業概要	医療者として神経疾患を理解できるようになるため、神経症状・理学所見などについて講義する。具体的には神経症候額の概要、及び脳卒中、パーキンソン病などの主要な神経疾患や、筋ジストロフィーなどの筋疾患、難病などリハビリテーションで対象となることの多い疾患について、病態、病理、症状、治療、予後について学習する。								
学修目標	① 神経内科疾患の症状、病態生理を理解し、的確な診断、治療法、予後を他者に説明できる。 ② 神経学的初見の取り方を理解し、その診断的意義を説明できる。 ③ 神経内科各疾患に応じたリハビリテーションを計画することができる。 ④ 国家試験合格のレベルまで、さらに神経内科学一般について広い知識を習得する。								
授業方法	講義に即したレジュメをあらかじめ配布します。授業ではテキストを適宜参照しながら解説を行い、必要に応じて動画などを供覧します。解説後、国家試験の出題例を一緒に解いていきます。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3 (木)	3限	神経疾患を理解するために						
2	4/10 (木)	3限	神経疾患のリハビリテーション						
3	4/17 (木)	3限	運動障害 (1)						
4	4/24 (木)	3限	運動障害 (2)						
5	5/1 (木)	3限	運動障害 (3)						
6	5/8 (木)	3限	運動障害 (4)						
7	5/15 (木)	3限	感覚障害 (1)						
8	5/22 (木)	3限	感覚障害 (2)						
9	5/29 (木)	3限	脳神経障害						
10	6/5 (木)	3限	高次機能障害・意識障害						
11	6/12 (木)	3限	認知機能障害						
12	6/19 (木)	3限	自律神経障害・検査						
13	6/26 (木)	3限	頭痛・めまい						
14	7/3 (木)	3限	神経診察 (1)						
15	7/10 (木)	3限	神経診察 (2)						
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	教科書で必ず予習し、あらかじめ疑問点を見つけて授業に臨む。毎回復習し、疑問点は授業時に質問して解決すること。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験100%								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 脳神経内科学 高橋伸佳編著 理工図書								
教員紹介	東海大学名誉教授 医師 医学博士								
その他	教科書は必ず読んでくること								

# 講 義 要 項

科目名	神経内科学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	2	時間	60	授業形態	講義
担当教員	灰田 宗孝(オンライン)								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日		時限			
授業概要	医療者として神経疾患を理解できるようになるため、神経症状・理学所見などについて講義する。具体的には神経症候額の概要、及び脳卒中、パーキンソン病などの主要な神経疾患や、筋ジストロフィーなどの筋疾患、難病などリハビリテーションで対象となることの多い疾患について、病態、病理、症状、治療、予後について学習する。								
学修目標	① 神経内科疾患の症状、病態生理を理解し、的確な診断、治療法、予後を他者に説明できる。 ② 神経学的初見の取り方を理解し、その診断的意義を説明できる。 ③ 神経内科各疾患に応じたリハビリテーションを計画することができる。 ④ 国家試験合格のレベルまで、さらに神経内科学一般について広い知識を習得する。								
授業方法	講義に即したレジュメをあらかじめ配布します。授業ではテキストを適宜参照しながら解説を行い、必要に応じて動画などを供覧します。解説後、国家試験の出題例を一緒に解いていきます。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	脳血管障害(1)								灰田 宗孝
2	脳血管障害(2)								灰田 宗孝
3	脳腫瘍、頭部外傷、中枢神経感染症								灰田 宗孝
4	パーキンソン病、パーキンソンニズム								灰田 宗孝
5	パーキンソンニズム、不随意運動症								灰田 宗孝
6	認知症								灰田 宗孝
7	てんかん、脊髄小脳変性症								灰田 宗孝
8	運動ニューロン疾患、脱髄性疾患、脊椎脊髄疾患								灰田 宗孝
9	末梢神経疾患								灰田 宗孝
10	ミオパチー								灰田 宗孝
11	自律神経疾患、先天異常								灰田 宗孝
12	代謝性疾患、中毒性疾患								灰田 宗孝
13	神経難病								灰田 宗孝
14	神経疾患のリハビリテーション								灰田 宗孝
15	画像供覧								灰田 宗孝
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	教科書で必ず予習し、あらかじめ疑問点を見つけて授業に臨む。毎回復習し、疑問点は授業時に質問して解決すること。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験100%								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 脳神経内科学 高橋伸佳編著 理工図書								
教員紹介	東海大学名誉教授 医師 医学博士								
その他	教科書は必ず読んでくること								

# 講 義 要 項

科目名	精神医学						対象学科・専攻	理学療法学科 屋間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	野本 義則								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火	時限	2		
授業概要	各種精神障害の病理、症状、その治療、予後などについて理解することを目的とする。具体的には、器質性精神障害、統合失調症、気分障害、神経症性障害、発達障害、など理学療法の場合においても治療対象となることのある疾患の病態、症状、治療法、予後について学習する。また、精神医療状況、精神障害者理解、精神保健福祉に関する法制度や社会福祉施策についてその概要を学習する。								
学修目標	(1)精神医学の概論、歴史を説明できる。(2)精神障害の成因と分類を説明できる。 (3)精神機能の障害と精神症状を説明できる。(4)精神障害の診断と評価を説明できる。 (5)各種精神障害の病理、症状、その治療、予後などについて説明できる。 (6)精神障害の治療とリハビリテーションについて説明できる。								
授業方法	主に教科書に沿って講義を行う。参加型グループワークも取り入れ、課題について学生間で議論、発表する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/9 (火) 2限	精神医学概論 精神医学とは 社会・文化とメンタルヘルス							野本 義則
2	9/16 (火) 2限	精神医学概論 精神医学の歴史 精神保健に関する法規							野本 義則
3	9/30 (火) 2限	障害と精神症状 成因と分類 精神症状の把握 意識 注意と見当識							野本 義則
4	10/7 (火) 2限	障害と精神症状 知能 性格 記憶 感情 欲動および意志 自我意識 知覚							野本 義則
5	10/14 (火) 2限	障害と精神症状 思考 病識 主な精神状態像							野本 義則
6	10/21 (火) 2限	診断と評価 方法 面接 身体的検査 心理検査 精神症状の評価 治療							野本 義則
7	10/28 (火) 2限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 統合失調症							野本 義則
8	11/4 (火) 2限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 統合失調症							野本 義則
9	11/11 (火) 2限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 気分障害							野本 義則
10	11/18 (火) 2限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 神経症性障害							野本 義則
11	11/25 (火) 2限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 生理的障害および身体要因に関連した障害							野本 義則
12	12/2 (火) 2限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 成人のパーソナリティ障害							野本 義則
13	12/9 (火) 2限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 精神作用物質による障害							野本 義則
14	12/16 (火) 2限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 認知症 脳器質性精神障害 症状性精神障害							野本 義則
15	12/23 (火) 2限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 心理的発達の障害 てんかん 精神遅滞							野本 義則
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習として、予定される講義内容について、自己知識を確認し、教科書をもとに概要を予習する。 復習として、講義内容の振り返りを行い、配布資料があれば整理し、不明な点は担当教員に質問する。 国家試験過去問題を用いて知識定着の確認をする。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(100%)にて評価する。								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学(第4版 増補) 上野武治 編集 医学書院								
教員紹介	東京医療学院大学リハビリテーション学科 作業療法学専攻講師 研究:作業療法教育、思春期学 森田療法臨床歴:約15年精神科病院にて臨床に従事。								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	小児科学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	武田校長								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日		時限			
授業概要	小児科学全般、特に小児特有な先天性疾患や発達を理解する。小児科の総論、各論を臓器別(神経系、心臓、呼吸器、内分泌、消化器、血液腫瘍、腎臓、等)に講義する。								
学修目標	成長と発達医学の観点から小児医学・医療に関する知識を深め、理学療法士国家試験合格に必要な知識を身につける。								
授業方法	教科書内容に従い授業を進め、まとめを行っていく。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	小児科概論(Ⅰ)								武田校長
2	小児科概論(Ⅱ)・診断と治療の概要								武田校長
3	新生児・未熟児疾患								武田校長
4	先天異常と遺伝病								武田校長
5	神経・筋・骨系疾患(Ⅰ)								武田校長
6	神経・筋・骨系疾患(Ⅱ)								武田校長
7	循環器疾患								武田校長
8	呼吸器疾患・感染症(Ⅰ)								武田校長
9	感染症(Ⅱ)・消化器疾患								武田校長
10	内分泌・代謝疾患								武田校長
11	血液疾患								武田校長
12	免疫・アレルギー疾患・膠原病								武田校長
13	腎・泌尿器系・生殖器疾患								武田校長
14	睡眠関連病態・心身医学的疾患・虐待								武田校長
15	重症心身障害児								武田校長
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	教科書の指定のページを予習し、講義前にある程度内容をつかんでおくこと								
学修評価の 基準と方法	期末試験(記述+国試形式)で評価する。筆記試験100%で評価し、60点未満は再試。								
試験時期	第16回授業日に本試験を行う。								
テキスト・参考書	テキスト:「標準理学療法学・作業療法学 小児科学」医学書院 / 編集 富田豊								
教員紹介	長年大学にて「内科学」「小児科学」を勉強して来ました。特にPTにとって国家試験、又臨床の現場で必要なポイントを授業を通して指導して行きますので、しっかり勉強して下さい。								
その他	講義中は、重要ポイントを言いますので、チェックを忘れないで下さい。本試験は60点未満が再試験となります。								

# 講 義 要 項

科目名	脳神経外科学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	小川 尋海								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	水	時限	4		
授業概要	患者に生じる症状について、病態・解剖学的アプローチから学習する。脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷など、典型的な疾患の経過について担当医師とディスカッションするために必要な知識を学習する。また、プロフェッショナルとして、患者に対して問題解決のために必要な基本的な情報を提供するための準備を行う。								
学修目標	①脳神経外科疾患を医学用語を適切に使用しながら説明できるようになる。 ②脳神経外科疾患を医学用語を用いずに伝わりやすい言葉で説明できるようになる。								
授業方法	教科書と適宜プリントを配布する。授業の範囲ごとに国家試験の過去問題を確認する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/2	(水)	4限	神経系の構造と機能					小川 尋海
2	4/9	(水)	4限	脳血管障害、高次脳機能障害①					小川 尋海
3	4/16	(水)	4限	脳血管障害、高次脳機能障害②					小川 尋海
4	4/23	(水)	4限	脳血管障害、高次脳機能障害③					小川 尋海
5	4/30	(水)	4限	脳静脈・髄液循環の障害、頭蓋内圧亢進、脳ヘルニア					小川 尋海
6	5/7	(水)	4限	脳神経					小川 尋海
7	5/14	(水)	4限	脊髄疾患、末梢神経、脱髄性疾患①					小川 尋海
8	5/21	(水)	4限	脊髄疾患、末梢神経、脱髄性疾患②					小川 尋海
9	5/28	(水)	4限	変性疾患、筋疾患①					小川 尋海
10	6/4	(水)	4限	変性疾患、筋疾患②					小川 尋海
11	6/11	(水)	4限	感染性疾患、認知症					小川 尋海
12	6/25	(水)	4限	てんかん、先天奇形					小川 尋海
13	7/2	(水)	4限	腫瘍					小川 尋海
14	7/9	(水)	4限	外傷					小川 尋海
15	未定	検査、まとめ							小川 尋海
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキストを通読してから授業に参加してください。復習は授業で取り扱った国家試験の周辺知識を中心に繰り返し反芻してください。ときにはそのまま暗記することも医学には必要です。								
学修評価の 基準と方法	定期試験期間内に国家試験に準じた形式で試験を行う。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	『病気がみえる vol.7 脳・神経 第二版』メディックメディア その他プリントを使用								
教員紹介	埼玉医科大学卒。リハビリテーション専門医。鶴ヶ島市議会議員。実臨床で医師と理学療法士で、すれ違いが生じがちなところを解説します。								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	画像診断学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	関根 紀夫								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	金	時限	4		
授業概要	理学療法士にとって画像診断学は、実際の病態と各種医用画像との結びつきを理解することが重要である。								
学修目標	骨折、関節・骨変形、系統疾患等の単純X線写真、脳・脊髄等のCTスキャン、MRI等の読影と病態の概要および核医学等の放射線診断学の概要をモダリティの特性を含めて学ぶ。								
授業方法	講師作成資料を基に講義する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	5/23 (金)	4限	画像診断法の特徴(X線・CT・MRI・超音波・核医学)						関根 紀夫
2	5/30 (金)	4限	X線検査画像の理解						関根 紀夫
3	6/6 (金)	4限	CT検査画像の理解						関根 紀夫
4	6/13 (金)	4限	MRI画像の理解						関根 紀夫
5	6/20 (金)	4限	超音波画像の理解						関根 紀夫
6	6/27 (金)	4限	核医学画像の理解						関根 紀夫
7	7/4 (金)	4限	ケーススタディ(1)						関根 紀夫
8	7/11 (金)	4限	ケーススタディ(2)						関根 紀夫
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	事前配布資料による予習と講義後の復習用問題を用意する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験のみで評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト：講義時に資料を配布する								
	参考書：講義中に紹介する								
教員紹介	東京都立大学健康福祉学部 准教授								
その他	講義内容の復習を必ず行うこと								

# 講 義 要 項

科目名	薬理学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	大幡 久之								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	火	時限	4		
授業概要	薬がどのような経路で標的臓器に到達し、どのような作用機序で薬理作用を発現するかについて、代表的な薬を中心に理学療法士として必要となる幅広い薬理学的知識を習得する。								
学修目標	薬理学の概念、薬理作用、有害作用等を薬物学的側面から、特に臨床との関連を中心に学ぶ。								
授業方法	指定のテキスト(系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進(3)、医学書院)を中心に板書で捕捉しながら解説する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/9	(火)	4限	薬理学を学ぶにあたって					大幡 久之
2	9/16	(火)	4限	薬が作用する仕組み(薬力学)					大幡 久之
3	9/30	(火)	4限	薬物の投与経路、薬物の吸収・分布・代謝・排泄					大幡 久之
4	10/7	(火)	4限	治療において重要となる薬物動態の指標;薬物相互作用					大幡 久之
5	10/14	(火)	4限	薬効の個人差に影響する因子;薬物の有益性と危険性;薬と法律					大幡 久之
6	10/21	(火)	4限	抗アレルギー薬・抗炎症薬					大幡 久之
7	10/28	(火)	4限	末梢での神経活動に作用する薬物					大幡 久之
8	11/4	(火)	4限	中枢神経系に作用する薬物					大幡 久之
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	指定のテキスト(系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進(3)、医学書院)を用いて予習・復習を3~4時間行うこと。								
学修評価の 基準と方法	期末試験で評価する。								
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進(3)、第15版、医学書院								
教員紹介	博士(薬学)、昭和大学富士吉田教育部客員教授								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	理学療法概論Ⅱ（臨床推論等）						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	60	授業形態	講義・演習
担当教員	川崎孝晃、河野裕也								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日		時限			
授業概要	疾患に対する検査・測定の選定および測定結果に対する問題点、目標設定、理学療法プログラムの立案につながる、臨床的推論の基本的な展開ができる素地を養う。								
学修目標	理学療法における整形疾患（股関節疾患）、脳血管障害に対する基礎知識の確認および習得。整形疾患（大腿骨頸部骨折）、脳血管障害に対する検査・測定および評価項目の選定。理学療法治療における臨床的思考が行えるようにめざす。								
授業方法	講義や演習およびディスカッションを取り入れながら、講義を実施。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	ケーススタディー概論、理学療法総論、理学療法評価学総論								川崎
2	理学療法臨床的思考Ⅰ：【大腿骨頸部骨折】総論（原因、分類、治療、症状）、理学療法								川崎
3	理学療法臨床的思考Ⅱ：理学療法的問題点の検討、理学療法評価（検査測定項目）検								川崎
4	理学療法臨床的思考Ⅲ：理学療法評価（検査測定項目）結果における問題点、治療目								川崎
5	理学療法臨床的思考Ⅳ：理学療法治療プログラム、リスク管理、考察								川崎
6	ケーススタディーⅠ：【大腿骨頸部骨折】カルテ・情報収集、症状の把握、検査測定項目								川崎
7	ケーススタディーⅠ：検査測定結果、問題点整理、順位づけ、目標設定								川崎
8	ケーススタディーⅠ：治療プログラム、考察、統合と解釈、まとめ								川崎
9	理学療法臨床的思考Ⅰ：【脳血管障害】総論（原因、分類、治療、症状）、理学療法的思								河野
10	理学療法臨床的思考Ⅱ：理学療法的問題点の検討、理学療法評価（検査測定項目）検								河野
11	理学療法臨床的思考Ⅲ：理学療法評価（検査測定項目）結果における問題点、治療目								河野
12	理学療法臨床的思考Ⅳ：理学療法治療プログラム、リスク管理、考察								河野
13	ケーススタディーⅡ：【脳血管障害】カルテ・情報収集、症状の把握、検査測定項目								河野
14	ケーススタディーⅡ：検査測定結果、問題点整理、順位づけ、目標設定								河野
15	ケーススタディーⅡ：理学療法治療プログラム、リスク管理、考察、まとめ								河野
準備学修（予習・復習）等の内容と分量	理学療法における臨床的推論には、疾患における基本的な知識が必要である。基礎的な解剖学、運動学および疾患（大腿骨頸部骨折、脳血管障害）の原因、画像、症状等についての復習を行っておくこと。								
学修評価の基準と方法	小テスト、中間試験および期末試験による評価：100%（川崎）								
試験時期	前半講義終了後または期末試験期間中に実施予定。								
テキスト・参考書	テキスト：なし 参考書：『病気がみえる⑦（脳、神経）改訂第2版』医療情報科学研究所著、MedicMedia 2017 参考書：『理学療法評価学（改訂第6版）』松澤正著、金原出版株式会社 2018 参考書：理学療法概論テキスト 細田多穂監修 南江堂								
教員紹介	担当教員：川崎（保健医療博士）は、理学療法士歴30年目で当校教員歴24年。大学附属病院、一般病院等の勤務経験あり。現在、クリニック等にて活動中。								
その他	レポート等の提出期限厳守。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学Ⅲ						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	杉浦 浩平								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	月	時限	3		
授業概要	理学療法評価のうち感覚・知覚検査, 脳神経検査, 筋緊張・反射検査, 片麻痺運動機能検査, および高次脳機能検査について, 各々原理, 目的, 方法, 結果の記録とその解釈について知識と技術を解説する。								
学修目標	中枢神経系理学療法評価の目的・意義を説明できる。検査を正確・迅速に実施し, 結果の記録と解釈ができる。								
授業方法	授業は座学と学生同士による実習形式により行う。								
授業計画									
NO.	授業内容								担当教員
1	4/7	(月)	3限	講義ガイダンス・評価学Ⅲ総論; 評価の目的, 手順, 注意事項など					杉浦
2	4/14	(月)	3限	1年次既習の理学療法検査1項目を選択し, 妥当性・信頼性・確実性について検討する					杉浦
3	4/21	(月)	3限	感覚・知覚障害の評価のやりかた(座学)					杉浦
4	4/25	(金)	1限	感覚・知覚検査(実技)					杉浦
5	4/28	(月)	3限	脳神経の障害の評価のやりかた(座学)					杉浦
6	5/12	(月)	3限	脳神経検査(実習)					杉浦
7	5/19	(月)	3限	知覚検査・脳神経検査のまとめ					杉浦
8	5/26	(月)	3限	感覚検査(まとめと実習)					杉浦
9	6/2	(月)	3限	脳神経検査(まとめと実習)					杉浦
10	6/9	(月)	3限	筋緊張の異常, 深部腱と表在反射の異常, 病的反射の評価のやりかた(座学)					杉浦
11	6/16	(月)	3限	筋緊張検査, 深部腱と表在反射, 病的反射(まとめと実習)					杉浦
12	6/30	(月)	3限	片麻痺運動機能検査で障害をどのように評価するか(座学)					杉浦
13	6/30	(月)	4限	片麻痺運動機能検査(実習)					杉浦
14	7/7	(月)	3限	高次脳機能検査で障害をどのように把握するか(座学)					杉浦
15	7/14	(月)	3限	筋緊張・反射・運動機能検査・高次脳機能検査のまとめ					杉浦
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習は教科書, 参考書の講義予定単元を読んで課題をまとめておく。週90分程度の時間が必要である。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験60点, 実技試験(20点×2)の総合評価とする。								
試験時期	実技中間試験: 2025年6月23日(月) 実技期末試験: 2025年7月11日(金) 期末筆記試験: 授業内で提示								
テキスト・参考書	テキスト: 最新理学療法学講座 理学療法評価学 編著: 望月久 参考書: 理学療法評価学 第6版補訂版 松澤正 金原出版								
教員紹介	回復期病院, 訪問リハで理学療法臨床に携わる教員がその経験に即した理学療法評価と治療の実際を紹介する。								
その他	授業の進度, 他必要に応じ授業内容の変更があります。授業内容は生理・解剖を基盤に病態と関連しているので, 生理・解剖含め, 専門基礎科目の復習を確実にしてください。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学Ⅳ						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	中山沙織								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	金	時限	4限、もしくは2～3限		
授業概要	理学療法業務の最も基本となる検査・測定・評価について、その目的や具体的方法について学び、臨床現場で実践できるようにスキルを向上する。対象となる人の身体に触れる際の立ち振る舞いから始まり、医療行為の重要性と危険性について演習および実習を交えて学習する。								
学修目標	検査内容を理解し、正確に実施することができる。 検査結果を基に、正しく評価を行うことができる。								
授業方法	座学、実技								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/11 (水)	4限	疼痛検査						中山
2	4/25 (金)	4限	バランス検査(姿勢反射含め)						中山
3	5/4 (金)	4限	バランス検査(姿勢反射含め)						中山
4	5/16 (金)	4限	バランス検査						中山
5	5/23 (金)	4限	バランス検査						中山
6	5/30 (金)	4限	協調性検査						中山
7	5/30 (金)	2限	協調性検査						中山
8	6/6 (金)	3限	ADL検査						中山
9	6/6 (金)	2限	姿勢観察						中山
10	6/13 (金)	3限	姿勢観察						中山
11	6/13 (金)	2限	動作観察						中山
12	6/20 (金)	3限	動作観察						中山
13	6/20 (金)	2限	動作観察						中山
14	6/27 (金)	3限	動作観察						中山
15	6/27 (金)	1限	まとめ						中山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	小テストにて理解できているかを随時確認する。その為、必ず復習をすること。								
学修評価の 基準と方法	小テスト(10点)、実技テスト(30点)、筆記試験(60点)の合計100点満点								
試験時期	小テスト: 授業終了時にアナウンス 実技試験: 7/25(1～2限) 筆記試験: 試験期間中								
テキスト・参考書	最新理学療法講座 理学療法評価学 編)望月久 医歯薬出版株式会社 理学療法評価学 第6版 松澤正著 金原出版 標準理学療法学 理学療法評価学 編集 内山靖 医学書院								
教員紹介	急性期、回復期、維持期(病院、施設、在宅)で現場経験を積んだ教員が、現場でのノウハウを交えて講義する。								
その他	実技では、動きやすい服装で参加すること。 出席について: 授業開始30分以内に入室した場合は遅刻、それ以降の入室は欠席扱いとなる。授業終了30分前以降に退出した場合は早退とする。出席回数が10回に満たない場合は、試験を受けることができない。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学Ⅴ(徒手筋力検査等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	田中								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	木	時限	4		
授業概要	理学療法評価法Ⅰ、Ⅱで学習したことを踏まえ、全身の筋力を検査し記録する徒手筋力検査法に基づく評価技術を身につける。								
学修目標	1. 徒手筋力検査法を理解し実施できる。 2. 徒手筋力検査法を対象者の病態に合わせ実施できる。								
授業方法	テキストと配布印刷物を用いて講義と実技を交え進めていく								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/2 (水) 2限	徒手筋力検査法概要・触診							田中
2	4/3 (木) 4限	徒手筋力検査法①(上肢:肩関節)							田中
3	4/10 (木) 4限	徒手筋力検査法②(上肢:肩関節)							田中
4	4/17 (木) 4限	徒手筋力検査法③(上肢:肘関節、前腕)							田中
5	4/24 (木) 4限	徒手筋力検査法④(上肢:手関節、母指)							田中
6	5/1 (木) 3限	徒手筋力検査法⑤(上肢:手指)							田中
7	5/8 (木) 4限	徒手筋力検査法⑥(下肢:股関節)							田中
8	5/15 (木) 4限	徒手筋力検査法⑦(下肢:膝関節)							田中
9	5/22 (木) 4限	徒手筋力検査法⑧(下肢:足関節)							田中
10	5/29 (木) 4限	徒手筋力検査法⑨(体幹)							田中
11	6/5 (木) 4限	徒手筋力検査法⑩(肩甲帯)							田中
12	6/12 (木) 4限	徒手筋力検査法⑪(頭頸部・脳神経)							田中
13	6/19 (木) 4限	徒手筋力検査法⑫(姿勢別検査手順)							田中
14	6/26 (木) 4限	ケーススタディー①							田中
15	7/3 (木) 4限	ケーススタディー②							田中
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業前に骨・筋を復習して授業に参加すること。各筋の触診は必ず事前に確認しておくこと。毎回の授業後には繰り返し練習しておくこと								
学修評価の 基準と方法	筆記試験(50%)、実技試験(50%)								
試験時期	全講義終了後に実技・期末試験を行う。								
テキスト・参考書	津山直一、徒手筋力検査法 協同医書出版社 978-4-7639-0038-8								
教員紹介	担当講師は急性期病院に勤務した経験があり、臨床・教育・研究と実務経験に基づいて理学療法士の育成に向けた授業を展開する。								
その他	実技時は動きやすい服装で臨むこと 正当な理由のない30分以上の遅刻は欠席とする。また、30分未満の遅刻は3回で1回の欠席扱いとする。								

# 講 義 要 項

科目名	中枢神経系理学療法 I (脳血管障害の理学療法)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	金井良								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	火	時限	1		
授業概要	本講義では、脳血管障害の理学療法に関する、脳機能解剖学、神経生理学的知識を横断的に学習し、画像所見や各種臨床検査結果から理学療法評価を行える技能を学習し、脳血管障害の中枢神経組織の回復過程に応じた治療プログラムを立案、実施できる技能を学習する。また、模擬症例の動作動画や検査結果から、統合と解釈を行う。								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大脳と脳幹の機能解剖の知識から、脳画像をみて症状を推察できる</li> <li>・高次脳機能障害の症状と責任病巣を説明できる。各種高次脳機能検査を実施できる</li> <li>・運動麻痺や腱反射亢進、筋緊張異常について、神経生理的機序が説明できる</li> <li>・運動麻痺や腱反射、筋緊張、感覚について、検査測定とその解釈ができる</li> <li>・パーキンソン病の病態について、神経生理学的機序を説明できる</li> <li>・パーキンソン病の特異的評価ができる</li> </ul>								
授業方法	視聴覚教材、および講義プリントによる講義、実技演習を行う。また、模擬症例へのグループ討議を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/29 (火) 1限	大脳の機能解剖(各脳領域の機能局在)							金井
2	4/29 (火) 2限	大脳の機能解剖(各脳領域の機能局在)							金井
3	5/13 (火) 1限	脳幹の機能解剖と神経伝導路(脳幹の機能局在と錐体路、感覚伝導路)							金井
4	5/13 (火) 2限	脳幹の機能解剖と神経伝導路(脳幹の機能局在と錐体路、感覚伝導路)							金井
5	5/20 (火) 1限	脳血管の解剖学的知識と脳画像のみかた							金井
6	5/27 (火) 1限	脳血管の解剖学的知識と脳画像のみかた							金井
7	5/27 (火) 2限	脳血管の解剖学的知識と脳画像のみかた							金井
8	6/10 (火) 1限	運動麻痺の神経生理学的機序とその回復課程、片麻痺機能検査の実際							金井
9	6/17 (火) 1限	運動麻痺の神経生理学的機序とその回復課程、片麻痺機能検査の実際							金井
10	6/24 (火) 1限	腱反射、筋緊張検査、感覚検査、体幹機能検査の実際と臨床的意義							金井
11	7/1 (火) 1限	腱反射、筋緊張検査、感覚検査、体幹機能検査の実際と臨床的意義							金井
12	7/8 (火) 1限	腱反射、筋緊張検査、感覚検査、体幹機能検査の実際と臨床的意義							金井
13	7/8 (火) 2限	パーキンソン病の病態と神経生理学的機序							金井
14	7/15 (火) 1限	パーキンソン病の評価の実際							金井
15	7/15 (火) 2限	パーキンソン病の理学療法							金井
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	各回終了後に30～60分程度の復習を要す。また、実技練習やレポート作成については、この限りではない。								
学修評価の 基準と方法	小テスト20点 実技テスト20点 期末テスト60点 計100点								
試験時期	実技試験 7/18(金) 1～2限								
テキスト・参考書	脳卒中理学療法の理論と技術 原 寛美、吉尾雅春 編 メジカルビュー社 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版 尾上尚志 他 Medic Media								
教員紹介	回復期病院での臨床経験から、特定の治療手技に囚われず、いかに基礎医学および生体力学的な知識から多様な症状を理解するかが重要であると考え、日々実践および臨床施設での講義活動を行っている。								
その他	<b>【講義時の留意点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストは1回5点満点です。満点でない場合、テスト後2週間以内なら何度でも受けなおし可能。</li> <li>・実技試験を行います。20点満点です。</li> <li>・実技のある日は動きやすい服装に着替えてください。</li> </ul>								

# 講 義 要 項

科目名	中枢神経系理学療法Ⅱ(脳血管障害の理学療法)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	2	時間	60	授業形態	講義・演習
担当教員	金井良								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	金	時限	1～2		
授業概要	本講義では、中枢神経系理学療法Ⅰで履修した脳機能解剖学、神経生理学的知識を踏まえ、演習を通じ脳血管障害症例に対する各種理学療法評価を実施できる技能を修得する。また、脳血管障害の中枢神経組織の回復過程に応じた治療プログラムを立案、実施できる技能を学習する。またグループ討議にて模擬症例の動作動画や検査結果から統合と解釈を行う。								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳血管障害の高次脳機能検査と体幹機能検査ができる</li> <li>・脳血管障害の機能検査結果と、歩行やADLとの関連付けができる</li> <li>・脳血管障害の検査結果から、運動機能、歩行能力、ADLの予後予測ができる</li> <li>・脳血管障害の病期別リハビリテーションの治療コンセプトを説明できる。</li> <li>・脳血管障害患者の歩行分析と適切な装具処方ができる。</li> <li>・脳血管障害患者の症状に合わせて適切な動作介助ができる。</li> </ul>								
授業方法	視聴覚教材、および講義プリントによる講義、実技演習を行う。また、模擬症例へのグループ討議を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/13 (金) 1-2限	体幹機能検査の実際と臨床的意義							金井
2	9/20 (金) 1-2限	症例検討 各機能障害と基本動作の統合							金井
3	9/27 (金) 1-2限	症例検討 各機能障害と基本動作の統合							金井
4	10/4 (金) 1-2限	症例検討 各機能障害と基本動作の統合							金井
5	10/11 (金) 1-2限	運動麻痺回復の3つのステージ、急性期のリスク管理(臥位ポジショニング)							金井
6	10/18 (金) 1-2限	片麻痺患者の急性期のリスク管理 関節可動域練習の実際							金井
7	10/25 (金) 1-2限	片麻痺患者の寝返り・起き上がり動作、移乗動作の治療的介助の実際							金井
8	11/1 (金) 1-2限	片麻痺患者の移乗動作・階段昇降動作の治療的介助の実際							金井
9	11/8 (金) 1-2限	車いすシーティングの実際、片麻痺患者への装具処方の知識							金井
10	11/15 (金) 1-2限	片麻痺患者の歩行分析の実際と適切な装具処方							金井
11	11/22 (金) 1-2限	長下肢装具のチェックアウト、長下肢装具歩行全介助方法の実際							金井
12	11/29 (金) 1-2限	高次脳機能検査の実際とその臨床的意義							金井
13	12/6 (金) 1-2限	ADL評価と総合評価の実際、予後予測							金井
14	12/13 (金) 1-2限	小脳失調を呈する患者へのアプローチ							金井
15	12/20 (金) 3-4限	ワレンベルグ症候群、Pusher現象を呈する患者へのアプローチ							金井
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	各回終了後に60分程度の復習を要す。また、実技練習やレポート作成については、この限りではない。								
学修評価の 基準と方法	レポート点20点 実技テスト20点 期末テスト60点 計100点								
試験時期	実技試験 12/23(月)3～4限 実技テスト 筆記試験は後日告知								
テキスト・参考書	標準理学療法学 神経理学療法学 吉尾雅春・森岡 周(編) 医学書院 脳卒中理学療法の理論と技術 原 寛美、吉尾雅春 編 メジカルビュー社								
教員紹介	回復期病院での臨床経験から、特定の治療手技に囚われず、いかに基礎医学および生体力学的な知識から多様な症状を理解するかが重要であると考え、日々実践および臨床施設での講義活動を行っている。								
その他	<b>【講義時の留意点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートを課します。1回10点満点で、7点以下の場合、再提出で8点になります。</li> <li>・レポートは提出期限を過ぎた場合、0点になります。レポート点は評点の20点分です。</li> <li>・実技試験を行います。20点満点です。</li> <li>・実技のある日は動きやすい服装に着替えてください。</li> </ul>								

# 講 義 要 項

科目名	筋・骨格系理学療法学 I						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	河野裕也								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	金	時限	3		
授業概要	運動器疾患の理学療法が行えるようになるため、必要な知識を身につけることを目標とする。運動器疾患の病態や医学的な治療法と、理学療法評価学で学んだ評価技術および評価法についての知識を統合して、運動器疾患の理学療法を行うための治療理論を身につける。								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解剖学的、運動学的、生理学的知識に則り、各運動器疾患の病態を理解・説明できる</li> <li>・各運動器障害の保存的自然治癒および手術による治療過程を理解・説明できる</li> <li>・運動器疾患に特異的な整形外科的テストができる</li> <li>・各組織の治癒過程に配慮した、理学療法治療プログラムを選択・説明できる</li> </ul>								
授業方法	パワーポイントを使用し講義を進める。講義内容を理解した上で実技演習を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	膝関節疾患：変形性膝関節症①								河野
2	膝関節疾患：変形性膝関節症②								河野
3	膝関節疾患：TKA								河野
4	膝関節疾患の評価、アプローチ①								河野
5	膝関節疾患の評価、アプローチ②								河野
6	股関節疾患：大腿骨頸部骨折、転子部骨折								河野
7	股関節疾患：変形性股関節症、臼蓋形成不全								河野
8	股関節疾患：変形性股関節症、臼蓋形成不全								河野
9	股関節疾患の評価、アプローチ①								河野
10	股関節疾患の評価、アプローチ②								河野
11	足関節疾患：足関節靭帯損傷								河野
12	足関節疾患：シンスプリント、Jones骨折、扁平足、外反母趾など								河野
13	足関節疾患の評価、アプローチ①								河野
14	足関節疾患の評価、アプローチ②								河野
15	全体のまとめ								河野
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	各疾患に対して事前に予習しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	実技試験(30%)、筆記試験(70%)、合計100%								
試験時期	実技試験は期末試験期間前、筆記試験は期末試験期間に実施する								
テキスト・参考書	テキスト：整形外科運動療法ナビゲーション 下肢 メジカルビュー ISBN978-4-7583-1479-4								
教員紹介	担当講師は整形外科病院での勤務が長く、運動器疾患への実務経験に基づいて理学療法士の育成に向けた授業を展開する								
その他	動きやすい服装で参加すること オンライン授業はその後の課題提出と添削によって履修を認める								

# 講 義 要 項

科目名	筋・骨格系理学療法Ⅱ(上肢、脊椎の運動器障害等)					対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部		
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	河野裕也								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	木	時限	2		
授業概要	運動器疾患の理学療法が行えるようになるため、必要な知識を身につけることを目標とする。運動器疾患の病態や医学的な治療法と、理学療法評価学で学んだ評価技術および評価法についての知識を統合して、運動器疾患の理学療法を行うための治療理論を身につける。								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整形外科疾患の病態を理解し、その回復過程から理学療法評価・治療に結びつけることができる。</li> <li>・治療プログラムを、リスクに配慮しつつ効果的に実践できる。</li> <li>・各種神経、筋疾患の病態、およびそれらに対する理学療法(運動療法・リスク管理)について理解できる</li> </ul>								
授業方法	パワーポイントを使用し、講義内容を理解した上で実技演習を行う。								
授業計画									
NO	授業内容							担当教員	
1	4/3 (木) 2限	運動器障害の治療理論 各組織の再生・修復過程					河野		
2	4/10 (木) 2限	脊柱の機能解剖					河野		
3	4/17 (木) 2限	脊柱疾患:椎間板ヘルニア					河野		
4	4/24 (木) 2限	脊柱疾患:腰部脊柱管狭窄症					河野		
5	5/1 (木) 2限	脊椎疾患:脊椎圧迫骨折、その他の脊椎疾患					河野		
6	5/8 (木) 2限	頸椎疾患(OPLL、胸郭出口症候群)					河野		
7	5/15 (木) 2限	脊椎疾患の評価、アプローチ①					河野		
8	5/22 (木) 2限	脊椎疾患の評価、アプローチ②					河野		
9	5/29 (木) 2限	肩関節の機能解剖					河野		
10	6/5 (木) 2限	肩関節疾患:腱板断裂、肩関節周囲炎					河野		
11	6/12 (木) 2限	肩関節疾患の評価、アプローチ①					河野		
12	6/19 (木) 2限	肩関節疾患の評価、アプローチ②					河野		
13	6/26 (木) 2限	上肢の脱臼・骨折(肩関節～前腕)					河野		
14	7/3 (木) 2限	上肢の脱臼・骨折(前腕～手・手指)、骨盤骨折					河野		
15	7/10 (木) 2限	全体のまとめ					河野		
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	各疾患に対して事前に予習しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	実技試験(30%)、筆記試験(70%)、合計100%								
試験時期	実技試験は期末試験期間前、筆記試験は期末試験期間に実施する								
テキスト・参考書	テキスト:イラストでわかる運動器障害理学療法								
教員紹介	担当講師は整形外科病院での勤務が長く、運動器疾患への実務経験に基づいて理学療法士の育成に向けた授業を展開する								
その他	実技中心のため、動きやすい服装で授業に参加すること。								

# 講 義 要 項

科目名	神経筋疾患系理学療法学 I (DMD、リウマチの理学療法等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	中山沙織								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	水	時限	2		
授業概要	神経筋疾患系(以下、7疾患)にていての疾患概要、リハビリテーションについて								
学修目標	対象疾患の一般的な概要とリハビリテーションの知識を得る								
授業方法	座学								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/9 (水) 2限	パーキンソン病①							中山
2	4/16 (水) 1限	パーキンソン病②							中山
3	4/16 (水) 2限	多発性硬化症①							中山
4	4/23 (水) 2限	多発性硬化症②							中山
5	4/30 (水) 1限	筋ジストロフィー①							中山
6	4/30 (水) 2限	筋ジストロフィー②							中山
7	5/7 (水) 2限	関節リウマチ①							中山
8	5/14 (水) 2限	関節リウマチ②							中山
9	5/21 (水) 2限	ギラン・バレー症候群①							中山
10	5/28 (水) 2限	ギラン・バレー症候群②							中山
11	6/4 (水) 2限	多発性筋炎							中山
12	6/11 (水) 2限	重症筋無力症							中山
13	6/18 (水) 2限	応用問題							中山
14	6/25 (水) 2限	応用問題							中山
15	7/2 (水) 2限	まとめ							中山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業後復習すること								
学修評価の 基準と方法	筆記試験100点満点で評価する。筆記試験日:試験期間中								
試験時期	筆記試験:授業終了時に通知								
テキスト・参考書	配布資料中心								
	メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 脳神経内科学(神経内科学の授業で使用)								
教員紹介	急性期、回復期、維持期(病院、施設、在宅)で現場経験を積んだ教員が、現場でのノウハウを交えて講義する。現在、訪問看護ステーションにて理学療法士として活動中。								
その他	出席について:授業開始30分以内に入室した場合は遅刻、それ以降の入室は欠席扱いとなる。授業終了30分前以降に退出した場合は早退とする。								

# 講 義 要 項

科目名	発達期の理学療法学							対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	三沢 峰茂								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	金	時限	2～4		
授業概要	姿勢・運動障害を呈する小児疾患の特徴をまとめ、それぞれの運動療法の理解を深める。								
学修目標	小児特有の障害(脳性麻痺、二分脊椎、筋疾患など)についてその特長や症候について理解を深め、その運動療法について考え、体験する。								
授業方法	動画、パワーポイントを活用し配布資料をもとに学生同士の実技演習を行い理解を深める。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/4 (金) 2限	こどもの障害と運動療法							三沢 峰茂
2	4/4 (金) 3限	障害児の評価							三沢 峰茂
3	4/4 (金) 4限	運動療法の視点からみた運動発達							三沢 峰茂
4	4/11 (金) 2限	運動発達実技演習							三沢 峰茂
5	4/11 (金) 3限	脳性麻痺について、NICUでの理学療法							三沢 峰茂
6	4/18 (金) 2限	痙直型四肢麻痺の特長と運動療法							三沢 峰茂
7	4/18 (金) 3限	痙直型両麻痺の特長と運動療法							三沢 峰茂
8	4/25 (金) 2限	痙直型の子どもに対する実技演習							三沢 峰茂
9	4/25 (金) 3限	アトーゼ型脳性麻痺の特長と運動療法							三沢 峰茂
10	5/2 (金) 2限	アトーゼ型脳性麻痺に対する運動療法							三沢 峰茂
11	5/2 (金) 3限	摂食機能療法について							三沢 峰茂
12	5/9 (金) 2限	摂食機能療法の実技演習							三沢 峰茂
13	5/9 (金) 3限	二分脊椎の特長と運動療法							三沢 峰茂
14	5/16 (金) 2限	低緊張児の特長と運動療法							三沢 峰茂
15	5/16 (金) 3限	神経筋疾患の理学療法							三沢 峰茂
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	解剖学、生理学、人間発達学、評価学など基本的知識を復習しておいて下さい。								
学修評価の 基準と方法	期末試験								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:なし 参考書:授業の中で必要に応じて紹介								
教員紹介	大学病院、リハビリテーション施設での仕事と在宅支援(訪問看護、訪問リハ)の仕事を実践してきました。								
その他	実技演習ができる服装で出席								

# 講 義 要 項

科目名	内部疾患系理学療法学 I						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	岡村大介、高橋佑太、田中								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火、木	時限	3限 または 4限		
授業概要	呼吸器疾患の病状・特徴について授業を展開し、理学療法士の関わり方を学習し、演習を通して理学療法評価・治療手技を実施できるようにすることを目的とする。また、自身で呼吸器疾患について調べてグループワークを通して考え方を学んでいく。								
学修目標	1. 呼吸器の解剖と生理を理解し、評価手技を実施できる。 2. 理学療法の考え方を学び、各呼吸器疾患に合わせて理学療法手技を選択できる。								
授業方法	テキストと配布プリントを使用し、講義・実技を交えて進めていく。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/9	(火)	3限	循環器の解剖と機能					岡村
2	9/16	(火)	3限	循環調節と各種検査(心電図)					岡村
3	9/30	(火)	3限	各種検査(心電図・心肺運動負荷試験)					岡村
4	10/7	(火)	3限	虚血性心疾患の理学療法					岡村
5	10/14	(火)	3限	心不全の理学療法					岡村
6	10/21	(火)	3限	心臓血管外科術後の理学療法(心臓)					岡村
7	10/28	(火)	3限	心臓血管外科術後の理学療法(血管)					岡村
8	11/4	(火)	3限	症例検討(グループワーク)					岡村
9	11/6	(木)	4限	閉塞性肺疾患の理学療法					高橋
10	11/13	(木)	4限	人工呼吸患者の理学療法					高橋
11	11/20	(木)	4限	間質性肺疾患の理学療法					高橋
12	11/27	(木)	4限	COVID-19の理学療法					高橋
13	12/4	(木)	4限	周術期患者の理学療法					高橋
14	12/11	(木)	4限	肺がん患者の理学療法					高橋
15	12/18	(木)	4限	症例検討(グループワーク)					高橋
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業終了後は事後学習として、教科書・配布プリントを復習すること。 実技を行った際は、復習を行うこと。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験(50%)の成績にて評価をする。								
試験時期	全講義終了後に期末試験を行う。								
テキスト・参考書	PT・OT入門 イラストでわかる内部障害 医歯薬出版株式会社 呼吸リハビリテーション 中山書店								
教員紹介	聖路加国際病院において、循環器リハビリテーションの旗揚げ当時から臨床経験を蓄積しており また発生初期段階からCOVID-19での急性期対応を担っており、学会活動歴も豊富な循環器・呼吸器理学療法のスベシヤリスト。								
その他	正当な理由のない30分以上の遅刻は欠席とする。また、30分未満の遅刻は3回で1回の欠席扱いとする。								

# 講 義 要 項

科目名	物理療法学Ⅱ(電気、光線、牽引療法等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	杉浦 浩平								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	水	時限	3		
授業概要	物理療法の定義と分類、運動療法との関連を学び、①マッサージ療法、②光線療法、③牽引療法、④超音波療法(機械的刺激モード)、⑤電気刺激療法について各物理エネルギーの特徴と生理的作用、適応、禁忌、リスク管理について学習する。機器を使用して自ら体験し、実際の治療現場を意識して患者への説明および物理療法の実施ができるようになるための演習を行う。								
学修目標	1. 各種物理療法の物理エネルギーの特徴、および生体への生理的作用を説明できる。								
授業方法	授業は座学およびグループによる演習・実習形式により行う。								
授業計画									
NO.	授業内容								担当教員
1	4/2 (水) 3限	前期物理療法Ⅰ(水・温熱・寒冷・超音波)振り返り、マッサージ療法 座学							杉浦
2	4/9 (水) 3限	マッサージ療法 演習							杉浦
3	4/16 (水) 3限	光線療法(紫外線・レーザー) 座学							杉浦
4	4/23 (水) 3限	光線療法(紫外線・レーザー) 演習							杉浦
5	4/30 (水) 3限	牽引療法 座学							杉浦
6	5/7 (水) 3限	牽引療法 演習							杉浦
7	5/14 (水) 3限	超音波療法(機械的刺激モード) 座学							杉浦
8	5/21 (水) 3限	超音波療法(機械的刺激モード) 演習							杉浦
9	5/28 (水) 3限	電気刺激療法 座学							杉浦
10	6/4 (水) 3限	電気刺激療法 演習							杉浦
11	6/11 (水) 3限	物理療法 グループワーク①							杉浦
12	6/18 (水) 3限	物理療法 グループワーク②							杉浦
13	6/25 (水) 3限	物理療法 グループワーク③							杉浦
14	7/2 (水) 3限	物理療法 グループワーク④							杉浦
15	7/9 (水) 3限	まとめ							杉浦
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	教科書を予習して、自分なりにまとめ、疑問点を出す。演習内容をよく復習する。週90分程度の時間が必要である。								
学修評価の基準と方法	レポート課題・グループワーク(30%)、筆記試験(70%)の評価とする。								
試験時期	授業開始後に連絡する								
テキスト・参考書	イラストでわかる物理療法								
教員紹介	回復期・訪問リハで理学療法の臨床に携わる教員がその経験に即した物理療法の実際を紹介する。								
その他	授業の進捗、他必要に応じてこの授業内容を変更することがあります。グループ演習(実習含む)が円滑に成立するよう、積極的に疑問点を挙げディスカッション等へ参加してください。								

# 講 義 要 項

科目名	地域理学療法学						対象学科・専攻	理学療法学科 屋間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	藤澤 沙紀						オムニバス・通年等 シラバス分割		
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	月	時限	1・2(4)		
授業概要	患者及び障害児者、高齢者の地域における生活を支援していくために必要な知識や技術を習得し、課題解決能力を得ることを目的とする。地域リハビリテーション医療の流れ(介護予防、急性期、回復期、維持期、終末期)、各時期における心身機能の変化や理学療法の目的、評価方法(疾病、障害、ニーズ、生活環境)、環境整備、福祉制度や各種福祉施設について学ぶ。								
学修目標	各ステージ毎での理学療法士の業務内容や役割、システムを理解する。→将来の仕事をイメージできる。→自分のキャリアをデザインできる。→患者・利用者にベストでマストなサービス提供は何かを理解できる。								
授業方法	座学、個人・グループワーク								
授業計画									
NO	授業内容							担当教員	
1	9/8	月	1限	地域リハの総論				藤澤 沙紀	
2	9/8	月	2限	急性期のリハビリテーション				藤澤 沙紀	
3	9/8	月	4限	回復期のリハビリテーション				藤澤 沙紀	
4	9/15・祝	月	1限	介護保険制度のしくみ				藤澤 沙紀	
5	9/15・祝	月	2限	地域包括ケアシステムと多職種連携				藤澤 沙紀	
6	9/15・祝	月	4限	介護保険サービスについて				藤澤 沙紀	
7	9/22	月	1限	福祉用具と住環境整備				藤澤 沙紀	
8	9/22	月	2限	地域支援事業				藤澤 沙紀	
9	9/22	月	4限	介護予防と健康増進				藤澤 沙紀	
10	9/29	月	1限	障害支援				藤澤 沙紀	
11	9/29	月	2限	終末期のリハビリテーション				藤澤 沙紀	
12	9/29	月	4限	災害と安全管理・介護予防と健康増進				藤澤 沙紀	
13	10/6	月	1限	生活場面で関わる疾患と病態像の理解と理学療法の実際①				藤澤 沙紀	
14	10/6	月	2限	まとめ				藤澤 沙紀	
15	10/6	月	4限	多方面で活躍する理学療法士と理学療法のこれから				藤澤 沙紀	
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習は該当する項目を読み、授業はわからなかった箇所の確認として活用してください。 復習については、参考書の他に配布資料の引用検索して情報量を増やしてください。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験のみ								
試験時期	2025年1月16日(木)～1月22日(水)								
テキスト・参考書	参考書:シンプル理学療法シリーズ 地域リハビリテーション学テキスト 南江堂 その他は都度紹介します								
教員紹介	理学療法士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター2級 勤務歴:急性期8年、回復期1年、ケアマネ2年、生活期6年、現在は訪問看護ステーション在籍								
その他									

2025 年度  
講 義 要 領  
(シラバス)

理学療法学科  
昼間部 3 年生



専門学校東京医療学院

# 講 義 要 項

科目名	理学療法概論Ⅲ(理学療法トピックスと統計学)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	2	時間	60	授業形態	講義
担当教員	川崎孝晃、金井良(統計学)								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	木	時限	1～4		
授業概要	理学療法実施時に必要な基礎科目(解剖学、生理学、運動学他)、基礎医学(疾患学や症状)の復習を行うことで、理学療法実施時に必要な理学療法治療法の選択が出来るようになるための講義である。また、最新の理学療法トピックスや理学療法分野における論文を読むときに必要な統計学を学ぶことで、理学療法における学習意欲の向上を図る。								
学修目標	理学療法実施時に必要な基礎科目(解剖学、生理学、運動学他)、基礎医学(疾患学や症状)における基礎的知識の復習、理学療法専門分野における基本的な理学療法治療学を習得することを目的とする。また、最新の理学療法トピックスの学習および理学療法分野の論文考察時に必要となる、統計学を学習することで、理学療法における最新知識の習得や学習意欲の向上を図ることを目的とする。								
授業方法	講義およびグループワーク、グループディスカッションを取り入れながらの講義とする。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3 (木)	1.2限	基礎科目(解剖学)総論						川崎
2		3.4限	基礎科目(生理学)総論						川崎
3	4/10 (木)	1.2限	基礎科目(運動学)総論						川崎
4		3.4限	基礎医学(整形外科疾患)						川崎
5	4/17 (木)	1.2限	基礎医学(中枢神経系疾患)						川崎
6		3.4限	基礎医学(神経筋系疾患)						川崎
7	4/24 (木)	1.2限	理学療法治療学総論						川崎
8		3.4限	理学療法治療学(整形外科疾患)						川崎
9	5/1 (火)	3.4限	理学療法治療学(中枢神経系疾患)						川崎
10	5/8 (木)	1.2限	理学療法治療学(神経筋系疾患)						川崎
11		3.4限	理学療法トピックス①(整形外科疾患)						川崎
12	5/15 (木)	1.2限	理学療法トピックス②(中枢神経系疾患)						川崎
13		3.4限	理学療法トピックス③(神経筋系疾患)						川崎
14	4/11 (金)	1.2限	統計学①						金井
15	4/18 (金)	1.2限	統計学②						金井
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	講義後は必ず復習を行うこと。								
学修評価の基準と方法	期末試験(筆記)による評価(川崎90%、金井10%)。								
試験時期	前期講義終了後に実施予定。								
テキスト・参考書	テキスト : なし								
	参考書 :								
	参考書 :								
教員紹介	担当教員:川崎(保健医療博士)は、理学療法士歴30年目で当校教員歴24年。 大学附属病院、一般病院等の勤務経験あり。現在、クリニック等にて活動中。								
その他	課題の提出期限厳守。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法管理学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	2	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	金井 良、杉浦 浩平								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日		時限			
授業概要	患者・障がい者に対する治療サービスを効果的に提供するために必要なマネジメント、および地域住民・国民に対して提供される理学療法の課題とその解決のための政策形成の必要性について講義する								
学修目標	職場管理・運営、必要なスタッフ研修のあり方や理学療法に関わる各種の記録・報告のもつ意義を理解する。環境整備・事故対策の知識と技術、保険制度とその報酬のしくみを理解し、コスト感覚をもつことの重要性について理解する								
授業方法	授業は座学および学生グループによる演習形式により行う								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	管理者の役割・手法								杉浦
2	リスクマネジメント論								杉浦
3	コミュニケーションスキル								金井
4	EBMとNBM								金井
5	臨床現場におけるデータ管理								金井
6	医療・介護の制度と報酬								金井
7	理学療法政策とその形成過程								金井
8	医療・介護の財政および制度と保険点数								金井
9	理学療法士の身分法とその職能団体								金井
10	理学療法士の業務と政治活動の必要性								金井
11	職域拡大とその背景								金井
12	職域拡大の現状と方向性								金井
13	理学療法士としての社会活動・社会保障								金井
14	理学療法士教育のあり方								金井
15	理学療法士としての政策課題								金井
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	配布資料を復習して、自分なりに考察し、疑問点を出す。週90分程度の時間が必要である								
学修評価の 基準と方法	講義出席(100%)により評価する								
試験時期	筆記試験は実施しない								
テキスト・参考書	適宜資料を配付する								
教員紹介	総合病院で理学療法臨床に携わる教員がその経験に即した理学療法部門の職場管理の実際を紹介する								
その他	授業の進捗、その他必要に応じてこの授業内容を変更することがあります								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学Ⅵ(画像評価等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	2	時間	60	授業形態	講義・演習
担当教員	川崎 孝晃								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日		時限			
授業概要	理学療法士として基本的に必要な疾患額を理解する。理学療法治療の土台となる、共通科目(解剖学、臨床医学)の理解、ならびに理学療法評価時に必要な画像所見の基礎知識、異常所見、障害推論を行う。また、各疾患に対する症状理解、理学療法アプローチ当の基本的推論ができるようになる。								
学修目標	①解剖学(脳・中枢神経・骨格)②臨床医学(画像診断):脳・中枢神経・整形外科(骨折、脱臼、変形)③専門、整形外科(骨折、変形)疾患に対する評価および理学療法治療								
授業方法	講義やグループワーク、ディスカッションを取り入れながらの講義。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	解剖学(脳、中枢神経)、脳画像								川崎
2									川崎
3	解剖学(骨格)X線画像								川崎
4									川崎
5	臨床医学(脳、中枢神経)脳画像、中枢神経疾患								川崎
6									川崎
7	臨床医学(整形外科疾患、骨折、変形性、脱臼)、X線画像								川崎
8									川崎
9	理学療法評価学(脳、中枢神経)、脳画像、中枢神経疾患								川崎
10									川崎
11	理学療法評価、治療学(整形外科疾患、骨折、変形性、脱臼)、X線画像								川崎
12									川崎
13	理学療法治療学(脳、中枢神経)、脳画像、中枢神経疾患								川崎
14									川崎
15	理学療法治療学(整形外科疾患、骨折、変形性、脱臼)								川崎
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業後は必ず復習を行うこと。								
学修評価の 基準と方法	小テスト、中間試験および期末試験による評価:100%(川崎)								
試験時期	前半講義終了後または期末試験期間中に実施予定。								
テキスト・参考書	テキスト : 配付資料								
教員紹介	担当教員:川崎(保健医療博士)は、理学療法士歴30年目で当校教員歴24年。 大学附属病院、一般病院等の勤務経験あり。現在、クリニック等にて活動中。								
その他	レポート等の提出期限厳守。								

# 講 義 要 項

科目名	徒手療法						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	河野裕也								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	月	時限	1～3		
授業概要	理学療法の基礎となる徒手療法に重点を置き、それらの特殊技術を用いた治療法を疾患別に応用できることを学習目標とする。								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒手療法の概要を理解する</li> <li>・身体の状態に合わせて治療手技を選択できる</li> <li>・症状や徴候に対して適切な手技を実施できる</li> <li>・徒手療法の技術を用いて、疾患別に応用できる</li> </ul>								
授業方法	パワーポイントを使用し、講義内容を理解した上で実技演習を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/7 (月) 1限	徒手的理学療法の概要							河野
2	4/7 (月) 2限	筋間、筋膜の概要							河野
3	4/7 (月) 3限	筋間リリース① 広背筋-僧帽筋間、前鋸筋-広背筋間、前鋸筋-外腹斜筋間、大胸筋-腹							河野
4	4/14 (月) 1限	筋間リリース② 大腰筋-腰方形筋間、腰腸筋筋間、多裂筋、大腿筋膜張筋-中殿筋間							河野
5	4/14 (月) 2限	筋間リリース③ 大殿筋-中殿筋間、内側-外側ハム間、大腿方形筋-ハム間、大腰筋-中							河野
6	4/21 (月) 1限	軟部組織モビライゼーション							河野
7	4/21 (月) 2限	軟部組織モビライゼーション							河野
8	4/28 (月) 1限	関節モビライゼーション①							河野
9	4/28 (月) 2限	関節モビライゼーション②							河野
10	4/28 (月) 3限	関節モビライゼーション③							河野
11	5/12 (月) 1限	マッケンジー法① 概要							河野
12	5/12 (月) 2限	マッケンジー法② 評価							河野
13	5/19 (月) 1限	マッケンジー法③ 評価・治療							河野
14	5/19 (月) 2限	ケーススタディ							河野
15	5/19 (月) 3限	全体のまとめ							河野
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習はテキスト該当頁を読み、疑問点等を明確にしておく。復習は配布プリント、課題等を含め、一回毎の授業内容の把握に努めること。								
学修評価の 基準と方法	実技試験(30%)、筆記試験(70%)、合計100%								
試験時期	各担当教員初講日に連絡する。								
テキスト・参考書	系統別治療手技の展開 協同医書出版 ISBN:978-4-7639-1075-2								
教員紹介	担当講師は整形外科病院での勤務が長く、運動器疾患への実務経験に基づいて理学療法士の育成に向けた授業を展開する								
その他	動きやすい服装で参加すること								

# 講 義 要 項

科目名	筋・骨格系理学療法Ⅲ(脊髄損傷の理学療法等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部		
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義	
担当教員	藤田 龍一・梅村 悟									
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	月・水	時限	下記のとおり			
授業概要	脊髄損傷およびスポーツにおけるケガに対する知識とそのリハビリテーションの処方の仕方を実技を交えながら学習していく。									
学修目標	脊髄損傷およびスポーツ外傷・障害のアスレチック・リハビリテーションについての理解を深める。									
授業方法	座学実技を混ぜながら行う。									
授業計画										
NO	授業内容								担当教員	
8	4/2	(水)	3限	脊髄損傷概論(疫学、評価、障害像)						藤田 龍一
9	4/2	(水)	4限	【実技】 坐位、長坐位						藤田 龍一
1	4/7	(月)	3限	スポーツ整形外科概論						梅村 悟
2	4/7	(月)	4限	成長期のスポーツ障害・外傷						梅村 悟
10	4/9	(水)	3限	【実技】 寝返り、起き上がり						藤田 龍一
11	4/9	(水)	4限	【実技】 push up						藤田 龍一
3	4/14	(月)	3限	上肢のスポーツ障害①						梅村 悟
4	4/14	(月)	4限	上肢のスポーツ障害②						梅村 悟
12	4/16	(水)	3限	【実技】 移乗動作 介助法						藤田 龍一
13	4/16	(水)	4限	ADLについて(患者 起居、移乗、車椅子操作動作観察)						藤田 龍一
5	4/21	(月)	3限	膝前十字靭帯損傷①						梅村 悟
6	4/21	(月)	4限	膝前十字靭帯損傷②						梅村 悟
14	4/23	(水)	3限	呼吸機能、合併症、車椅子、QOL						藤田 龍一
15	4/23	(水)	4限	【実技】 キャスター上げ(車椅子)						藤田 龍一
7	4/28	(月)	4限	治療プログラムの立案						梅村 悟
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	スポーツ外傷・障害についてできる範囲で学んでおく。									
学修評価の 基準と方法	筆記試験(脊髄損傷50点、スポーツリハ50点)									
試験時期	別途連絡します									
テキスト・参考書	テキスト: 資料配布									
教員紹介	各分野専門の講師が担当する。 藤田 龍一 梅村 悟(ライオンズ整形外科クリニック 理学療法士)									
その他										

# 講 義 要 項

科目名	神経一筋疾患系理学療法学Ⅱ (ALS、脊髄小脳変性症の理学療法等)						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	秋田 賢								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	金	時限	3・4		
授業概要	神経難病についての概要と、各疾患におけるリハビリテーションについて								
学修目標	神経難病領域における一般的なリハビリテーションの知識を得る								
授業方法	講義形式、グループワーク								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/4	(金)	3限	神経難病概要について①					秋田
2	4/4	(金)	4限	神経難病概要について②					秋田
3	4/11	(金)	3限	パーキンソン病の理学療法について①					秋田
4	4/11	(金)	4限	パーキンソン病の理学療法について②					秋田
5	4/18	(金)	3限	筋ジストロフィーの理学療法について①					秋田
6	4/18	(金)	4限	筋ジストロフィーの理学療法について②					秋田
7	4/25	(金)	3限	多発性硬化症の理学療法について					秋田
8	4/25	(金)	4限	症例検討					秋田
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキスト参照のうえ、講義に望む								
学修評価の 基準と方法	筆記試験								
試験時期	別途連絡します								
テキスト・参考書									
教員紹介	国立病院機構 埼玉病院 副理学療法士長								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	内部疾患系理学療法Ⅱ						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	田中								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	木	時限	1～2		
授業概要	内部疾患の病状・特徴について授業を展開し、理学療法士の関わり方を学習し、演習を通して理学療法評価・治療手技を実施できるようにすることを目的とする。また、自身で内部疾患について調べてグループワークを通して考え方を学んでいく。								
学修目標	1. 糖尿病・腎機能障害・末梢動脈疾患・がんを理解し、評価手技を実施できる。 2. 理学療法士の考え方を学び、各疾患に合わせて理学療法手技を選択できる。								
授業方法	テキストと配布プリントを使用し、講義・実技を交えて進めていく。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3 (木) 1限	糖尿病の理学療法1							田中
2	4/3 (木) 2限	糖尿病の理学療法2							田中
3	4/10 (木) 1限	糖尿病の理学療法3							田中
4	4/10 (木) 2限	糖尿病の理学療法4							田中
5	4/17 (木) 1限	糖尿病の理学療法5							田中
6	4/17 (木) 2限	糖尿病の理学療法6							田中
7	4/24 (木) 1限	ケーススタディー①							田中
8	4/24 (木) 2限	腎機能障害の理学療法1							田中
9	5/1 (木) 1限	腎機能障害の理学療法2							田中
10	5/1 (木) 2限	末梢動脈疾患の理学療法1							田中
11	5/8 (木) 1限	末梢動脈疾患の理学療法2							田中
12	5/8 (木) 2限	がんの理学療法1							田中
13	5/15 (木) 1限	がんの理学療法2							田中
14	5/15 (木) 2限	痰吸引・救急救命							田中
15	5/22 (木) 1限	ケーススタディー②							田中
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業終了後は事後学習として、教科書・配布プリントを復習すること。 実技を行った際は、復習を行うこと。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験(100%)の成績にて評価をする。								
試験時期	全講義終了後に期末試験を行う。								
テキスト・参考書	PT・OT入門 イラストで分かる内部障害 医歯薬出版株式会社								
教員紹介	担当講師は急性期病院に勤務した経験があり、臨床・教育・研究と呼吸器疾患への実務経験に基づいて理学療法士の育成に向けた授業を展開する。								
その他	正当な理由のない30分以上の遅刻は欠席とする。また、30分未満の遅刻は3回で1回の欠席扱いとする。								

# 講 義 要 項

科目名	義肢学						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	中山沙織								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日		時限			
授業概要	義肢の構造とその操作に必要な身体機能、理学療法、理学療法士の役割を学習する。 具体的には切断術について、切断者に対するリハビリテーション、義肢の種類、義肢のチェックアウトのための知識を学ぶ。								
学修目標	義足の構造、設定が理解できる。 義足操作に必要な身体機能の評価、機能維持・向上ができる。								
授業方法	座学								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	切断と義肢の基礎知識①								中山
2	切断と義肢の基礎知識②								中山
3	大腿義足、膝義足①								中山
4	大腿義足、膝義足②								中山
5	下腿義足、サイム義足①								中山
6	下腿義足、サイム義足②								中山
7	股義足、その他の義足①								中山
8	股義足、その他の義足②								中山
9	切断の評価①								中山
10	切断の評価②								中山
11	切断の理学療法①								中山
12	切断の理学療法②								中山
13	装具療法①								中山
14	装具療法②								中山
15	まとめ								中山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業後復習すること								
学修評価の 基準と方法	筆記試験にて評価をつける								
試験時期	12月初旬に中間試験(30点分)、2月初旬に期末試験(70点分)を実施する。								
テキスト・参考書	義肢学 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト／中山書店 第2版／石川 朗(編)／2022.3 シンプル理学療法シリーズ 義肢装具学テキスト 改訂第3版／南江堂／細田多穂(監)／2017.12 義肢装具のチェックポイント 第9版／医学書院／日本整形外科学会(監)／2021.8								
教員紹介	急性期、回復期、維持期(病院、施設、在宅)で現場経験を積んだ教員が、現場でのノウハウを交えて講義する。 現在、訪問看護ステーションにて理学療法士として活動中。								
その他	出席について：授業開始30分以内に入室した場合は遅刻、それ以降の入室は欠席扱いとなる。授業終了30分前以降に退出した場合は早退とする。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法特論						対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	杉浦 浩平								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日		時限			
授業概要	基本的な解剖学・正常発達・小児疾患・物理療法についての知識・技術の修得を目的とする。								
学修目標	解剖学の基礎的理解 正常発達における各段階的に獲得する能力の理解、小児疾患の理解 各物理療法における物理的特性・適応・禁忌の理解、症例に対する物理療法関する理解								
授業方法	パワーポイントを使用し講義を進める。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	解剖学 消化器								杉浦
2	解剖学 血管								杉浦
3	解剖学 脳								杉浦
4	解剖学 脳神経								杉浦
5	解剖学 末梢神経								杉浦
6	正常発達 遠城寺式・デンバー								杉浦
7	小児疾患 脳性麻痺児・ダウン症 等								杉浦
8	物理療法 温熱療法								杉浦
9	物理療法 温熱療法								杉浦
10	物理療法 寒冷療法								杉浦
11	物理療法 水治療法								杉浦
12	物理療法 光線療法								杉浦
13	物理療法 牽引療法								杉浦
14	物理療法 電気刺激療法								杉浦
15	物理療法 超音波療法								杉浦
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	毎回の授業後には配布した資料の見直しを行うこと。								
学修評価の 基準と方法	出席状況、授業態度により評価する。								
試験時期	各担当教員初講日に連絡する。								
テキスト・参考書	配布資料								
教員紹介	回復期・訪問で臨床に携わる講師が、実務経験に基づいて理学療法士の育成に向けた授業を展開する。								
その他	正当な理由のない30分以上の遅刻は欠席とする。また、30分未満の遅刻は3回で欠席扱いとする。								

# 講 義 要 項

科目名	地域理学療法学特論					対象学科・専攻	理学療法学科 昼間部		
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	60	授業形態	講義・演習
担当教員	中山 沙織								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日		時限			
授業概要	地域リハビリテーションの実践力を養うことを目的とする。地域包括ケアにおける理学療法士の役割について全国の実践例を学び、中央区などで実施される介護予防・日常生活支援事業の体験を通じた、理学療法の実践方法について学ぶ。								
学修目標	1. 自主的な生活の獲得をするために、どのような方法があるかを体験しながら学ぶ。 2. 理学療法士としての地域での役割を理解する。								
授業方法	授業は座学およびグループによる演習・実習形式により行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	地域高齢者の現状								中山
2	地域課題に対しての理学療法士に求められること								中山
3	フレイル予防								中山
4	低栄養とオーラルフレイル								中山
5	グループワーク:高齢者へのフレイル予防講座資料作成								中山
6	グループワーク:高齢者へのフレイル予防講座資料作成								中山
7	グループワーク:膝痛腰痛予防体操資料作成								河野
8	グループワーク:膝痛腰痛予防体操資料作成								中山
9	地域高齢者におけるソーシャル・キャピタルの効果								河野
10	ソーシャル・キャピタルの指標								中山
11	グループワーク:人との繋がりを創出するアクティビティー考案								河野
12	グループワーク:人との繋がりを創出するアクティビティー考案								中山
13	地域の通いの場参加の振り返り								河野
14	地域の通いの場参加の振り返り								中山
15	地域の通いの場参加の振り返り								中山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	演習内容をよく復習する。 自己学習を行いグループワークには積極的に参加すること。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験にて評価をつける								
試験時期	12月初旬に中間試験(30点分)、2月初旬に期末試験(70点分)を実施する。								
テキスト・参考書	地域リハビリテーション学テキスト 南江堂 地域リハビリテーション学 羊土社								
教員紹介	回復期・訪問で理学療法の臨床に携わる教員が、その経験に即した実際例を基に授業を行う。								
その他	正当な理由のない30分以上の遅刻は欠席とする。また、30分未満の遅刻は3回で欠席扱いとする。								

2025 年度  
講 義 要 領  
(シラバス)

理学療法学科  
夜間部 1 年生



専門学校東京医療学院

# 講 義 要 項

科目名	教育学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	常深 新平								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	木	時限	1		
授業概要	この講義では「教育とは何か」「教育学とは何か」ということを考えていきます。授業の前半に講義を行い、授業の後半には適宜自分で考えてもらう時間を設けます。また正しい日本語を書ける力を身につけることも目指します。								
学修目標	「教育とは何か」ということを、その理念を踏まえた上で自分の言葉で説明することができるようになる。また理学療法士としての自分の「成長」について考える。								
授業方法	最初に講義内容の概説を行います。その後、適宜ワークおよびグループ発表をしてもらいます。それをもとにみんなでディスカッションを行うことも考えています。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3	(木)	1限	イントロダクション:教育学は何のためにあるのか、教育学にはどのようなものがあるのか					常深 新平
2	4/10	(木)	1限	「教育」とはなんだろうか①					常深 新平
3	4/17	(木)	1限	「教育」とはなんだろうか②					常深 新平
4	4/24	(木)	1限	「見える制度」としての公教育					常深 新平
5	5/1	(木)	1限	教育における「見えない制度」					常深 新平
6	5/8	(木)	1限	大人から見た「子ども」					常深 新平
7	5/15	(木)	1限	理学療法士の教育はどのようなものが望ましいのか考えてみよう(ディスカッション)					常深 新平
8	5/22	(木)	1限	まとめ 教育学を学んで					常深 新平
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	事前にテキストの指定箇所はきちんと読んできて下さい。また復習として、自分が受けてきた教育を思い出して、それを捉え直してみると良いでしょう								
学修評価の 基準と方法	評価は期末試験(レポート)100%で評価します。テーマに合った文章か、何か主張をするときにきちんと理由が述べられているか、主語と述語は合っているか、表現として適切なのか(相手に伝わる文章なのか)、といったことから総合的に評価します。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:『ワークで学ぶ、教育学 増補版 第2版』井藤 元 編 ナカニシヤ出版 参考書:適宜指示します。								
教員紹介	経験の質的な変容の条件について考える現象学という学問の枠組みで研究しています。とりわけメルロ＝ポンティというフランスの現象学者の理論研究から、芸術を介した知覚経験の変容のあり方とその条件を探求しています。								
その他	レポートの内容と必要な準備について最終回の授業で指示します。								

# 講義要項

科目名	情報科学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	齋藤 秀敏								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	金	時限	2		
授業概要	コンピュータや情報通信ネットワークを活用して、自ら情報収集、処理、発信するための基礎知識と技能の習得を目的とする。このため、情報理論の基礎、コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェアについて理解し、特に、数値処理、統計処理においてアルゴリズムの理解からプログラムへ展開することができるような学習を行う。								
学修目標	本講義では学生各自の情報処理能力を発展させ、コンピュータを利用して問題解決できる教養と技能を習得することを目的とする。具体的には下記の項目について講義を行い、課題を各自が処理することによって講義を進めていく。								
授業方法	配布資料、プレゼンテーションおよび板書を併用して、学習内容を解説する。その後、テーマに沿った課題問題を受講者各自が解決する演習を組み合わせることで授業を進める。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	5/23 (金) 2限	コンピュータの基礎:情報・通信・コンピュータに関する基礎							齋藤 秀敏
2	5/30 (金) 2限	表計算ソフトウェア1:基本操作、データ入力、数値演算の基礎							齋藤 秀敏
3	6/6 (金) 2限	表計算ソフトウェア2:アルゴリズムの理解とプログラミングへの展開							齋藤 秀敏
4	6/13 (金) 2限	表計算ソフトウェア3:データの可視化							齋藤 秀敏
5	6/20 (金) 2限	統計の基礎1:基本統計量と組込関数							齋藤 秀敏
6	6/27 (金) 2限	統計の基礎2:2つの量的変量間の関係、相関と回帰							齋藤 秀敏
7	7/4 (金) 2限	統計の基礎3:量的変量の2群間での比較							齋藤 秀敏
8	7/11 (金) 2限	統計の基礎4:質的変量の2群間での比較							齋藤 秀敏
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	毎回の授業時に次回のテーマを提示するので、配布資料の該当箇所を予習すること。また、授業の内容の復習、課題問題を解いておくこと。								
学修評価の 基準と方法	演習課題と小テストでの評価(40%)、定期試験での評価(60%)で、授業内容の理解度と応用能力を総合的に評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)~8月1日(金)								
テキスト・参考書	教科書は指定しない。 参考書は講義の中で随時紹介する。								
教員紹介	東京都立大学 名誉教授、(元)東京都立大学健康福祉学部 教授								
その他	本講義では受講者各自が積極的に課題に取り組むことを期待する。 非常勤講師であるため、質問がある場合は講義時間内でできるだけ対応する。その他の場合は、初講日に提示するメールアドレスで質問に対応する。								

# 講 義 要 項

科目名	人間発達学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	15	授業形態	講義・演習
担当教員	荒川 武士								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	月	時限	2		
授業概要	人間の発達をリハビリテーションの観点から学ぶ。特に、生まれてから歩行を獲得するまでに着目し、発達を学ぶことで成人のリハビリテーションにも応用できるようにしたい。								
学修目標	人間の発達をリハビリテーションの観点から理解することが目標。将来の臨床現場で役立つことを期待する。								
授業方法	テキスト、視聴覚材料、配付資料を使い講義する。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/8 (月) 2限	発達の基本原則							荒川 武士
2	9/15 (月) 2限	中枢神経系の発達1							荒川 武士
3	9/22 (月) 2限	中枢神経系の発達2							荒川 武士
4	9/29 (月) 2限	中枢神経系の発達3							荒川 武士
5	10/6 (月) 2限	知覚とボディイメージ							荒川 武士
6	10/20 (月) 2限	運動器の発達1							荒川 武士
7	10/27 (月) 2限	運動器の発達2							荒川 武士
8	11/10 (月) 2限	運動器の発達3							荒川 武士
9	11/17 (月) 2限	上肢の発達1							荒川 武士
10	12/1 (月) 2限	上肢の発達2							荒川 武士
11	12/8 (月) 2限	上肢の発達3							荒川 武士
12	12/15 (月) 2限	立位・歩行の発達1							荒川 武士
13	12/22 (月) 2限	立位・歩行の発達2							荒川 武士
14	1/5 (月) 2限	立位・歩行の発達3							荒川 武士
15	未定	まとめ							荒川 武士
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	各講義後は必ず講義中に学んだこと、重要なキーワードをまとめるようにしてください(必要な時間:約45分)。第2回以降の講義始めには小テストで前講義範囲の習熟度を確認します。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(筆記)による評価(100%)								
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:指定しない、配布プリントあり。 参考書:リハビリテーションのための人間発達学(メディカルプレス)、発達を学ぶ(森岡周、協同医書)、運動発達と反射(医歯薬出版)、解剖学・運動学の本(神経系・運動器の発達)								
教員紹介	担当教員は回復期リハビリテーション病棟にて勤務した経験がある。								
その他	授業内容は進行状況で変更されることがあります。 質問は授業後に受け付けます。								

# 講 義 要 項

科目名	行動科学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	30	授業形態	講義
担当教員	佐々木 寛法								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	月	時限	2		
授業概要	前半はコミュニケーション、後半は行動をみるという点について学んでいく。								
学修目標	理学療法士を目指す上で必要だと思うコミュニケーションの取り方を考えることができる。 行動を分析するという見方、考え方をすることができる。								
授業方法	グループワークを多く取り入れながら各回の授業テーマ(学修目標)について皆で学んでいく								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/7 (月) 2限	授業方針伝達、自己紹介							佐々木 寛法
2	4/14 (月) 2限	コミュニケーションについて考える1 行動科学教育の基本的要素							佐々木 寛法
3	4/21 (月) 2限	コミュニケーションについて考える2							佐々木 寛法
4	4/28 (月) 2限	コミュニケーションについて考える3							佐々木 寛法
5	5/12 (月) 2限	コミュニケーションについて考える4							佐々木 寛法
6	5/19 (月) 2限	コミュニケーションについて考える5							佐々木 寛法
7	5/26 (月) 2限	コミュニケーションについて考える6							佐々木 寛法
8	6/2 (月) 2限	行動とは、行動分析学とは							佐々木 寛法
9	6/9 (月) 2限	行動原理について							佐々木 寛法
10	6/16 (月) 2限	行動をどのように変えるか1							佐々木 寛法
11	6/23 (月) 2限	行動をどのように変えるか2							佐々木 寛法
12	6/30 (月) 2限	行動をどのように変えるか3							佐々木 寛法
13	7/7 (月) 2限	理学療法士が行動分析を用いてどの様に仕事をしているのか触れる。							佐々木 寛法
14	7/14 (月) 2限	テスト対策と今までの講義の振り返り							佐々木 寛法
15	未定 (月) 2限	テスト対策と今までの講義の振り返り							佐々木 寛法
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	特になし								
学修評価の 基準と方法	期末試験の結果にて評価する								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	必要に応じてプリント配布								
教員紹介	柏おひさま訪問看護ステーション 理学療法士								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	心理学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部		
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	30	授業形態	講義	
担当教員	齋藤 実花						オムニバス・通年等 シラバス分割			
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	火	時限	2			
授業概要	心理学は、人間の心や行動を科学的に探究するための学問です。心理学・臨床心理学の基礎知識を学び、「心」を多面的に理解し、専門的な知識に基づく対人支援の技法について学びます。									
学修目標	心理学・臨床心理学に関する基礎知識を習得し、自己や他者への理解を深め、コミュニケーション能力の向上につなげることを目標とします。									
授業方法	教科書以外にも資料を提示し、理解を促します。必要に応じてワークを取り入れます。									
授業計画										
NO	授業内容							担当教員		
1	9/9 (火) 2限	オリエンテーション 心理学とは							齋藤 実花	
2	9/16 (火) 2限	感覚・知覚・注意・認知							齋藤 実花	
3	9/30 (火) 2限	情動・動機付け・パーソナリティ・社会							齋藤 実花	
4	10/7 (火) 2限	記憶・学習							齋藤 実花	
5	10/14 (火) 2限	言語・概念・思考							齋藤 実花	
6	10/21 (火) 2限	発達と知能①							齋藤 実花	
7	10/28 (火) 2限	発達と知能②							齋藤 実花	
8	11/4 (火) 2限	臨床心理学とは 防衛機制							齋藤 実花	
9	11/11 (火) 2限	心理アセスメント・臨床で用いられる心理検査①							齋藤 実花	
10	11/18 (火) 2限	臨床で用いられる心理検査②							齋藤 実花	
11	11/25 (火) 2限	臨床心理学の介入方法①							齋藤 実花	
12	12/2 (火) 2限	臨床心理学の介入方法②							齋藤 実花	
13	12/9 (火) 2限	臨床心理学の介入方法③							齋藤 実花	
14	12/16 (火) 2限	臨床心理学の介入方法④							齋藤 実花	
15	12/23 (火) 2限	総括(まとめと振り返り)							齋藤 実花	
準備学修 (予習・復習)等 の内容と分量	テキスト「リハベーシック 心理学・臨床心理学」に沿って授業を行います。次回の該当する部分に目を通しておきましょう。授業後には、配布資料とともに見直しましょう。									
学修評価の 基準と方法	期末試験50%、授業内の小テスト(振り返りシート)50%									
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)									
テキスト・参考 書	テキスト:「リハベーシック 心理学・臨床心理学」 内山靖・藤井浩美・立石雅子 編 医歯薬出版株式会社									
教員紹介	専門は臨床心理学、発達心理学、教育心理学。 病院、教育相談所、大学の学生相談室でカウンセラーとして、また大学や専門学校の講師として仕事をしてきました。									
その他										

# 講 義 要 項

科目名	社会福祉概論						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	30	授業形態	講義
担当教員	銚丸 俊一								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	木	時限	2		
授業概要	患者(利用者)が発症・受傷後、安全に地域社会での生活を継続する、自己実現を目的としたリハビリテーションについて検討する。そのために、様々な福祉職・多職種との連携・協働に必要な社会保障・社会福祉制度、ソーシャルワークについて学習する。								
学修目標	チーム医療における理学療法士として、必要な隣接領域学問のひとつである、社会保障・社会福祉度を理解する。ソーシャルワークの関わり方・倫理・アセスメント・支援計画を理解する。協働して解決する過程を自身で導く。								
授業方法	講義形式中心。時々、DVD鑑賞、事例検討。(皆さんが主体的に問題解決方法を考える)								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3	(木)	2限	オリエンテーション 社会福祉概論(本授業)の興味・関心について記述					銚丸 俊一
2	4/10	(木)	2限	現代社会と社会福祉・社会保障					銚丸 俊一
3	4/17	(木)	2限	社会保障の定義・歴史					銚丸 俊一
4	4/24	(木)	2限	社会福祉の担い手と役割					銚丸 俊一
5	5/1	(木)	2限	社会福祉実践の目的、社会福祉(ソーシャルワーク)実践方法・技術					銚丸 俊一
6	5/8	(木)	2限	社会資源の活用法、ネットワークづくり					銚丸 俊一
7	5/15	(木)	2限	地域福祉、社会福祉協議会、地域包括ケアシステム					銚丸 俊一
8	5/22	(木)	2限	子ども・家庭福祉、子育て支援、児童虐待、特定妊婦、女性福祉(DV防止)					銚丸 俊一
9	5/29	(木)	2限	障害者総合支援法、相談支援、補装具、難病対策					銚丸 俊一
10	6/5	(木)	2限	高齢者保健福祉施策、権利擁護、高齢者虐待(防止)、地域包括支援センター					銚丸 俊一
11	6/12	(木)	2限	生活保護、生活困窮者自立支援法					銚丸 俊一
12	6/19	(木)	2限	公的年金制度の仕組み、雇用保険、労災保険					銚丸 俊一
13	6/26	(木)	2限	医療保険制度の仕組み、健康保険、高額医療費(限度額適用認定)、後期高齢者医療					銚丸 俊一
14	7/3	(木)	2限	介護保険制度の仕組み、要介護認定、ケアマネジャー、ケアプラン					銚丸 俊一
15	7/10	(木)	2限	まとめ 試験対策					銚丸 俊一
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	保健医療(医療費・病院の機能分化)・社会福祉(地域包括ケアシステム・介護保険・障がい・貧困・医療的ケア児・虐待・身元保証など)に関心を持ち、ニュースを読む。事前学習・事後学習(合計1時間程度)								
学修評価の 基準と方法	ノート・教科書・配布資料持込み可の期末試験。論述が中心。(80%) 授業にてのプレゼンテーション能力、リアクションペーパーなど(20%)								
試験時期	2025年7月28日(月)~8月1日(金)								
テキスト・参考書	『社会福祉と社会保障』 編者 増田 雅暢 島田 美喜 平野 かよ子 株式会社メディカ出版 参考書:配布資料								
教員紹介	昭和大学江東豊洲病院ソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)、主に周産期・NICU・小児の権利擁護(虐待予防)・親の心理・養育支援、高齢者の権利擁護、退院支援組織管理、地域連携を担当。								
その他	皆さんの関心事によっては、上記の順番や授業内容を変更することもあります。 授業内容への質問、希望は授業終了後に声をかけてください。または、下記へメールにてご連絡ください。 s-hokomaru@cmed.showa-u.ac.jp								

# 講 義 要 項

科目名	解剖学 I (体表解剖、骨格系)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	竹内 修二								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	月	時限	1		
授業概要	骨の一般的形態と構造、各部位の骨の数とそれぞれの形態、各関節の構成と形態。								
学修目標	骨と関節、形態およびその連結について理解する。								
授業方法	模型や図と自身の体内と対応させ、骨格形態を説明する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/7 (月)	1限	体の部位・体表解剖						竹内 修二
2	4/14 (月)	1限	全身の骨(実習)						竹内 修二
3	4/21 (月)	1限	骨の連結・上肢の骨						竹内 修二
4	4/28 (月)	1限	上肢帯骨・肩関節・上腕骨						竹内 修二
5	5/12 (月)	1限	前腕の骨・肘関節・手の骨						竹内 修二
6	5/19 (月)	1限	骨の形態・下肢の骨						竹内 修二
7	5/26 (月)	1限	寛骨・大腿骨・股関節						竹内 修二
8	6/2 (月)	1限	下腿の骨・膝関節・足の骨						竹内 修二
9	6/9 (月)	1限	脊柱と椎骨一般						竹内 修二
10	6/16 (月)	1限	頸椎・胸椎・胸郭						竹内 修二
11	6/23 (月)	1限	腰椎・仙骨・骨盤						竹内 修二
12	6/30 (月)	1限	頭蓋骨全体						竹内 修二
13	7/7 (月)	1限	脳頭蓋						竹内 修二
14	7/14 (月)	1限	脳頭蓋						竹内 修二
15	未定		顔面頭蓋						竹内 修二
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキストを読んだ上で受講し、図とノートにより復習する。								
学修評価の 基準と方法	試験の点数								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:『読んでわかる解剖生理学』竹内修二著 医学教育出版社 参考書:『好きになる解剖学part1～3』竹内修二/講談社 参考書:『解剖トレーニングノート』竹内修二/医学教育出版社 参考書:『学生版ネッター解剖学図譜』/丸善株式会社 参考書:『解いてわかる解剖生理学』竹内修二著/医学教育出版								
教員紹介	40年以上に亘り、理学療法士・医師・看護師などの医療系の学校で、解剖学の実習や講義を行なって来た。								
その他	解剖学用語の暗記に終始せず、皮下に触れながら形と働きを有機的に結合し、その事象を理解するように。								

# 講義要項

科目名	解剖学Ⅱ(循環器系)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	金	時限	1		
授業概要	理学療法士に求められる基礎的な解剖学について解説する。								
学修目標	血液の循環、心臓のポンプ作用の動・静脈の経路について理解する。								
授業方法	教科書と別に用意するプリントに基づいて講義を進める。特に重要な事項については板書して解説を加える。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/4 (金)	1限	人体の構成、頭蓋内、胸腹部の臓器						野上 晴雄
2	4/11 (金)	1限	循環器系総論、心臓の位置、心膜の途中まで						野上 晴雄
3	4/18 (金)	1限	心膜、心臓の外観、血液の流れ						野上 晴雄
4	4/25 (金)	1限	心臓の内部、弁と腱索						野上 晴雄
5	5/2 (金)	1限	刺激伝導系、冠血管						野上 晴雄
6	5/9 (金)	1限	血管の組織						野上 晴雄
7	5/16 (金)	1限	動脈系の構成						野上 晴雄
8	5/23 (金)	1限	頭頸部の動脈						野上 晴雄
9	5/30 (金)	1限	上肢と体幹の動脈系						野上 晴雄
10	6/6 (金)	1限	骨盤部、下肢の動脈						野上 晴雄
11	6/13 (金)	1限	静脈の構成、頭部の静脈						野上 晴雄
12	6/20 (金)	1限	上肢の皮静脈、奇静脈、門脈						野上 晴雄
13	6/27 (金)	1限	胎児循環						野上 晴雄
14	7/4 (金)	1限	リンパ系の構成、リンパの流れ						野上 晴雄
15	7/11 (金)	1限	リンパ性器官						野上 晴雄
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業計画に従って教科書を予習しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(80%)と随時行う小テスト(20%)で評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト 標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第6版 野村 嶺 編 医学書院 参考書 解剖学講義 伊藤隆著 南山堂								
教員紹介	医学博士、薬学博士。慈恵医大、筑波大等の大学を始め、40年余り解剖学教育に携わっている。								
その他	予習しておくこと。不明の点があったらその場で質問すること。								

# 講義要項

科目名	解剖学Ⅲ(筋系)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	竹内 修二								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	月	時限	1		
授業概要	部位ごとの骨格筋の形状、関節に対する位置、筋の走行等と血管・神経の位置								
学修目標	筋の働きと神経との関連について理解する。								
授業方法	関節の動きに対応させ、図を多用して、働きなどから筋の事項を説明する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/8 (月)	1限	筋総論						竹内 修二
2	9/15・祝 (月)	1限	筋に必要な末梢神経総論						竹内 修二
3	9/22 (月)	1限	肩関節の働き、浅胸筋、浅背筋						竹内 修二
4	9/29 (月)	1限	上肢帯筋						竹内 修二
5	10/6 (月)	1限	肘関節の働き、上腕の筋						竹内 修二
6	10/20 (月)	1限	手首と指の働き、前腕の筋、手の筋						竹内 修二
7	10/27 (月)	1限	骨盤の筋						竹内 修二
8	11/10 (月)	1限	大腿の筋						竹内 修二
9	11/17 (月)	1限	下腿の筋						竹内 修二
10	12/1 (月)	1限	足の筋						竹内 修二
11	12/8 (月)	1限	頭部、顔面の筋						竹内 修二
12	12/15 (月)	1限	頸部の筋						竹内 修二
13	12/22 (月)	1限	深胸筋と横隔膜						竹内 修二
14	1/5 (月)	1限	腹部の筋						竹内 修二
15	未定		背部の筋						竹内 修二
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキストを読んだ上で受講し、図とノートにより復習する。								
学修評価の 基準と方法	試験の点数(観察レポート含む)								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:『読んでわかる解剖生理学』竹内修二著/医学教育出版社								
	参考書:『好きになる解剖学part1～3』竹内修二/講談社								
	参考書:『カラー人体解剖学』/西村書店								
	参考書:『解いてわかる解剖生理学』竹内修二著/医学教育出版社								
教員紹介	医学博士 40年以上に亘り、理学療法士、医師、看護師などの医療系の学校で解剖学の実習や講義を行なって来た。								
その他	骨と関節と関連づけ、働きを考えながら理解するように。								

# 講義要項

科目名	解剖学Ⅳ(感覚器、末梢神経系)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30 授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄							
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	金	時限	1	
授業概要	理学療法士に求められる基礎的な解剖学について解説する。							
学修目標	中枢神経系への情報の入力、認知、運動系への出力という神経機能の概略を理解する。これらのシステムを解剖学的用語を用いて説明できるようにする。							
授業方法	教科書と別に用意するプリントに基づいて講義を進める。特に重要な事項については板書して解説を加える。							
授業計画								
NO	授業内容							担当教員
1	9/12 (金)	1限	末梢神経系総論,末梢神経系の構成					野上 晴雄
2	9/19 (金)	1限	神経組織、脊髄と脊髄神経の一般的な構造					野上 晴雄
3	9/27 (金)	1限	頸神経、頸神経叢					野上 晴雄
4	10/3 (金)	1限	腕神経叢の構成、腕神経叢の枝					野上 晴雄
5	10/10 (金)	1限	上肢の筋の神経支配、上肢の皮神経、腕神経叢の障害					野上 晴雄
6	10/17 (金)	1限	胸神経、腰神経叢					野上 晴雄
7	10/24 (金)	1限	仙骨神経叢、坐骨神経の走行					野上 晴雄
8	10/31 (金)	1限	下肢の筋の神経支配					野上 晴雄
9	11/7 (金)	1限	下肢の皮神経、陰部神経、自律神経系					野上 晴雄
10	11/14 (金)	1限	脳神経総論、嗅神経、視神経					野上 晴雄
11	11/21 (金)	1限	眼球の構造、動眼神経					野上 晴雄
12	11/28 (金)	1限	外眼筋の神経支配、三叉神経					野上 晴雄
13	12/5 (金)	1限	顔面神経、耳の解剖、内耳神経					野上 晴雄
14	12/12 (金)	1限	舌咽神経、迷走神経					野上 晴雄
15	12/19 (金)	1限	副神経、舌下神経、脳神経のまとめ					野上 晴雄
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業計画に従って教科書を予習しておくこと。							
学修評価の 基準と方法	期末試験(80%)と随時行う小テスト(20%)で評価する。							
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)							
テキスト・参考書	テキスト 標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第6版 野村 巖 編 医学書院 参考書 「人体の正常構造と機能」 日本医事新報社							
教員紹介	医学博士、薬学博士。慈恵医大、筑波大等の大学を始め、40年余り解剖学教育に携わっている。							
その他	予習しておくこと。不明の点があったらその場で質すこと。							

# 講 義 要 項

科目名	生理学 I (植物性機能等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	60	授業形態	講義
担当教員	菊池 吉晃								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	水	時限	1～2		
授業概要	生理学 I・II を正しく理解するために必要な物理化学の基礎を学ぶとともに、細胞の構造や機能、循環、呼吸、消化と吸収などについて講義と演習をおこなう。								
学修目標	理学療法士を目指す諸君に必要な専門知識の一つに生理学がある。人体は体外、体内の変化に対応する複雑な反応系・制御系を有し、これらの系がいかんして有機的統一を行っているかを理解する。								
授業方法	パワーポイントによる授業をおこなう。授業で使用するパワーポイント資料は当日配布する。講義後は、演習をおこない講義内容の理解を深める。演習問題は、配布したパワーポイント資料や教科書などを自由に調べてすべてを解答することが望まれる。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/2 (水) 1・2限	細胞の構造と働き							菊池 吉晃
2	4/9 (水) 1・2限	体液の組成と働き							菊池 吉晃
3	4/16 (水) 1・2限	血液の組成と働き							菊池 吉晃
4	4/23 (水) 1・2限	心臓血管系							菊池 吉晃
5	4/30 (水) 1・2限	心機能の調節・心電図							菊池 吉晃
6	5/7 (水) 1・2限	血管系の構造と機能							菊池 吉晃
7	5/14 (水) 1・2限	循環の調節							菊池 吉晃
8	5/21 (水) 1・2限	リンパ系							菊池 吉晃
9	5/28 (水) 1・2限	呼吸運動とその調節							菊池 吉晃
10	6/4 (水) 1・2限	消化と吸収							菊池 吉晃
11	6/11 (水) 1・2限	消化管の運動とその調節							菊池 吉晃
12	6/18 (水) 1・2限	消化液の働きとその調節							菊池 吉晃
13	6/25 (水) 1・2限	吸収							菊池 吉晃
14	7/2 (水) 1・2限	代謝							菊池 吉晃
15	7/9 (水) 1・2限	栄養素の働き							菊池 吉晃
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	毎回、講義内容の復習をおこない、テーマの内容だけでなくテーマ間の関連についてもよく理解する。								
学修評価の 基準と方法	期末試験の結果による。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト: 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版 医学書院								
	参考 書	Qシリーズ 新生理学 日本医事新報社 からだが見える 人体の構造と機能 メディックメディア							
教員紹介	fMRIによる脳科学研究を推進してきました。研究テーマは、愛、共感、ノスタルジア、自他認知、タッチ、身体性など重要で面白そうなものを選んでやってきました。研究結果は、国際学術雑誌に多数掲載、Journal of Nervous System and Physiological PhenomenaやNeurology and Neuroscience ReportsなどのChief Editorを務めています。								
その他	生理学は、理学療法士だけでなく、臨床・基礎科学にとって最も重要な基礎科目のひとつです。みなさんが様々な生理現象に興味を持って、その仕組みについて楽しく理解してもらえたらとても嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。								

# 講 義 要 項

科目名	生理学Ⅱ(動物性機能等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	2	時間	60	授業形態	講義
担当教員	菊池 吉晃								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	水	時限	1~2		
授業概要	生理学Ⅰで学んだことを基盤にして、さらに、体温調節、腎臓、ホルモン、神経、運動と感覚などについて講義と演習をおこなう。								
学修目標	理学療法士を目指す諸君に必要な専門知識の一つに生理学がある。人体は体外、体内の変化に対応する複雑な反応系・制御系を有し、これらの系がいかんして有機的統一を行っているかを理解する。								
授業方法	パワーポイントによる授業をおこなう。授業で使用するパワーポイント資料は当日配布する。講義後は、演習をおこない講義内容の理解を深める。演習問題は、配布したパワーポイント資料や教科書などを自由に調べてすべてを解答することが望まれる。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/10 (水)	1・2限	体温の発生と調節						菊池 吉晃
2	9/17 (水)	1・2限	外気温への適応・調節障害						菊池 吉晃
3	9/24 (水)	1・2限	腎臓の構造と働き						菊池 吉晃
4	10/1 (水)	1・2限	ホルモンの一般的性質						菊池 吉晃
5	10/8 (水)	1・2限	視床下部・下垂体・甲状腺・上皮小体ホルモン						菊池 吉晃
6	10/15 (水)	1・2限	膵臓・副腎・精巣・卵巣ホルモン						菊池 吉晃
7	10/22 (水)	1・2限	生殖・成長と老化						菊池 吉晃
8	10/29 (水)	1・2限	神経系の構造と働き						菊池 吉晃
9	11/5 (水)	1・2限	末梢神経系・中枢神経系						菊池 吉晃
10	11/12 (水)	1・2限	内臓の自律神経調節						菊池 吉晃
11	11/19 (水)	1・2限	骨格筋の構造と働き						菊池 吉晃
12	11/26 (水)	1・2限	筋運動調節						菊池 吉晃
13	12/3 (水)	1・2限	感覚のしくみ・体性感覚・深部感覚						菊池 吉晃
14	12/10 (水)	1・2限	聴・味・嗅・視覚						菊池 吉晃
15	12/17 (水)	1・2限	生体防御機構・ホメオスタシス						菊池 吉晃
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	毎回、講義内容の復習をおこない、テーマの内容だけでなくテーマ間の関連についてもよく理解する。								
学修評価の 基準と方法	期末試験の結果による。								
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)								
テキスト・参考書	<p>テキスト:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版 医学書院</p> <p>参考書 Qシリーズ 新生理学 日本医事新報社 からだがみえる 人体の構造と機能 メディックメディア</p>								
教員紹介	fMRIによる脳科学研究を推進してきました。研究テーマは、愛、共感、ノスタルジア、自他認知、タッチ、身体性など重要で面白そうなものを選んでやってきました。研究結果は、国際学術雑誌に多数掲載、Journal of Nervous System and Physiological PhenomenaやNeurology and Neuroscience ReportsなどのChief Editorを務めています。								
その他	生理学は、理学療法士だけでなく、臨床・基礎科学にとって最も重要な基礎科目のひとつです。みなさんが様々な生理現象に興味を持って、その仕組みについて楽しく理解してもらえたらとても嬉しいです。どうぞよろしく願います。								

# 講 義 要 項

科目名	運動学Ⅰ（四肢と体幹の運動等）						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	齋藤 雄								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	木・金	時限	1・2限		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体運動の基礎を理解するため、運動力学とそれに関わる筋骨格系の構造・機能について学習する。</li> <li>・各関節の形状・名称・筋肉・運動について学習し、「ヒトの動き」の基礎を理解する。</li> </ul>								
学修目標	身体機能の評価法の理解と習得								
授業方法	講義形式がメインであるが、実技を行う場合もある。進行具合によって、内容を適宜変更する場合がある。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/4	(金)	2限	生体力学とは①					齋藤 雄
2	4/11	(金)	2限	生体力学とは②					齋藤 雄
3	4/18	(金)	2限	運動器の構造と機能①					齋藤 雄
4	4/25	(金)	2限	運動器の構造と機能②					齋藤 雄
5	5/2	(金)	2限	骨盤					齋藤 雄
6	5/9	(金)	2限	股関節の運動学①					齋藤 雄
7	5/16	(金)	2限	股関節の運動学②					齋藤 雄
8	5/29	(木)	1限	膝関節の運動学①					齋藤 雄
9	6/5	(木)	1限	膝関節の運動学②					齋藤 雄
10	6/12	(木)	1限	膝関節の運動学③					齋藤 雄
11	6/19	(木)	1限	足関節の運動学①					齋藤 雄
12	6/26	(木)	1限	足関節の運動学②					齋藤 雄
13	7/3	(木)	1限	脊柱・体幹の運動学①					齋藤 雄
14	7/10	(木)	1限	脊柱・体幹の運動学②					齋藤 雄
15				頸部の運動学					齋藤 雄
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: プリントや必要に応じて参考書などにも目を通しておくこと。 復習: 必ずプリントやテキストを読み返しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(筆記)による評価(100%)								
試験時期	筆記試験については定期試験期間内に行う。								
テキスト・参考書	テキスト: 15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学 中山書店  								
教員紹介	担当教員は、総合病院(急性期/回復期/維持期/在宅)・介護老人保健施設での勤務経験があり、実務経験に基づいた授業を行っていく。修士(老年学)。								
その他	正当な理由なく30分以上の遅刻3回で欠席1回とする。 講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	運動学Ⅱ(健常動作分析、反射運動等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	和田 桃子								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	月	時限	2		
授業概要	身体運動に関わる生体の構造と機能を力学的、生理学的に理解し、姿勢・基本動作・歩行における身体のメカニズムについて、狭義の運動学及び運動力学的視点から分析を行う。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中枢神経の機能から運動と感覚について説明ができる。</li> <li>2. 姿勢制御の基本的な考え方を説明できる。</li> <li>3. 正常歩行を説明できる。</li> <li>4. 基本動作の分析方法を説明できる。</li> </ol>								
授業方法	テキスト、視聴覚材料、配付資料を使い講義する。□ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	姿勢								和田
2	姿勢評価								和田
3	立位姿勢評価								和田
4	実技テスト								和田
5	基本動作の種類と分析①								和田
6	基本動作の種類と分析②								和田
7	基本動作評価								和田
8	実技テスト								和田
9	正常歩行について①								和田
10	正常歩行について②								和田
11	正常歩行について③								和田
12	正常歩行と異常歩行①								和田
13	正常歩行と異常歩行②								和田
14	正常歩行と異常歩行③								和田
15	正常歩行と異常歩行④ グループ発表								和田
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	復習: 講義後、配布資料および参考書を再読し、理解を深める								
学修評価の 基準と方法	期末試験(筆記)による評価80% 実技テスト20%								
試験時期	後期試験期間内に行う。								
テキスト・参考書	テキスト: 運動学テキスト 改訂第2版: 細田多穂 監修. 南江堂. ISBN978-4-524-26548-0								
	参考書: 基礎運動学第6版補訂 中村隆一・他(著) 医歯薬出版 ISBN978-4-263-21153-3								
	参考書: 症例動画から学ぶ臨床姿勢分析 吉田一也(編)ヒューマン・プレス ISBN978-4-908933-35-6								
教員紹介	スポーツクリニックでアスリートのリハビリ担当や、スポーツ現場でアスレティックトレーナーとしての活動経験がある。								
その他	授業内容は進行状況で変更されることがあります。 質問は授業後に受け付けます。								

# 講義要項

科目名	病理学概論						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	遠田 悦子								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	木	時限	1		
授業概要	生体に発生する疾患がどのような原因によって生じ、どのような形態的变化を示すか、これらの疾患や病質がどのような経過を経て治癒あるいは悪化するかについて学習する。いわば人間の疾病理解の基礎となる病理発症、進展転帰、病因等、疾患概念の本質を学習する。具体的には組織障害(退行性変化)、再生と修復(進行性変化)、循環障害、炎症論、免疫病理、腫瘍病理、先天性疾患などを中心に学習する。								
学修目標	各疾患の基礎的な病態を理解し、病理学的用語を正しく使用出来る様になることを目標とする。								
授業方法	授業内容のプリントをあらかじめ配布し、講義はおもにそれに従い進める。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/11	(木)	1限	病理学の概要・病因論:内因、外因					遠田 悦子
2	9/18	(木)	1限	組織障害:変性、壊死、アポトーシス、萎縮					遠田 悦子
3	9/25	(木)	1限	物質沈着:脂肪沈着、蛋白沈着、黄疸他					遠田 悦子
4	10/2	(木)	1限	循環障害:人の循環系、充血とうっ血、貧血、出血					遠田 悦子
5	10/9	(木)	1限	循環障害:出血、血栓症、寒栓症、梗塞、ショック、浮腫他					遠田 悦子
6	10/16	(木)	1限	進行性変化:創傷治癒、肉芽組織、異物処理					遠田 悦子
7	10/23	(木)	1限	進行性変化:肥大と過形成、再生、化生					遠田 悦子
8	10/30	(木)	1限	炎症:炎症とは、各種の炎症(I)					遠田 悦子
9	11/6	(木)	1限	炎症:各種の炎症(II)					遠田 悦子
10	11/13	(木)	1限	免疫:病理と免疫					遠田 悦子
11	11/20	(木)	1限	免疫:アレルギー、自己免疫疾患					遠田 悦子
12	11/27	(木)	1限	腫瘍:腫瘍とは、良性と悪性					遠田 悦子
13	12/4	(木)	1限	腫瘍:上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍					遠田 悦子
14	12/11	(木)	1限	先天異常:遺伝子疾患、染色体異常					遠田 悦子
15	12/18	(木)	1限	先天異常、総復習					遠田 悦子
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習について、あらかじめ講義内容のプリントを配布するので講義前には一読すること。(10分程度) 復習に関して講義中に指示を行う。指示された項目は特に重要であるので充分確認すること。(20分程度)								
学修評価の 基準と方法	学修成績評価は5択問題等による終講テストにより行う。(100%)								
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)								
テキスト・参考書	プリントを配布する。								
	参考書:①「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 病理学」医学書院								
	参考書:②「なるほどなっとく!病理学」小林正伸 著/南山堂								
教員紹介	現在、日本医科大学の病理学講座の教授として、講義と研究の指導・相談を担当している。 アレルギー等の免疫病理学を専門としている。								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	リハビリテーション概論						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	依田 光正								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	火	時限	2		
授業概要	リハビリテーションとは何かを学ぶとともに、障害を理解し、その評価方法を学ぶ。								
学修目標	①リハビリテーションとは何かを説明できる。 ②障害を評価することが出来る。								
授業方法	テキストの内容をスライド・プリントを使用し講義を進める。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8 (火) 2限	リハビリテーション医学とは							依田光正
2	4/15 (火) 2限	リハビリテーションの進め方							依田光正
3	4/22 (火) 2限	障害の評価;意識障害							依田光正
4	4/29・祝 (火) 2限	障害の評価;運動障害①							依田光正
5	5/13 (火) 2限	障害の評価;運動障害②							依田光正
6	5/20 (火) 2限	障害の評価;感覚障害							依田光正
7	5/27 (火) 2限	障害の評価;反射							依田光正
8	6/3 (火) 2限	障害の評価;言語障害							依田光正
9	6/10 (火) 2限	障害の評価;高次脳機能障害							依田光正
10	6/17 (火) 2限	障害の評価;発達障害							依田光正
11	6/24 (火) 2限	障害の評価;自律神経障害							依田光正
12	7/1 (火) 2限	障害の評価;摂食機能障害							依田光正
13	7/8 (火) 2限	障害の評価;心機能障害							依田光正
14	7/15 (火) 2限	障害の評価;呼吸機能障害							依田光正
15	7/22 (火) 2限	傷害の評価;その他							依田光正
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習;(時間があれば)テキストに目を通しておくこと。 復習;かならずプリントやテキストを読み返しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	期末試験の成績による。								
試験時期	2025年7月28日(月)~8月1日(金)								
テキスト・参考書	「リハビリテーション医学テキスト」三上真弘監修 出江紳一・加賀谷斉編集 南江堂								
教員紹介	医師、昭和大学教授、昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション科 診療科長								
その他	必ず復習するように。								

# 講 義 要 項

科目名	地域リハビリテーション I (制度等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	齋藤 雄								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火	時限	1		
授業概要	わが国の人口は減少傾向にあり、今後後期高齢者の急増と若年者の減少という2025年問題に直面する。そのなかで、地域包括ケアシステムの推進とリハビリテーションの必要性がうたわれている。病院内で完結させる従来型の方法ではなく、マクロな視点で地域でのリハビリテーションの価値について概観する。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域リハビリテーションについての概要を理解できる。</li> <li>2. 地域リハビリテーションにおける基本的な考え方や各種制度を説明できる。</li> <li>3. 代表的な施設、在宅サービスにおける理学療法の内容を把握できる。</li> <li>4. 地域リハビリテーションのなかで実際に理学療法士がどのような活動をしているかを理解できる。</li> </ol>								
授業方法	パワーポイントと配布印刷物を活用しながら講義や演習を実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	オリエンテーション/イントロダクション								齋藤 雄
2	地域リハビリテーション総論①								齋藤 雄
3	地域リハビリテーション総論②								齋藤 雄
4	地域リハビリテーションの概念①								齋藤 雄
5	地域リハビリテーションの概念②								齋藤 雄
6	地域リハビリテーションにおけるICF①								齋藤 雄
7	地域リハビリテーションにおけるICF②								齋藤 雄
8	地域リハビリテーションと地域理学療法								齋藤 雄
9	地域リハビリテーションの関連制度と関連法規①								齋藤 雄
10	地域リハビリテーションの関連制度と関連法規②								齋藤 雄
11	住環境と福祉用具								齋藤 雄
12	地域リハビリテーションの実際 訪問系サービス								齋藤 雄
13	地域リハビリテーションの実際 通所系サービス								齋藤 雄
14	地域リハビリテーションの実際 施設系サービス								齋藤 雄
15	終末期における地域リハビリテーション								齋藤 雄
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	<p>予習: 可能であれば、毎回の講義前に指定された参考書などの関連部分を熟読しておくこと。</p> <p>復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。</p>								
学修評価の 基準と方法	期末試験(筆記)・授業への参加態度: 100%								
試験時期	定期試験期間内に行う。								
テキスト・参考書	参考書: PT・OTビジュアルテキスト 地域リハビリテーション学 第2版: 重森健太/横井賀津志 羊土社								
	参考書: 地域リハビリテーション論 Ver.7: 大田仁史 三輪書店								
	参考書: 地域理学療法学 牧迫飛雄馬/吉松竜貴 医歯薬出版株式会社								
教員紹介	担当教員は、総合病院(急性期/回復期/維持期/在宅)・介護老人保健施設での勤務経験があり、実務経験に基づいた授業を行っていく。修士(老年学)。								
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。</li> <li>・正当な理由なく30分以上の遅刻3回で欠席1回とする。</li> <li>・講義中、私用でのスマホの使用は禁止とする(講義内容に関する検索等での利用を除く)。</li> </ul>								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法概論 I						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	○木倉 将成、武田淳史								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	火	時限	1		
授業概要	理学療法の全体像を理解し、理学療法への興味を深めることで生涯学習の必要性について認識する。 理学療法の歴史、定義、倫理、および対象疾患や治療原理の概論について学び、理学療法の必要性について理解する。								
学修目標	①理学療法の定義、歴史、倫理などの全体像を説明できる。 ②理学療法士としての役割とその必要性について説明できる。 ③理学療法の過程と進め方学び、概論を説明できる。 ④理学療法士の職域、対象者に興味を持ち探究できる。								
授業方法	・講義を中心にすすめる ・グループワーク、実技演習を行う								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8 (火) 1限	オリエンテーション							武田
2	4/15 (火) 1限	理学療法の関連法規							木倉
3	4/22 (火) 1限	理学療法士の役割①							木倉
4	5/13 (火) 1限	理学療法士の役割②							木倉
5	5/20 (火) 1限	理学療法の対象、領域①							木倉
6	5/27 (火) 1限	理学療法の対象、領域②							木倉
7	6/3 (火) 1限	日常生活活動①							木倉
8	6/10 (火) 1限	日常生活活動②							木倉
9	6/17 (火) 1限	日常生活活動③							木倉
10	6/24 (火) 1限	理学療法における治療、運動療法、その他①							木倉
11	7/1 (火) 1限	理学療法における治療、運動療法、その他②							木倉
12	7/8 (火) 1限	理学療法における治療、運動療法、その他③							木倉
13	7/15 (火) 1限	理学療法探求①							木倉
14	7/22 (火) 1限	理学療法探求②							木倉
15	7/29 (火) 1限	理学療法探求③							木倉
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 毎回の講義前に指定された参考書の関連部分を熟読すること 復習: 講義後、配布資料および参考書を再読し、理解を深める								
学修評価の 基準と方法	本試験100%								
試験時期	前期期末試験期間								
テキスト・参考書	南江堂 シンプル理学療法学シリーズ『理学療法概論テキスト』改訂第三版 ISBN: 978-4-524-25482-8								
教員紹介	担当教員は急性期・回復期病院、訪問看護ステーションに勤務した経験があり、現在は総合病院・地域貢献と活動している。 実務経験に基づいた授業を展開する。								
その他	授業開始時刻から30分以内の入室は「遅刻」扱いになります。授業の進捗状況により内容が変更することあり。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法概論Ⅱ(倫理と基盤等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	1	単位	1	時間	15	授業形態	講義・演習
担当教員	荒川 武士								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	金	時限	2		
授業概要	理学療法に関する課題を探求し、研究する心構えを身につける事を目標とする。また、基本的理学療法手技の習熟度を深めていく。								
学修目標	①理学療法の全体像を説明できる。 ②理学療法士としての役割とその必要性について説明できる。 ③理学療法の過程と進め方を学び、基本的な理学療法手技を実践できる。								
授業方法	パワーポイントと配布印刷物を活用しながら講義や演習を実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	理学療法管理(感染予防と対応)								荒川 武士
2	理学療法管理(理学療法概要と倫理)								荒川 武士
3	理学療法管理(関連法規)								荒川 武士
4	理学療法管理(社会保障制度)								荒川 武士
5	理学療法管理(社会保険制度)								荒川 武士
6	理学療法管理(社会保険制度)								荒川 武士
7	理学療法管理(社会保険制度、診療の流れ)								荒川 武士
8	理学療法管理(教育)								荒川 武士
9	理学療法管理(施設管理とリスク管理)								荒川 武士
10	理学療法基本技術 触診 (肩甲帯)								荒川 武士
11	理学療法基本技術 触診 (上肢)								荒川 武士
12	理学療法基本技術 触診 (手指)								荒川 武士
13	理学療法基本技術 触診 (下肢)								荒川 武士
14	理学療法基本技術 触診 (体幹)								荒川 武士
15	理学療法基本技術 触診								荒川 武士
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	各講義後は必ず講義中に学んだこと、重要なキーワードをまとめるようにしてください(必要な時間:約45分)。第2回以降の講義始めには小テストで前講義範囲の習熟度を確認します。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(筆記)による評価(100%)								
試験時期	期末試験期間に実施								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない、配布プリントあり。  参考書: 理学療法概論テキスト(シンプル理学療法学シリーズ) 南江堂								
教員紹介	担当教員は回復期リハビリテーション病棟にて勤務した経験がある。								
その他	授業内容は進行状況で変更されることがあります。 質問は授業後に受け付けます。								

2025 年度  
講 義 要 領  
(シラバス)

理学療法学科  
夜間部 2 年生



専門学校東京医療学院

# 講 義 要 項

科目名	老年学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	齋藤 雄								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日		時限			
授業概要	超高齢社会を迎えるにあたって、加齢にかかわる諸問題を取り扱う老年学の重要性は増大している。高齢者のリハビリテーションにおいては、疾患だけを切り離して診断や治療を行うのではなく、全人的医療の実践が求められている。本講義では、主に高齢者に合併症として多くみられる内部障害や整形外科疾患、脳血管疾患に視点を当て、概観する。								
学修目標	1. 老年期の生理的加齢変化と、さまざまな疾患が相乗することによって機能障害がもたらされることを理解する。 2. リハビリテーションの現場で、老年期特有の内障害合併症を有する患者の診方について理解する。								
授業方法	パワーポイントと配布印刷物を活用しながら講義や演習を実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	ライフステージと高齢者像(加齢と老化・高齢者の定義)								齋藤 雄
2	ライフステージと高齢者像(老年症候群)								齋藤 雄
3	ライフステージと高齢者像(サルコペニア・フレイル)								齋藤 雄
4	高齢者の骨・関節障害の理学療法(大腿骨頸部骨折①)								齋藤 雄
5	高齢者の骨・関節障害の理学療法(大腿骨頸部骨折②)								齋藤 雄
6	高齢者の骨・関節障害の理学療法(変形性膝関節症①)								齋藤 雄
7	高齢者の骨・関節障害の理学療法(変形性膝関節症②)								齋藤 雄
8	高齢者の中枢神経障害と理学療法(脳・神経系)								齋藤 雄
9	高齢者の中枢神経障害と理学療法(脳梗塞①)								齋藤 雄
10	高齢者の中枢神経障害と理学療法(脳梗塞②)								齋藤 雄
11	高齢者の中枢神経障害と理学療法(脳出血①)								齋藤 雄
12	高齢者の中枢神経障害と理学療法(脳出血②)								齋藤 雄
13	高齢者の中枢神経障害と理学療法(くも膜下出血)								齋藤 雄
14	高齢者の代謝障害と理学療法(糖尿病①)								齋藤 雄
15	高齢者の代謝障害と理学療法(糖尿病②)								齋藤 雄
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習:プリントや必要に応じて参考書などにも目を通しておくこと。 復習:必ずプリントやテキストを読み返しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	小テスト(30%)・期末試験(筆記)による評価(70%)で評価する。								
試験時期	筆記試験については定期試験期間内に行う。								
テキスト・参考書	参考書:高齢者理学療法学(Crosslink 理学療法テキスト) MEDICAL VIEW 参考書:病気がみえる vol.7 脳・神経 メディックメディア								
教員紹介	担当教員は、総合病院(急性期/回復期/維持期/在宅)・介護老人保健施設での勤務経験があり、実務経験に基づいた授業を行っていく。修士(老年学)。								
その他	正当な理由なく30分以上の遅刻3回で欠席1回とする。 講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	コミュニケーション論						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	2	時間	30	授業形態	講義
担当教員	齋藤 一政						オムニバス・通年等 シラバス分割		
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	木	時限	2		
授業概要	理学療法士は、対人援助職です。院内では患者さんのみならず医療専門職や他職種などの多様な人に関わることが多く、コミュニケーション能力は重要なスキルです。本授業では、コミュニケーションの基礎知識を学ぶと共に、様々なコミュニケーションスキルを身につけることが出来るよう実践的な内容を多く取り入れてます。								
学修目標	1. コミュニケーションの意義、個人と他者や社会との関係性が理解できる。 2. 自己に対して深く考え、理解できる。 3. 医療現場における円滑な人間関係を成立させるためのコミュニケーションが理解できる。								
授業方法	本授業は、コミュニケーションに関する基礎知識を学ぶと共に、グループワークや実践を行い、その中で体験過程を重視して授業を進めていきます。								
授業計画									
NO	授業内容							担当教員	
1	9/11 (木) 2限	オリエンテーション、コミュニケーションとは						齋藤 一政	
2	9/18 (木) 2限	コミュニケーション論総論						齋藤 一政	
3	9/25 (木) 2限	自己理解(1)						齋藤 一政	
4	10/2 (木) 2限	自己理解(2)						齋藤 一政	
5	10/9 (木) 2限	ストレスマネジメント						齋藤 一政	
6	10/16 (木) 2限	セルフコントロール(アンガーマネジメント)						齋藤 一政	
7	10/23 (木) 2限	傾聴(1)						齋藤 一政	
8	10/30 (木) 2限	傾聴(2)						齋藤 一政	
9	11/6 (木) 2限	話し方の技法						齋藤 一政	
10	11/13 (木) 2限	対人援助の実際(1)						齋藤 一政	
11	11/20 (木) 2限	対人援助の実際(2)						齋藤 一政	
12	11/27 (木) 2限	非言語コミュニケーション(1)						齋藤 一政	
13	12/4 (木) 2限	非言語コミュニケーション(2)						齋藤 一政	
14	12/11 (木) 2限	言語コミュニケーション(1)						齋藤 一政	
15	12/18 (木) 2限	言語コミュニケーション(2)						齋藤 一政	
準備学修 (予習・復習)等 の内容と分量	授業の振り返りシート(授業内での気づきや今後の課題、授業の振り返りなど)の作成。								
学修評価の 基準と方法	期末レポート 50点、提出物(振り返りシート) 50点								
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)								
テキスト・参考 書	参考図書:「リハベリック コミュニケーション論 多職種連携論」内山靖・藤井浩美・立石雅子 編 医歯薬出版「PT・OT・STのためのコミュニケーション実践ガイド」山口美和 著 医学書院								
教員紹介	【出身】東京都 【所属】幼児教育アカデミー 教育相談主任 横浜国立大学大学院研究科 学校教育学専攻 学校教育心理学専修 修了 【専門】学校心理士(2002年) 学校心理学、教育心理学、発達心理学								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	解剖学Ⅴ(組織学、消化器、呼吸器、内分泌系等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	月	時限	1限		
授業概要	理学療法士に求められる基礎的な解剖学について解説する。								
学修目標	細胞学、組織学では、生体の基本構築を理解する。内臓学では器官固有の機能との関連において様々な器官の構造を理解する。								
授業方法	教科書と別に用意するプリントに基づいて講義を進める。特に重要な事項については板書して解説を加える。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/7 (月)	1限	人体の構成、頭蓋内、胸腹部の臓器						野上 晴雄
2	4/14 (月)	1限	細胞、細胞膜、核・染色体、細胞分裂						野上 晴雄
3	4/21 (月)	1限	細胞内小器官、上皮組織						野上 晴雄
4	4/28 (月)	1限	筋組織、軟骨組織、骨組織						野上 晴雄
5	5/12 (月)	1限	神経組織、結合組織						野上 晴雄
6	5/19 (月)	1限	消化器系の構成、口腔、歯						野上 晴雄
7	5/26 (月)	1限	舌、唾液腺、咽頭、嚥下						野上 晴雄
8	6/2 (月)	1限	食道、胃						野上 晴雄
9	6/9 (月)	1限	小腸と大腸						野上 晴雄
10	6/16 (月)	1限	肝臓、胆嚢、膵臓						野上 晴雄
11	6/23 (月)	1限	呼吸器系の構成、鼻腔、副鼻腔						野上 晴雄
12	6/30 (月)	1限	喉頭、声帯、気管						野上 晴雄
13	7/7 (月)	1限	気管支、肺、細気管支、肺、						野上 晴雄
14	7/14 (月)	1限	肺胞、呼吸のメカニズム、泌尿器系の構成						野上 晴雄
15	7/18 (金)	1限	腎臓の構造、ネフロン、尿管と膀胱						野上 晴雄
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業計画に従って教科書を予習しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(80%)と随時行う小テスト(20%)で評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト 標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第6版 野村 巖 編 医学書院								
教員紹介	東京理科大学薬学部卒業、医学博士、薬学博士。40年余り解剖学教育に携わっている。								
その他	講義の内容を授業中に理解するよう努力すること。質問はいつでも受け付けます。								

# 講 義 要 項

科目名	解剖学VI(生殖器、リンパ、中枢神経系等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	野上 晴雄								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	月	時限	1		
授業概要	理学療法士に求められる基礎的な解剖学について解説する。								
学修目標	中枢神経系への情報の入力、認知、運動系への出力という神経機能の概略を理解する。これらのシステムを解剖学的用語を用いて説明できるようにする。								
授業方法	教科書と別に用意するプリントに基づいて講義を進める。特に重要な事項については板書して解説を加える。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/8 (月)	1限	内分泌系総論、内分泌器官の種類と位置						野上 晴雄
2	9/15祝 (月)	1限	視床下部・下垂体系、甲状腺と上皮小体、副腎、ランゲルハンス島						野上 晴雄
3	9/22 (月)	1限	男性生殖器系、女性生殖器系、性周期						野上 晴雄
4	9/29 (月)	1限	ヒトの発生、胎盤、血液、血球の分類						野上 晴雄
5	10/6 (月)	1限	皮膚とその付属器、血管の組織、リンパ性器官						野上 晴雄
6	10/20 (月)	1限	中枢神経系概論 脳の区分、髄膜と脳室						野上 晴雄
7	10/27 (月)	1限	終脳、皮質の機能局在、						野上 晴雄
8	11/10 (月)	1限	大脳の髄質、基底核の位置と働き						野上 晴雄
9	11/17 (月)	1限	大脳辺縁系、間脳、						野上 晴雄
10	12/1 (月)	1限	脳幹の基本構造、中脳						野上 晴雄
11	12/8 (月)	1限	橋と小脳						野上 晴雄
12	12/15 (月)	1限	小脳の組織、延髄						野上 晴雄
13	12/22 (月)	1限	錐体交叉、錐体路、毛帯交叉、						野上 晴雄
14	1/5 (月)	1限	脊髄						野上 晴雄
15	未定 (月)	1限	伝導路						野上 晴雄
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	授業計画に従って教科書を予習しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(80%)と随時行う小テスト(20%)で評価する。								
試験時期	2026年1月14日(木)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト 標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第6版 野村 嶺 編 医学書院 参考書 解剖学講義 伊藤隆著 南山堂								
教員紹介	東京理科大学薬学部卒業、医学博士、薬学博士。40年余り解剖学教育に携わっている。								
その他	講義の内容を授業中に理解するよう努力すること。質問はいつでも受け付けます。								

# 講 義 要 項

科目名	内科学 I (循環器、呼吸器、消化器等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	永原 則之								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	水	時限	2		
授業概要	リハビリテーションの対象となる患者さんは内科疾患そのものが原因であったり、基礎疾患として内科疾患を有することが多い。安全かつ効率的にリハビリテーションを実施するためには、全身の機能障害や機能低下について理解し、基礎的な医学知識を身につける必要がある。1年間で関連する内科疾患の病因、病態、臨床像、検査および診断を学習する。また、各疾患の疫学、治療法、予後についても簡単に触れる。								
学修目標	1) 理学療法を实践する上で関連する内科疾患の基本的概念を説明できるようになる。 a) 内科学の用語を説明できる。 b) 症候や検査所見からの病態を説明できる。 c) 疾患の病態、症状および所見を説明できる。 2) リハビリテーションを実施する上で留意しなければならない内科的な横断的事項を説明できるようになる。								
授業方法	板書や教科書と視聴覚メディア(パワーポイント)を活用しながら講義形式ですすめる。また、配布する印刷物を利用する。アクティブラーニングとして、各授業ごとに復習用の問題集を用いて理解されたか確認する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/2 (水) 2限	臨床医学総論、感染症① 総論						永原 則之	
2	4/9 (水) 2限	感染症② ウイルス、リッケチア、細菌感染症、真菌症						永原 則之	
3	4/16 (水) 2限	感染症③ 原虫性、寄生虫疾患、抗酸菌感染症						永原 則之	
4	4/23 (水) 2限	免疫異常① 総論、アレルギー疾患、免疫不全						永原 則之	
5	4/30 (水) 2限	免疫異常② 自己免疫疾患(膠原病)						永原 則之	
6	5/7 (水) 2限	免疫異常③ 自己免疫疾患						永原 則之	
7	5/14 (水) 2限	循環器疾患① 総論・心電図の読み方						永原 則之	
8	5/21 (水) 2限	循環器疾患② 心疾患						永原 則之	
9	5/28 (水) 2限	循環器疾患③ 血管系疾患						永原 則之	
10	6/4 (水) 2限	呼吸器疾患① 総論						永原 則之	
11	6/11 (水) 2限	呼吸器疾患②						永原 則之	
12	6/18 (水) 2限	呼吸器疾患③						永原 則之	
13	6/25 (水) 2限	消化器疾患① 総論						永原 則之	
14	7/2 (水) 2限	消化器疾患②						永原 則之	
15	7/9 (水) 2限	消化器疾患③						永原 則之	
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	各講義の授業外の学修時間は3時間必要です。予習として教科書の該当ページを読み、理解し、また該当事項を調べて問題提起をする。また、復習として授業のノートや配布印刷物を見直し、内容を自分のものにする。								
学修評価の基準と方法	期末試験で評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:「コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学」改訂7版 / 北村諭 編著 / 中外医学社) 「内科学総復習問題集」及テキストに準じた自習用「内科学問題集」を配布する。また、講義では配布印刷物を使用する。								
教員紹介	医師、日本医科大学 准教授、放射性同位元素の法的な管理および施設の運営、使用に関する指導、教育訓練を行っていた。また、平成8年より在宅医療を実践している。専門は環境医学、病態医化学。								
その他	神経・筋疾患は脳神経科学、整形外科学などの講義で扱う								

# 講 義 要 項

科目名	内科学Ⅱ(内分泌、代謝、血液疾患等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	永原 則之								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	水	時限	2		
授業概要	リハビリテーションの対象となる患者さんは内科疾患そのものが原因であったり、基礎疾患として内科疾患を有することが多い。安全かつ効率的にリハビリテーションを実施するためには、全身の機能障害や機能低下について理解し、基礎的な医学知識を身につける必要がある。1年間で関連する内科疾患の病因、病態、臨床像、検査および診断を学習する。また、各疾患の疫学、治療法、予後についても簡単に触れる。								
学修目標	1)理学療法を实践する上で関連する内科疾患の基本的概念を説明できるようになる。 a)内科学の用語を説明できる。b)症候や検査所見からの病態を説明できる。 c)疾患の病態、症状および所見を説明できる。 2)リハビリテーションを実施する上で留意しなければならない内科的な横断的事項を説明できるようになる。								
授業方法	板書や教科書と視聴覚メディア(パワーポイント)を活用しながら講義形式ですすめる。また、配布する印刷物を利用する。アクティブラーニングとして、各授業ごとに復習用の問題集を用いて理解されたか確認する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/10 (水) 2限	内分泌疾患① 総論							永原 則之
2	9/17 (水) 2限	内分泌疾患②							永原 則之
3	9/24 (水) 2限	内分泌疾患③							永原 則之
4	10/1 (水) 2限	代謝性疾患① 総論							永原 則之
5	10/8 (水) 2限	代謝性疾患②							永原 則之
6	10/15 (水) 2限	代謝性疾患③							永原 則之
7	10/22 (水) 2限	血液疾患① 総論							永原 則之
8	10/29 (水) 2限	血液疾患②							永原 則之
9	11/5 (水) 2限	血液疾患③							永原 則之
10	11/12 (水) 2限	腎・尿路系疾患① 総論							永原 則之
11	11/19 (水) 2限	腎・尿路系疾患②							永原 則之
12	11/26 (水) 2限	腎・尿路系疾患③							永原 則之
13	12/3 (水) 2限	肝・胆・脾疾患① 総論							永原 則之
14	12/10 (水) 2限	肝・胆・脾疾患②							永原 則之
15	12/17 (水) 2限	肝・胆・脾疾患③							永原 則之
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	各講義の授業外の学修時間は3時間必要です。予習として教科書の該当ページを読み、理解し、また該当事項を調べて問題提起をする。また、復習として授業のノートや配布印刷物を見直し、内容を自分のものにする。								
学修評価の基準と方法	期末試験で評価する。								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:「コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学」改訂7版 / 北村諭 編著 / 中外医学社 「内科学総復習問題集」及びテキストに準じた自習用「内科学問題集」を配布する。また、講義では配布印刷物を使用する。								
教員紹介	医師、日本医科大学 准教授、放射性同位元素の法的な管理および施設の運営、使用に関する指導、教育訓練を行っていた。また、平成8年より在宅医療を実践している。専門は環境医学、病態医化学。								
その他	神経・筋疾患は脳神経科学、整形外科学などの講義で扱う								

# 講 義 要 項

科目名	整形外科学 I (骨折、上下肢脊椎疾患等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	草場 郁夫								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	木	時限	1		
授業概要	リハビリテーションの対象となることが多い整形外科疾患とその治療法を理解することを目的とする。具体的には、骨・関節・筋・神経・軟部組織等の運動器に関する疾患や、障害の病態、病理、臨床症状、治療手技、予後等について教科書の記述をわかりやすく説明する。また、整形外科領域で扱うことのある救命救急についてもふれる。								
学修目標	①運動器疾患・外傷の病態に応じた基本的治療法(内容)を説明できる。 ②運動器の治療のなかで、理学療法士・作業療法士が果たさなければならない役割を理解する。								
授業方法	板書による講義。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3 (木) 1限	整形外科学総論 整形外科学的診断学							草場 郁夫
2	4/10 (木) 1限	0							草場 郁夫
3	4/17 (木) 1限	軟部組織損傷							草場 郁夫
4	4/24 (木) 1限	骨折脱臼総論							草場 郁夫
5	5/1 (木) 1限	肩および上腕の外傷と疾患							草場 郁夫
6	5/8 (木) 1限	肘および前腕の外傷と疾患							草場 郁夫
7	5/15 (木) 1限	手関節と手指の外傷と疾患							草場 郁夫
8	5/22 (木) 1限	股関節および大腿の外傷と疾患							草場 郁夫
9	5/29 (木) 1限	膝関節および下腿の外傷と疾患							草場 郁夫
10	6/5 (木) 1限	膝関節および下腿の外傷と疾患							草場 郁夫
11	6/12 (木) 1限	足関節および足部の外傷と疾患							草場 郁夫
12	6/19 (木) 1限	脊椎・脊髄の疾患1							草場 郁夫
13	6/26 (木) 1限	脊椎・脊髄の疾患2							草場 郁夫
14	7/3 (木) 1限	脊椎・脊髄の疾患3							草場 郁夫
15	7/10 (木) 1限	脊椎・脊髄の疾患4							草場 郁夫
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量									
学修評価の 基準と方法	期末試験								
試験時期	2025年7月28日(月)～2025年8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト: 整形外科学テキスト(南江堂)改訂第4版								
教員紹介	医師(整形外科)専門: 股関節 脚延長・小児整形外科・外傷一般								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	整形外科学Ⅱ(スポーツ整形、慢性疾患、腫瘍等、救急救命)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	草場 郁夫								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	金	時限	1		
授業概要	リハビリテーションの対象となることが多い整形外科疾患とその治療法を理解することを目的とする。具体的には、骨・関節・筋・神経・軟部組織等の運動器に関する疾患や、障害の病態、病理、臨床症状、治療手技、予後等について教科書の記述をわかりやすく説明する。また、整形外科領域で扱うことのある救命救急についてもふれる。								
学修目標	①運動器疾患・外傷の病態に応じた基本的治療法(内容)を説明できる。 ②運動器の治療のなかで、理学療法士・作業療法士が果たさなければならない役割を理解する。								
授業方法	板書による講義。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/12 (金) 1限	骨盤周囲の外傷と疾患							草場 郁夫
2	9/19 (金) 1限	慢性関節疾患							草場 郁夫
3	9/27 (金) 1限	関節リウマチ①							草場 郁夫
4	10/3 (金) 1限	関節リウマチ②							草場 郁夫
5	10/10 (金) 1限	感染症							草場 郁夫
6	10/17 (金) 1限	代謝・内分泌疾患							草場 郁夫
7	10/24 (金) 1限	骨軟部腫瘍							草場 郁夫
8	10/31 (金) 1限	末梢神経損傷①							草場 郁夫
9	11/7 (金) 1限	末梢神経損傷②							草場 郁夫
10	11/14 (金) 1限	末梢神経損傷③							草場 郁夫
11	11/21 (金) 1限	神経筋疾患							草場 郁夫
12	11/28 (金) 1限	骨系統疾患							草場 郁夫
13	12/5 (金) 1限	四肢切断及び四肢欠損							草場 郁夫
14	12/12 (金) 1限	スポーツ整形外科(総論・各論)・救急時の診察							草場 郁夫
15	12/19 (金) 1限	まとめ							草場 郁夫
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量									
学修評価の 基準と方法	期末試験								
試験時期	2026年1月14日(水)～2026年1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト: 整形外科学テキスト(南江堂)改訂第4版								
教員紹介	医師(整形外科)医師(整形外科)専門: 股関節 脚延長・小児整形外科・外傷一般								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	精神医学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	野本 義則								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	火	時限	1		
授業概要	各種精神障害の病理、症状、その治療、予後などについて理解することを目的とする。具体的には、器質性精神障害、統合失調症、気分障害、神経症性障害、発達障害、など理学療法の場合においても治療対象となることのある疾患の病態、症状、治療法、予後について学習する。また、精神医療状況、精神障害者理解、精神保健福祉に関する法制度や社会福祉施策についてその概要を学習する。								
学修目標	(1)精神医学の概論、歴史を説明できる。(2)精神障害の成因と分類を説明できる。 (3)精神機能の障害と精神症状を説明できる。(4)精神障害の診断と評価を説明できる。 (5)各種精神障害の病理、症状、その治療、予後などについて説明できる。 (6)精神障害の治療とリハビリテーションについて説明できる。								
授業方法	主に教科書に沿って講義を行う。参加型グループワークも取り入れ、課題について学生間で議論、発表する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8	(火)	1限	精神医学概論 精神医学とは 社会・文化とメンタルヘルス					野本 義則
2	4/15	(火)	1限	精神医学概論 精神医学の歴史 精神保健に関する法規					野本 義則
3	4/22	(火)	1限	障害と精神症状 成因と分類 精神症状の把握 意識 注意と見当識					野本 義則
4	5/13	(火)	1限	障害と精神症状 知能 性格 記憶 感情 欲動および意志 自我意識 知覚					野本 義則
5	5/20	(火)	1限	障害と精神症状 思考 病識 主な精神状態像					野本 義則
6	5/27	(火)	1限	診断と評価 方法 面接 身体的検査 心理検査 精神症状の評価 治療					野本 義則
7	6/3	(火)	1限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 統合失調症					野本 義則
8	6/10	(火)	1限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 統合失調症					野本 義則
9	6/17	(火)	1限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 気分障害					野本 義則
10	6/24	(火)	1限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 神経症性障害					野本 義則
11	7/1	(火)	1限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 生理的障害および身体要因に関連した障害					野本 義則
12	7/8	(火)	1限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 成人のパーソナリティ障害					野本 義則
13	7/15	(火)	1限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 精神作用物質による障害					野本 義則
14	7/22	(火)	1限	疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 認知症 脳器質性精神障害 症状性精神障害					野本 義則
15	未定			疾患:病理と成因 症状・行動の特徴 心理的発達の障害 てんかん 精神遅滞					野本 義則
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習として、予定される講義内容について、自己知識を確認し、教科書をもとに概要を予習する。 復習として、講義内容の振り返りを行い、配布資料があれば整理し、不明な点は担当教員に質問する。 国家試験過去問題を用いて知識定着の確認をする。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(100%)にて評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)~8月1日(金)								
テキスト・参考書	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学(第4版 増補) 上野武治 編集 医学書院								
教員紹介	東京医療学院大学リハビリテーション学科 作業療法学専攻講師 研究:作業療法教育、思春期学 森田療法臨床歴:約15年精神科病院にて臨床に従事。								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	小児科学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	伊藤 昌弘								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	火	時限	2		
授業概要	小児科学全般、特に小児特有な先天性疾患や発達を理解する。小児科の総論、各論を臓器別(神経系、心臓、呼吸器、内分泌、消化器、血液腫瘍、腎臓、等)に講義することもあるが、脳性麻痺などそれに伴う状態など全般的に理解が深められるようにする。								
学修目標	成長と発達医学の観点から小児医学・医療に関する知識を深める。								
授業方法	パワーポイントや動画を利用したプロジェクターとプリントを利用し、座学形式で行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8	(火)	2限	総論(1)					伊藤 昌弘
2	4/15	(火)	2限	総論(2)					伊藤 昌弘
3	4/22	(火)	2限	各論(1)新生児					伊藤 昌弘
4	4/29・祝	(火)	2限	各論(2)新生児					伊藤 昌弘
5	5/13	(火)	2限	各論(3)先天異常・遺伝病					伊藤 昌弘
6	5/20	(火)	2限	各論(4)神経・筋(1)					伊藤 昌弘
7	5/27	(火)	2限	各論(5)神経・筋(2)					伊藤 昌弘
8	6/3	(火)	2限	各論(6)循環器、呼吸器					伊藤 昌弘
9	6/10	(火)	2限	各論(7)感染症					伊藤 昌弘
10	6/17	(火)	2限	各論(8)消化器					伊藤 昌弘
11	6/24	(火)	2限	各論(9)内分泌・代謝					伊藤 昌弘
12	7/1	(火)	2限	各論(10)血液・腫瘍性疾患					伊藤 昌弘
13	7/8	(火)	2限	各論(11)免疫アレルギー・膠原病					伊藤 昌弘
14	7/15	(火)	2限	各論(12)腎泌尿器系、生殖器					伊藤 昌弘
15	7/22	(火)	2限	各論(13)発達障害					伊藤 昌弘
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	教科書の指定のページを読み、ある程度雰囲気をつかんでおく。								
学修評価の 基準と方法	定期試験を8割、レポートを2割として評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト: 標準理学療法学・作業法学 小児科学(医学書院)								
	参考書: 小児疾患診療のための病態生理1・2 第4版 東京医学社								
	参考書: こどもの病気の地図帳 講談社								
	参考書: 実践 小児の診療 日本医師会								
教員紹介	参考書: すぐわかる小児の画像診断 秀潤社								
	医師(小児科学会専門医、小児神経学会専門医)、都立府中療育センター 副院長、東京医科歯科大学臨床教授								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	脳神経外科学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	小川 尋海								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	木	時限	2		
授業概要	患者に生じる症状について、病態・解剖学的アプローチから学習する。脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷など、典型的な疾患の経過について担当医師とディスカッションするために必要な知識を学習する。また、プロフェッショナルとして、患者に対して問題解決のために必要な基本的な情報を提供するための準備を行う。								
学修目標	①脳神経外科疾患を医学用語を適切に使用しながら説明できるようになる。 ②脳神経外科疾患を医学用語を用いずに伝わりやすい言葉で説明できるようになる。								
授業方法	教科書と適宜プリントを配布する。授業の範囲ごとに国家試験の過去問題を確認する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3 (木) 2限	神経系の構造と機能							小川 尋海
2	4/10 (木) 2限	脳血管障害、高次脳機能障害①							小川 尋海
3	4/17 (木) 2限	脳血管障害、高次脳機能障害②							小川 尋海
4	4/24 (木) 2限	脳血管障害、高次脳機能障害③							小川 尋海
5	5/1 (木) 2限	脳静脈・髄液循環の障害、頭蓋内圧亢進、脳ヘルニア							小川 尋海
6	5/8 (木) 2限	脳神経							小川 尋海
7	5/15 (木) 2限	脊髄疾患、末梢神経、脱髄性疾患①							小川 尋海
8	5/22 (木) 2限	脊髄疾患、末梢神経、脱髄性疾患②							小川 尋海
9	5/29 (木) 2限	変性疾患、筋疾患①							小川 尋海
10	6/5 (木) 2限	変性疾患、筋疾患②							小川 尋海
11	6/12 (木) 2限	感染性疾患、認知症							小川 尋海
12	6/19 (木) 2限	てんかん、先天奇形							小川 尋海
13	6/26 (木) 2限	腫瘍							小川 尋海
14	7/3 (木) 2限	外傷							小川 尋海
15	7/10 (木) 2限	検査、まとめ							小川 尋海
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキストを通読してから授業に参加してください。復習は授業で取り扱った国家試験の周辺知識を中心に繰り返し反芻してください。ときにはそのまま暗記することも医学には必要です。								
学修評価の 基準と方法	定期試験期間内に国家試験に準じた形式で試験を行う。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考 書	『病気がみえる vol.7 脳・神経 第二版』 メディックメディア その他プリントを使用								
教員紹介	埼玉医科大学卒。リハビリテーション専門医。鶴ヶ島市議会議員。実臨床で医師と理学療法士で、すれ違いが生じがちなところを解説します。								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	脳神経内科学 I (神経症候等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	灰田 宗孝(オンライン)								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	金	時限	1		
授業概要	医療者として神経疾患を理解できるようになるため、神経症状・理学所見などについて講義する。具体的には神経症候額の概要、及び脳卒中、パーキンソン病などの主要な神経疾患や、筋ジストロフィーなどの筋疾患、難病などリハビリテーションで対象となることの多い疾患について、病態、病理、症状、治療、予後について学習する。								
学修目標	① 神経内科疾患の症状、病態生理を理解し、的確な診断、治療法、予後を他者に説明できる。 ② 神経学的初見の取り方を理解し、その診断的意義を説明できる。 ③ 神経内科各疾患に応じたリハビリテーションを計画することができる。 ④ 国家試験合格のレベルまで、さらに神経内科学一般について広い知識を習得する。								
授業方法	講義に即したレジュメをあらかじめ配布します。授業ではテキストを適宜参照しながら解説を行い、必要に応じて動画などを供覧します。解説後、国家試験の出題例を一緒に解いていきます。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/4 (金)	1限	神経疾患を理解するために						灰田 宗孝
2	4/11 (金)	1限	神経疾患のリハビリテーション						灰田 宗孝
3	4/18 (金)	1限	運動障害(1)						灰田 宗孝
4	4/25 (金)	1限	運動障害(2)						灰田 宗孝
5	5/2 (金)	1限	運動障害(3)						灰田 宗孝
6	5/9 (金)	1限	運動障害(4)						灰田 宗孝
7	5/16 (金)	1限	感覚障害(1)						灰田 宗孝
8	5/23 (金)	1限	感覚障害(2)						灰田 宗孝
9	5/30 (金)	1限	脳神経障害						灰田 宗孝
10	6/6 (金)	1限	高次機能障害・意識障害						灰田 宗孝
11	6/13 (金)	1限	認知機能障害						灰田 宗孝
12	6/20 (金)	1限	自律神経障害・検査						灰田 宗孝
13	6/27 (金)	1限	頭痛・めまい						灰田 宗孝
14	7/4 (金)	1限	神経診察(1)						灰田 宗孝
15	7/11 (金)	1限	神経診察(2)						灰田 宗孝
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	教科書で必ず予習し、あらかじめ疑問点を見つけて授業に臨む。毎回復習し、疑問点は授業時に質問して解決すること。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験100%								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 脳神経内科学 高橋伸佳編著 理工図書								
教員紹介	東海大学名誉教授 医師 医学博士								
その他	教科書は必ず読んでくること								

# 講 義 要 項

科目名	脳神経内科学Ⅱ(神経疾患等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	灰田 宗孝(オンライン)								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	水	時限	1		
授業概要	医療者として神経疾患を理解できるようになるため、神経症状・理学所見などについて講義する。具体的には神経症候額の概要、及び脳卒中、パーキンソン病などの主要な神経疾患や、筋ジストロフィーなどの筋疾患、難病などリハビリテーションで対象となることの多い疾患について、病態、病理、症状、治療、予後について学習する。								
学修目標	① 神経内科疾患の症状、病態生理を理解し、的確な診断、治療法、予後を他者に説明できる。 ② 神経学的初見の取り方を理解し、その診断的意義を説明できる。 ③ 神経内科各疾患に応じたリハビリテーションを計画することができる。 ④ 国家試験合格のレベルまで、さらに神経内科学一般について広い知識を習得する。								
授業方法	講義に即したレジュメをあらかじめ配布します。授業ではテキストを適宜参照しながら解説を行い、必要に応じて動画などを供覧します。解説後、国家試験の出題例を一緒に解いていきます。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/10 (水)	1限	脳血管障害(1)						灰田 宗孝
2	9/17 (水)	1限	脳血管障害(2)						灰田 宗孝
3	9/24 (水)	1限	脳腫瘍、頭部外傷、中枢神経感染症						灰田 宗孝
4	10/1 (水)	1限	パーキンソン病、パーキンソンニズム						灰田 宗孝
5	10/8 (水)	1限	パーキンソンニズム、不随意運動症						灰田 宗孝
6	10/15 (水)	1限	認知症						灰田 宗孝
7	10/22 (水)	1限	てんかん、脊髄小脳変性症						灰田 宗孝
8	10/29 (水)	1限	運動ニューロン疾患、脱髄性疾患、脊椎脊髄疾患						灰田 宗孝
9	11/5 (水)	1限	末梢神経疾患						灰田 宗孝
10	11/12 (水)	1限	ミオパチー						灰田 宗孝
11	11/19 (水)	1限	自律神経疾患、先天異常						灰田 宗孝
12	11/26 (水)	1限	代謝性疾患、中毒性疾患						灰田 宗孝
13	12/3 (水)	1限	神経難病						灰田 宗孝
14	12/10 (水)	1限	神経疾患のリハビリテーション						灰田 宗孝
15	12/17 (水)	1限	画像供覧						灰田 宗孝
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	教科書で必ず予習し、あらかじめ疑問点を見つけて授業に臨む。毎回復習し、疑問点は授業時に質問して解決すること。								
学修評価の基準と方法	筆記試験100%								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	メディカルスタッフ専門基礎科目シリーズ 脳神経内科学 高橋伸佳編著 理工図書								
教員紹介	東海大学名誉教授 医師 医学博士								
その他	教科書は必ず読んでくること								

# 講 義 要 項

科目名	画像診断学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	関根 紀夫								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	金	時限	2		
授業概要	理学療法士にとって画像診断学は、実際の病態と各種医用画像との結びつきを理解することが重要である。								
学修目標	骨折、関節・骨変形、系統疾患等の単純X線写真、脳・脊髄等のCTスキャン、MRI等の読影と病態の概要および核医学等の放射線診断学の概要をモダリティの特性を含めて学ぶ。								
授業方法	講師作成資料を基に講義する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	5/23 (金)	2限	画像診断法の特徴(X線・CT・MRI・超音波・核医学)						関根 紀夫
2	5/30 (金)	2限	X線検査画像の理解						関根 紀夫
3	6/6 (金)	2限	CT検査画像の理解						関根 紀夫
4	6/13 (金)	2限	MRI画像の理解						関根 紀夫
5	6/20 (金)	2限	超音波画像の理解						関根 紀夫
6	6/27 (金)	2限	核医学画像の理解						関根 紀夫
7	7/4 (金)	2限	ケーススタディ(1)						関根 紀夫
8	7/11 (金)	2限	ケーススタディ(2)						関根 紀夫
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	事前配布資料による予習と講義後の復習用問題を用意する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験のみで評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:講義時に資料を配布する								
	参考書:講義中に紹介する								
教員紹介	東京都立大学健康福祉学部 准教授								
その他	講義内容の復習を必ず行うこと								

# 講 義 要 項

科目名	薬理学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	大幡 久之								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	火	時限	1		
授業概要	薬がどのような経路で標的臓器に到達し、どのような作用機序で薬理作用を発現するかについて、代表的な薬を中心に理学療法士として必要となる幅広い薬理学的知識を習得する。								
学修目標	薬理学の概念、薬理作用、有害作用等を薬物学的側面から、特に臨床との関連を中心に学ぶ。								
授業方法	指定のテキスト(系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進(3)、医学書院)を中心に板書で捕捉しながら解説する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/9	(火)	2限	薬理学を学ぶにあたって					大幡 久之
2	9/16	(火)	2限	薬が作用する仕組み(薬力学)					大幡 久之
3	9/30	(火)	2限	薬物の投与経路、薬物の吸収・分布・代謝・排泄					大幡 久之
4	10/7	(火)	2限	治療において重要となる薬物動態の指標;薬物相互作用					大幡 久之
5	10/14	(火)	2限	薬効の個人差に影響する因子;薬物の有益性と危険性;薬と法律					大幡 久之
6	10/21	(火)	2限	抗アレルギー薬・抗炎症薬					大幡 久之
7	10/28	(火)	2限	末梢での神経活動に作用する薬物					大幡 久之
8	11/4	(火)	2限	中枢神経系に作用する薬物					大幡 久之
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	指定のテキスト(系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進(3)、医学書院)を用いて予習・復習を3~4時間行うこと。								
学修評価の 基準と方法	期末試験で評価する。								
試験時期	2026年1月14日(水)~1月20日(火)								
テキスト・参考書	系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進(3) 第15版 (著:吉岡 充弘 他)医学書院								
教員紹介	博士(薬学)、昭和大学富士吉田教育部客員教授								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	栄養学						対象学科・専攻		理学療法学科 夜間部
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	岡田 昌己								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火	時限	1		
授業概要	人間が生まれてから死ぬまでを栄養学の観点から理解することを目的とする。そのために五大栄養素の働き、栄養素と食品の関係、日本人の食事摂取基準と食生活、治療食の種類と分類、食生活と生活習慣病の関係について、また、ライフサイクルと栄養について学習する。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 五大栄養素の構造、消化・吸収・代謝や消化・吸収を行うための消化器官について基礎的な知識を理解できる。</li> <li>2. 1.の基本的な知識応用させて、ライフステージ別、病態別、特殊環境での栄養について理解できる。</li> <li>3. 日本の食生活状況や問題点について、栄養学の基本的な考えから理解できる。</li> </ol>								
授業方法	毎回の講義で補足資料を配布する。講義後に小試験を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	11/11 (火) 1限	人体の構造(消化器官・細胞)について							岡田 昌己
2	11/18 (火) 1限	食品に含まれる栄養素の種類とはたらき(主にエネルギー生産栄養素、消化・吸収・代謝)について							岡田 昌己
3	11/25 (火) 1限	食品に含まれる栄養素の種類とはたらき(主にビタミン・ミネラル)について							岡田 昌己
4	12/2 (火) 1限	ライフステージと栄養(妊婦、乳児期～思春期)について							岡田 昌己
5	12/9 (火) 1限	ライフステージと栄養(成人期～高齢期、スポーツ栄養)について							岡田 昌己
6	12/16 (火) 1限	治療食(食事療法)、栄養補給法について							岡田 昌己
7	12/23 (火) 1限	疾患別食事療法について							岡田 昌己
8	1限	栄養と生活習慣病、食生活の問題、食事摂取基準について							岡田 昌己
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	(予習)高校の生物基礎を理解しておく。 (復習)毎回配布するプリント、小試験を解き直す。								
学修評価の 基準と方法	定期試験80%、毎回の講義後の小試験20%								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	好きになるシリーズ、好きになる栄養学第2版(麻美直美、塚原典子 著)講談社								
教員紹介	駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科 講師(専門分野)生理・生化学、スポーツ栄養学								
その他	必ずテキストを持参のうえ受講すること								

# 講 義 要 項

科目名	予防医学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	15	授業形態	講義
担当教員	永原 則之								
開講年度	2025年度	開講学期	前期	曜日	水	時限	1		
授業概要	理学療法を学ぶ学生は、疾病の発生要因を広く社会との関連から追及し、その予防対策をたてる予防医学について理解する事が求められる。予防医学は疾病やそれが起こる環境を医学・生物学はもとより立法・行政に至るまで幅広く科学的に判断(アセスメント)し、治療や予防的措置さらに法的措置(マネージメント)を如何にすべきか、自ら考える習慣をつけること目的にする。								
学修目標	1)理学療法における予防医学の概念を説明できる。 2)個人および集団の疾病の原因になる生活・社会・自然環境因子を見極める方法を学んで応用できる。 3)個人の健康を認識し、その維持と疾病予防の考え方を学び、実践的技術を実施できる。								
授業方法	板書や教科書と視聴覚メディア(パワーポイント)を活用しながら講義形式ですすめる。また、配布する印刷物を利用する。アクティブラーニングとして、各授業ごとに復習用の問題集を用いて理解されたか確認する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	5/21 (水)	1限	予防医とは何か(概念、健康や未病の管理、疾病予防):東北大震災を例に						永原 則之
2	5/28 (水)	1限	予防医学について(一次予防、二次予防、三次予防など)						永原 則之
3	6/4 (水)	1限	理学療法士に必要な統計の基礎						永原 則之
4	6/11 (水)	1限	感染症と医療(1)(感染症の成立の要因、予防、院内感染対策など)						永原 則之
5	6/18 (水)	1限	感染症と医療(2)(感染症法など)						永原 則之
6	6/25 (水)	1限	産業保健との関わり(Heinrichの法則、労働衛生管理、保険関連、モニタリング)						永原 則之
7	7/2 (水)	1限	生活習慣病との関わり(悪性新生物、心疾患、肺炎、脳血管障害、健康診断 自殺)						永原 則之
8	7/9 (水)	1限	環境適応医学と環境病(物理・化学・生物学的環境因子による疾病)						永原 則之
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	各講義の授業外の学修時間は3時間必要です。予習として教科書の該当ページを読み、理解し、また該当事項を調べて問題提起をする。また、復習として授業のノートや配布印刷物を見直し、内容を自分のものにする事。								
学修評価の基準と方法	期末試験で評価する。								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	テキスト:「シンプル 衛生公衆衛生学2021」/ 編集:辻 一郎、小山 洋 / 南江堂 「予防医学総復習問題集」を配布する。また、講義では配布印刷物を使用する。								
教員紹介	医師、日本医科大学 准教授、放射性同位元素の法的な管理および施設の運営、使用に関する指導、教育訓練を行っていた。また、平成8年より在宅医療を実践している。専門は環境医学、病態医化学。								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	リハビリテーション医学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	依田 光正								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	火	時限	2		
授業概要	リハビリテーション医学の対象となる疾患は、中枢神経疾患、末梢神経疾患、筋疾患、骨関節疾患、循環・呼吸疾患を含む内部疾患などがある。これらの疾患のうちから主要なものについて、その病態、症状、診断、治療、リハビリテーション治療手段の概要を講義する。								
学修目標	①リハビリテーションで取り扱う疾患の基礎を理解する。 ②リハビリテーションで取り扱う臨床を学ぶ。								
授業方法	テキストを中心に講義を進める。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/9 (火) 2限	脳血管障害1							依田 光正
2	9/16 (火) 2限	" 2							依田 光正
3	9/30 (火) 2限	" 3							依田 光正
4	10/7 (火) 2限	" 4							依田 光正
5	10/14 (火) 2限	脳外傷・脳腫瘍などの脳神経外科的疾患							依田 光正
6	10/21 (火) 2限	脊髄損傷1							依田 光正
7	10/28 (火) 2限	" 2							依田 光正
8	11/4 (火) 2限	" 3							依田 光正
9	11/11 (火) 2限	脳性麻痺など小児疾患							依田 光正
10	11/18 (火) 2限	関節リウマチとその近傍疾患1							依田 光正
11	11/25 (火) 2限	" 2							依田 光正
12	12/2 (火) 2限	神経疾患1							依田 光正
13	12/9 (火) 2限	" 2							依田 光正
14	12/16 (火) 2限	呼吸・循環疾患							依田 光正
15	12/23 (火) 2限	まとめ							依田 光正
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	テキスト該当箇所を予習しておくこと。講義後にテキスト、プリントで復習しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	期末試験の成績による。								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:「リハビリテーション医学テキスト」南江堂 参考書:特に定めない。各領域の専門書を備えておくこと。								
教員紹介	医師、昭和大学教授。昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション科 診療科長								
その他	講義内容の疾患はいずれも臨床実習で遭遇するものであること、国家試験の重要出題領域であることから、専門科目の授業とともに、疾患ごとに十分に整理・復習しておくこと。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法概論Ⅲ (対象と基本的治療手段等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	村岡 功								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	木	時限	1		
授業概要	運動と密接に関連する生理的諸機能(骨格筋機能、神経系機能、内分泌系機能、呼吸循環系機能)を中心としてその概要を講義する。								
学修目標	(1)骨格筋機能が運動やトレーニングに対してどのように応答し適応するのかを理解できるようにする。 (2)神経系機能が運動やトレーニングに対してどのように応答し適応するのかを理解できるようにする。 (3)内分泌(ホルモン)系機能が運動やトレーニングに対してどのように反応し適応するのかを理解できるようにする。 (4)呼吸および循環系機能が運動やトレーニングに対してどのように応答し適応するのかを理解できるようにする。								
授業方法	毎時間ごとに資料を提供するとともに、テキストや参考書も併用しながら、教場において講義形式で授業を行う。また、必要に応じて関連する文献の紹介を行うこととする。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/11 (木)	1限	オリエンテーションおよび運動生理学とは						村岡 功
2	9/18 (木)	1限	骨と骨格筋(微細構造、収縮のエネルギー)の生理学的基礎						村岡 功
3	9/25 (木)	1限	骨格筋の線維タイプと骨格筋の機械的応答						村岡 功
4	10/2 (木)	1限	筋パワーおよび骨格筋機能の発育発達とトレーニングに伴う変化						村岡 功
5	10/9 (木)	1限	筋力増強のメカニズム、筋パワーの発育発達およびトレーニングによる線維タイプの移行						村岡 功
6	10/16 (木)	1限	神経系機能(ニューロンの構造と機能、興奮の伝達)の生理学的基礎						村岡 功
7	10/23 (木)	1限	運動と神経系機能(反射運動、随意運動)および運動学習						村岡 功
8	10/30 (木)	1限	神経系機能の発育発達とトレーニング効果						村岡 功
9	11/6 (木)	1限	内分泌機能(ホルモンの作用機序、各種ホルモンの生理作用)の生理学的基礎						村岡 功
10	11/13 (木)	1限	内分泌機能に及ぼす運動とトレーニングの影響						村岡 功
11	11/20 (木)	1限	免疫系の生理学的基礎と免疫系に及ぼす運動とトレーニングの影響						村岡 功
12	11/27 (木)	1限	呼吸系機能および循環系機能の生理学的基礎						村岡 功
13	12/4 (木)	1限	呼吸循環系機能に及ぼす運動の影響						村岡 功
14	12/11 (木)	1限	筋持久力と全身持久力に関わる生理学的背景および発育発達						村岡 功
15	12/18 (木)	1限	呼吸循環系機能に及ぼすトレーニングの影響						村岡 功
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	各回の予習および復習に要する時間はおよそ2時間である。毎時間ごとに関連する内容を参考書に基づいて予習するとともに、配布する資料と参考書を用いて復習すること。								
評価の 基準と方 法	期末試験(100%)								
試験時期	2026年1月14日(水)~2026年1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:村岡功、林直亨編著、スポーツ指導者に必要な生理学と運動生理学の知識 改訂2版、市村出版 2023年 参考書:村岡功編著:新・スポーツ生理学、市村出版、2015年								
教員紹介	医学博士、早稲田大学名誉教授(元早稲田スポーツ科学学術院教授、元同学術院長兼学部長、元早稲田大学オリンピック・パラリンピック事業推進担当理事)								
その他	運動生理学は動的(運動)状態での生命現象を対象として、そのメカニズムを探究する学問である。あるいは、一過性の運動に対する生体応答と規則的な身体活動(トレーニング)に対する生体適応を明らかにする学問であるとも言える。歴史的には比較的浅く戦後になって急速に発展してきた分野であるが、その背景には健康づくり運動と競技力向上において、スポーツ科学による支援が求められたことにある。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学 I (形態測定と触診)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	和田 桃子								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	水・金	時限	水曜1限/金曜2限		
授業概要	理学療法の基本となる触診および形態測定について、検査、測定に基づく評価法に関する知識を学び、評価技術を身につけることを目的とする。具体的には患者の疾病の特定部位や原因を判断するための筋の触診と骨の触診によるランドマークを基準とした四肢長・周径の評価技術を身につける。また、検査・測定で得られた結果の解釈及び治療の可否などの判断をするために必要な知識を習得することを目標とする。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 触診および形態測定における基本的な知識を理解する。</li> <li>2. 骨、筋、血管、神経の触診技術を習得する。</li> <li>3. 四肢長・周径の評価技術を習得する。</li> <li>4. 評価で得られた情報の解釈や判断を行うことができる。</li> </ol>								
授業方法	パワーポイントと配布印刷物を活用しながら講義や演習を実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/2 (水) 1限	形態測定の概要、骨の触診(ランドマークを中心に)							和田
2	4/4 (金) 2限	四肢長測定①							和田
3	4/9 (水) 1限	四肢長測定②							和田
4	4/11 (金) 2限	四肢長測定③							和田
5	4/16 (水) 1限	周径①							和田
6	4/18 (金) 2限	周径②							和田
7	4/23 (水) 1限	周径③							和田
8	4/25 (金) 2限	実技テスト							和田
9	4/30 (水) 1限	上肢の触診(筋)①							和田
10	5/2 (金) 2限	上肢の触診(筋)②							和田
11	5/7 (水) 1限	下肢の触診(筋)①							和田
12	5/9 (金) 2限	下肢の触診(筋)②							和田
13	5/14 (水) 1限	体幹の触診(骨・筋)①							和田
14	5/16 (金) 2限	体幹の触診(骨・筋)②							和田
15	未定	実技テスト							和田
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習:毎回の講義前に対象となる部位の解剖学(骨・筋の名称)を復習すること。 復習:前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(筆記):80% 実技試験:20%								
試験時期	筆記試験については定期試験期間内に行う。実技試験については日程を調整して行う。								
テキスト・参考書	運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版:林典雄. メジカルビュー社. 運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第2版:林典雄. メジカルビュー社. 理学療法評価学 改訂第6版:松澤正/江口勝彦. 金原出版株式会社 標準理学療法学 第3版:シリーズ監修 奈良勲. 株式会社医学書院								
教員紹介	担当教員は、スポーツクリニックでアスリートのリハビリや、スポーツ現場でアスレティックトレーナーとしての活動経験がある。								
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習が実施可能な服装で授業を受けること(Tシャツ、短パンは必ず準備しておく)。</li> <li>・触診の準備:対象者に触れるため、爪を切っておく、マニキュアはオフにする、長い髪は束ねておく。</li> <li>・講義の進捗状況により、講義内容を変更する可能性がある。</li> </ul>								

# 講 義 要 項

科目名	日常生活活動学概論						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	畠山 靖尚								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	木	時限	2		
授業概要	対象者に日常生活活動(ADL)の練習が出来るようになるための基本的知識を習得することを目的とする。そのために、基本的ADLと生活関連活動の概要、評価方法を知り、リハビリテーションにおける位置づけを明確にする。ADL練習をするための手段や方法を学び、QOLとの関連性を考えられるようになることを目標とする。								
学修目標	ADLに関する基本的知識を理解し、ADL練習を実施できる。 1. ADLの重要性を理解し、その評価法を把握することができる 2. ADL練習を実施するための具体的な手段や方法が分かる 3. 疾患の特性に合わせたADL練習を実施できる								
授業方法	講義やグループワーク、ディスカッションを取り入れながら、講義や演習を実施。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	ADLの歴史と概念								畠山
2	ICIDH・ICF								畠山
3	ADL評価								畠山
4	QOL評価 車椅子①								畠山
5	車椅子①、②								畠山
6	車椅子② 歩行補助具①								畠山
7	歩行補助具①								畠山
8	歩行補助具②								畠山
9	歩行補助具③								畠山
10	歩行補助具 実技テスト								畠山
11	介助方法①								畠山
12	介助方法②								畠山
13	介助方法③								畠山
14	介助方法④ 実技テスト								畠山
15	総括								畠山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 毎回の講義前に参考書等の関連部分を熟読すること 復習: 講義後、配布資料および参考書等を再読し、理解を深める								
学修評価の 基準と方法	定期試験 80% 実技試験 20%								
試験時期	筆記試験については定期試験に行う。								
テキスト・参考書	参考書: PTOTビジュアルテキスト ADL 第2版: 柴 喜崇 編集. 羊土社. ISBN978-4-7581-0256-8								
	参考書: 日常生活活動学・生活環境学 第5版: 奈良 勲 監修. 医学書院. ISBN978-4-260-03256-8								
教員紹介	担当教員は急性期・回復期病院に勤務した経験があり、現在病院勤務・地域貢献と活動している。 実務経験に基づいた授業を展開する。修士: 人間科学口								
その他	・実技の際は動きやすい服装で出席すること ・質問は、講義終了後もしくは適宜								

# 講 義 要 項

科目名	地域理学療法学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	2	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	木倉 将成								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	月	時限	2		
授業概要	理学療法士は地域包括ケアシステムにおいて、地域での活躍が望まれている。理学療法士の地域における役割の理解と職域について理解、地域理学療法に関する制度概要地域で行う評価から介入までの基本理論と実践方法を学ぶことを目標とする。								
学修目標	①地域理学療法に関する制度概要を学ぶ ②地域理学療法で行う評価から介入を学ぶ ③サービス種別の対象者支援や生活環境の整備を学ぶ ④街づくりにおける理学療法士の役割を学ぶ								
授業方法	・講義を中心にすすめる ・グループワーク、実技演習を行う								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/7 (月) 2限	地域における理学療法士の役割							木倉
2	4/14 (月) 2限	介護保険制度の理解							木倉
3	4/21 (月) 2限	地域での理学療法評価							木倉
4	4/28 (月) 2限	サービス種別にみる地域理学療法の実際〈訪問理学療法〉							木倉
5	5/12 (月) 2限	サービス種別にみる地域理学療法の実際〈通所系サービス〉							木倉
6	5/19 (月) 2限	サービス種別にみる地域理学療法の実際〈入所系サービス〉							木倉
7	5/26 (月) 2限	生活環境の整備							木倉
8	6/2 (月) 2限	運動器疾患にみる地域理学療法の特異性							木倉
9	6/9 (月) 2限	疾患別にみる地域理学療法の特異性〈中枢神経系〉							木倉
10	6/16 (月) 2限	疾患別にみる地域理学療法の特異性〈運動器疾患〉							木倉
11	6/23 (月) 2限	疾患別にみる地域理学療法の特異性〈循環器疾患〉							木倉
12	6/30 (月) 2限	疾患別にみる地域理学療法の特異性〈悪性腫瘍〉							木倉
13	7/7 (月) 2限	小児領域の地域理学療法							木倉
14	7/14 (月) 2限	地域における地域理学療法研究							木倉
15	7/28 (月) 2限	まとめ							木倉
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 毎回の講義前に指定された参考書の関連部分を熟読すること 復習: 講義後、配布資料および参考書を再読し、理解を深める								
学修評価の 基準と方法	本試験80%小テスト20%								
試験時期	前期期末試験期間								
テキスト・参考書	牧迫飛雄馬, 吉松竜貴(編著)『最新理学療法学講座 地域理学療法学』医歯薬出版, 2021. ISBN978-4-263-26734-9 C3347								
教員紹介	担当教員は急性期・回復期病院、訪問看護ステーションに勤務した経験があり、現在は総合病院・地域貢献と活動している。 実務経験に基づいた授業を展開する。								
その他	・質問は、講義終了後もしくは適宜対応する。・授業開始時刻から30分以内の入室は「遅刻」扱いになります。・授業の進捗状況により内容が変更になる可能性あり。								

2025 年度  
講 義 要 領  
(シラバス)

理学療法学科  
夜間部 3 年生



専門学校東京医療学院

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学Ⅱ(バイタルサインと関節可動域測定)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	小堺秀樹								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	金	時限	2		
授業概要	理学療法を実施する上で欠かせないリスク管理を行うためのバイタルサイン測定の意義などを理解し、その評価技術を身につける。また、全ての疾患に共通する関節について、評価方法に関する知識を学ぶとともに、関節可動域を検査し記録する評価技術を身につけることを目標とする。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理学療法実施に必要なバイタルサインが測定できる。</li> <li>2. 関節可動域の評価法を理解する。</li> <li>3. 関節可動域が測定・記録できる。</li> </ol>								
授業方法	講義: 視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。 演習: 配布印刷物、参考書を参照しながらグループで行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/4 (金) 2限	フィジカルアセスメント総論							小堺
2	4/11 (金) 2限	バイタルサイン①							小堺
3	4/18 (金) 2限	バイタルサイン②							小堺
4	4/25 (金) 2限	関節可動域測定総論							小堺
5	5/2 (金) 2限	関節可動域測定(上肢)①							小堺
6	5/9 (金) 2限	関節可動域測定(上肢)②							小堺
7	5/16 (金) 2限	関節可動域測定(上肢)③							小堺
8	5/23 (金) 2限	関節可動域測定(上肢)まとめ							小堺
9	5/30 (金) 2限	関節可動域測定(下肢)①							小堺
10	6/6 (金) 2限	関節可動域測定(下肢)②							小堺
11	6/13 (金) 2限	関節可動域測定(下肢)③							小堺
12	6/20 (金) 2限	関節可動域測定(下肢)まとめ							小堺
13	6/27 (金) 2限	関節可動域測定(頸部・体幹)①							小堺
14	7/4 (金) 2限	関節可動域測定(頸部・体幹)②							小堺
15	7/11 (金) 2限	関節可動域測定(頸部・体幹)まとめ							小堺
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	予習: 解剖学、生理学、運動学の知識を確認。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点は質問し解決する。加えて、技術の習得のため反復練習を行う。								
学修評価の基準と方法	筆記試験: 70%、実技試験: 30%。								
試験時期	筆記試験: 定期試験期間内に実施、実技試験: 日程調整して行う。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。 参考書: 図解理学療法検査・測定ガイド第2版 奈良勲・他(編) 文光堂 ISBN978-4-8306-4359-0 参考書: 理学療法評価学改訂第6版 松澤正・他(著) 金原出版 ISBN978-4-307-75054-7								
教員紹介	担当教員は理学療法士として医療提供施設(病院、診療所、介護老人保健施設等)に勤務した経験があり、実務経験に基づいて理学療法評価の習得に向けた授業を展開する。修士(学術)。								
その他	演習を行うことが可能な服装が好ましい。 授業前後に時間を設定し、学生同士で反復練習を行うことを期待する。 講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学Ⅲ(中枢神経の評価等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	山本 純一郎								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	火	時限	1		
授業概要	理学療法評価のうち、中枢神経疾患に関する各評価方法に関して、各々の原理、目的、方法、結果の記録と解釈について知識と技術を身につける。主に、脳血管障害を想定したなかでの理学療法評価が実践できるようにする。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳血管疾患、神経筋疾患などの特徴について理解できる。</li> <li>2. 中枢神経疾患に関する評価方法を理解できる。</li> <li>3. 中枢神経疾患に対しての理学療法評価を活用できる。</li> </ol>								
授業方法	テキスト、配付印刷物を使い講義する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8 (火) 1限	概要 (脳血管障害の評価)							山本
2	4/15 (火) 1限	意識障害に対する評価							山本
3	4/22 (火) 1限	運動麻痺							山本
4	4/29 (火) 1限	片麻痺機能検査①							山本
5	5/13 (火) 1限	片麻痺機能検査②							山本
6	5/20 (火) 1限	感覚障害							山本
7	5/27 (火) 1限	感覚検査①							山本
8	6/3 (火) 1限	感覚検査②							山本
9	6/10 (火) 1限	腱反射・病的反射①							山本
10	6/17 (火) 1限	腱反射・病的反射②							山本
11	6/24 (火) 1限	筋緊張検査							山本
12	7/1 (火) 1限	協調性検査①							山本
13	7/8 (火) 1限	協調性検査②							山本
14	7/15 (火) 1限	脳神経検査①							山本
15	7/22 (火) 1限	脳神経検査②							山本
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 毎回の講義前に指定された参考書などの関連部分を熟読しておくこと。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(筆記)(80%)。 小テスト(20%)。								
試験時期	筆記試験については定期試験期間内に行う。小テストについては講義期間内に適宜行う。								
テキスト・参考書	テキスト: PT臨床評価ガイド: 医学書院. ISBN978-4-260-04295-6 参考書: 理学療法評価学 第6版補訂版: 松澤正/江口勝彦. 金原出版. ISBN978-4-307-75068-4 参考書: 神経理学療法学 第3版: 奈良勲 監修. 医学書院. ISBN978-4-260-04989-4								
教員紹介	担当教員は回復期リハビリテーション病院に勤務した経験があり、現在も回復期病棟で活動を継続している。実務経験に基づいて、神経学的な視座で授業を展開する。修士取得(保健医療学)。								
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技の際は四肢を出しやすく、動きやすい服装で出席すること</li> <li>・講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。</li> </ul>								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学IV（身体機能評価等）						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	和田 桃子								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	水	時限	2		
授業概要	理学療法評価のうち身体機能評価における基本的な検査について、各々の原理、目的、方法、結果の記録とその解釈について知識と技術を習得する。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各検査・測定における基本的な知識を理解する。</li> <li>2. 各検査・測定における評価技術を習得する。</li> <li>3. 評価で得られた情報の解釈や判断を行うことができる。</li> </ol>								
授業方法	テキスト、配付印刷物を使い講義する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/2	(水)	2限	疼痛評価					和田
2	4/9	(水)	2限	バランステスト					和田
3	4/16	(水)	2限	整形外科テスト（体幹）					和田
4	4/23	(水)	2限	整形外科テスト（体幹）					和田
5	4/30	(水)	2限	整形外科テスト（上肢）					和田
6	5/7	(水)	2限	整形外科テスト（上肢）					和田
7	5/14	(水)	2限	実技テスト					和田
8	5/21	(水)	2限	整形外科テスト（下肢）					和田
9	5/28	(水)	2限	整形外科テスト（下肢）					和田
10	6/4	(水)	2限	姿勢					和田
11	6/11	(水)	2限	実技テスト					和田
12	6/18	(水)	2限	歩行観察・分析（グループワーク）					和田
13	6/25	(水)	2限	歩行観察・分析（グループワーク）					和田
14	7/2	(水)	2限	歩行観察・分析（グループワーク・発表）					和田
15	7/9	(水)	2限	まとめ					和田
準備学修 （予習・復習）等の 内容と分量	予習：毎回の講義前に指定された参考書などの関連部分を熟読しておくこと。 復習：前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	定期試験（筆記）75%/実技試験・グループワーク25%								
試験時期	定期試験期間内に実施								
テキスト・参考書	テキスト：なし、配布プリントあり								
	参考書：随時紹介								
教員紹介	担当教員は、スポーツクリニックでアスリートのリハビリや、スポーツ現場でアスレティックトレーナーとしての活動経験がある。								
その他	演習が実施可能な服装で授業を受けること（Tシャツ、短パンが望ましい）。 講義の進捗状況により、講義内容を変更する可能性がある。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学Ⅴ(徒手筋力検査等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	齋藤 雄								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	金	時限	1		
授業概要	理学療法評価学で学習したことを踏まえ、全身の筋力を検査し記録する徒手筋力検査法に基づく評価技術を身につける。								
学修目標	1. 徒手筋力検査法を理解し実施できる。 2. 徒手筋力検査法を対象者の病態に合わせ実施できる。								
授業方法	テキストとパワーポイントを用いて講義と演習を交え進めていく								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/4 (金) 1限	徒手筋力検査法概要講義							齋藤
2	4/11 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(上肢:肩関節①)							齋藤
3	4/18 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(上肢:肩関節②)							齋藤
4	4/25 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(上肢:肘関節/前腕①)							齋藤
5	5/2 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(上肢:肘関節/前腕②)							齋藤
6	5/9 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(上肢:手関節/母指/手指①)							齋藤
7	5/16 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(上肢:手関節/母指/手指②)							齋藤
8	5/23 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(下肢:股関節①)							齋藤
9	5/30 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(下肢:股関節②)							齋藤
10	6/6 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(下肢:股関節③)							齋藤
11	6/13 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(下肢:膝関節)							齋藤
12	6/20 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(下肢:足関節①)							齋藤
13	6/27 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(下肢:足関節②)							齋藤
14	7/4 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(体幹)							齋藤
15	7/11 (金) 1限	徒手筋力検査法演習(手指)							齋藤
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	授業前に骨・筋を復習して授業に参加すること。各筋の触診は必ず事前に確認しておくこと。毎回の授業後には繰り返し練習しておくこと。								
学修評価の基準と方法	期末試験(筆記):70% 実技試験:30%								
試験時期	筆記試験については定期試験期間内に行う。実技試験については日程を調整して行う。								
テキスト・参考書	テキスト:協同医書出版社『新・徒手筋力検査法 第10版』 参考書:適宜紹介する								
教員紹介	担当教員は、総合病院(急性期/回復期/維持期/在宅)・介護老人保健施設での勤務経験があり、実務経験に基づいた授業を行っている。修士(老年学)。								
その他	・実技の際は四肢を出しやすく、動きやすい服装で出席すること ・講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。 ・正当な理由なく30分以上の遅刻3回で欠席1回とする。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法評価学VI(画像評価等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30 授業形態	講義
担当教員	小堺秀樹							
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	月	時限	2	
授業概要	各種画像および臨床検査値と病態の結びつきを理解する。画像の見方、その所見と臨床検査値の持つ意味を知り、理学療法実施の際のリスク管理、予後予測等に要求される能力を身につけることを目標とする。							
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種画像および臨床検査値と病態との関連を理解する。</li> <li>2. 画像所見を理解し、理学療法実施の際のリスク管理ができる。</li> <li>3. 画像所見を理解し、理学療法実施の際の予後予測ができる。</li> </ol>							
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。							
授業計画								
NO	授業内容							担当教員
1	4/7 (月) 2限	総論						小堺
2	4/14 (月) 2限	正常画像(1)						小堺
3	4/21 (月) 2限	正常画像(2)						小堺
4	4/28 (月) 2限	運動器系疾患(1)						小堺
5	5/12 (月) 2限	運動器系疾患(2)						小堺
6	5/19 (月) 2限	運動器系疾患(3)						小堺
7	5/26 (月) 2限	運動器系疾患(4)						小堺
8	6/2 (月) 2限	運動器系疾患(5)						小堺
9	6/9 (月) 2限	中枢神経系疾患(1)						小堺
10	6/16 (月) 2限	中枢神経系疾患(2)						小堺
11	6/23 (月) 2限	中枢神経系疾患(3)						小堺
12	6/30 (月) 2限	中枢神経系疾患(4)						小堺
13	7/7 (月) 2限	呼吸器・循環器系疾患(1)						小堺
14	7/14 (月) 2限	呼吸器・循環器系疾患(2)						小堺
15	未定	呼吸器・循環器系疾患(3)						小堺
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	予習: 2年次に履修した「画像診断学」の知識を確認。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点は質問し解決する。							
学修評価の基準と方法	筆記試験: 100%。							
試験時期	定期試験期間内に実施。							
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。 参考書: ジェネラリストを目指す人のための 画像診断パワフルガイド 第2版 山下康行 メディカルサイエンスインターナショナル ISBN978-4-8157-3054-3							
教員紹介	担当教員は理学療法士として医療提供施設(病院、診療所、介護老人保健施設等)に勤務した経験があり、実務経験に基づいて理学療法評価の習得に向けた授業を展開する。修士(学術)。							
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。							

# 講 義 要 項

科目名	基礎運動療法学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	村岡 功								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	木	時限	1		
授業概要	スポーツ生理学では動的(スポーツ)状態での生命現象のメカニズムを取り扱うとともに、競技種目におけるそれぞれの特性について講義する。								
学修目標	(1)スポーツに関わる能力やパフォーマンス(競技力)は遺伝や環境およびトレーニングによって、それぞれの程度影響されるのかを理解する。(2)スポーツに関わる能力に対するトレーニングおよびエルゴジェニックエイド(競技力向上の補助手段)の影響を理解する。(3)トレーニングによって生じる疲労の影響そして発生する可能性のあるオーバートレーニング症候群の影響を理解する。(4)競技スポーツにおいて根絶が難しいと言われるドーピングの問題を理解する。								
授業方法	毎時間ごとに資料を提供するとともに、テキストや参考書を併用しながら、教場において講義形式で授業を行う。また必要に応じて関連する文献の紹介を行うこととする。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3 (木)	1限	オリエンテーションおよびスポーツ生理学とは						村岡 功
2	4/10 (木)	1限	生活習慣病の予防と身体活動						村岡 功
3	4/17 (木)	1限	スポーツと遺伝						村岡 功
4	4/24 (木)	1限	スポーツと体カトレーニング						村岡 功
5	5/1 (木)	1限	スポーツとエネルギー代謝						村岡 功
6	5/8 (木)	1限	スポーツと水分摂取						村岡 功
7	5/15 (木)	1限	スポーツと糖質摂取						村岡 功
8	5/22 (木)	1限	スポーツとアミノ酸およびクレアチン摂取						村岡 功
9	5/29 (木)	1限	スポーツにおけるウォーミングアップとクーリングダウン						村岡 功
10	6/5 (木)	1限	スポーツと環境および高地トレーニング①						村岡 功
11	6/12 (木)	1限	スポーツと高地トレーニング②および低酸素室居住						村岡 功
12	6/19 (木)	1限	スポーツと疲労およびオーバートレーニング						村岡 功
13	6/26 (木)	1限	スポーツとデイトレーニング						村岡 功
14	7/3 (木)	1限	血液ドーピングと酸素吸入						村岡 功
15	7/10 (木)	1限	スポーツとドーピング						村岡 功
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	毎回の予習および復習に要する時間はおよそ2時間である。毎時間ごとに関連する内容をテキストおよび参考書に基づいて予習するとともに、配布する資料とテキストおよび参考書を用いて復習すること。								
学習評価の基準と方法	期末試験(100%)								
試験時期	2025年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	【テキスト】新・スポーツ生理学(2015年) 村岡 功編著/市村出版 【参考書】スポーツ指導者に必要な生理学と運動生理学の知識(2023年)村岡功/林直亨編著 改訂2版、市村出版								
教員紹介	医学博士、早稲田大学名誉教授(元早稲田スポーツ科学学術院教授、元同学術院長兼学部長、元早稲田大学オリンピック・パラリンピック事業推進担当理事)								
その他	運動生理学が骨格筋や心臓といったように臓器を軸として論を展開するのに対して、スポーツ生理学では、短距離種目や長距離種目、あるいは筋力系種目と言ったようにスポーツ(競技)種目を軸に展開することにある。つまり、スポーツ生理学では、運動生理学の知識を活用して、競技者をトレーニングし、いかに競技力を向上させるかが中心的課題となり、そして、競技種目別にそれぞれの競技特性を理解することにあると言える。								

# 講 義 要 項

科目名	神経系理学療法概論						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	山本 純一郎								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	月	時限	1		
授業概要	中枢神経障害は多くの機能形態障害を重複した障害像を示し、全体的な障害像をイメージすることが難しい。中枢神経障害を呈する脳血管疾患、神経筋疾患等の障害像を学び、理学療法を実施できるようになることを目標とする。主として脳血管疾患を取り上げ、これらの疾患の基本的な理学療法評価と治療理念を習得する。最終的には、障害別・病期別の理学療法アプローチについて理解を深めることを目的とする。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中枢神経障害について理解できる。</li> <li>2. 脳血管疾患、神経筋疾患などの特徴について理解できる。</li> <li>3. 各疾患における特有の検査や理学療法評価について理解できる。</li> <li>4. 障害別、病期別の理学療法アプローチに結び付けられるような思考を形成できる。</li> </ol>								
授業方法	テキスト、配付印刷物を使い講義する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/7 (月) 1限	総論① (中枢神経系の機能解剖)							山本
2	4/14 (月) 1限	総論② (脳血管障害の障害構造／各病期における脳血管障害の理学療法)							山本
3	4/21 (月) 1限	脳画像① (脳画像の概要)							山本
4	4/28 (月) 1限	脳画像② (脳画像における各スライス)							山本
5	5/12 (月) 1限	脳画像③ (代表的な脳画像)							山本
6	5/19 (月) 1限	高次脳機能障害に対する理学療法① (総論)							山本
7	5/26 (月) 1限	高次脳機能障害に対する理学療法① (失語／失行)							山本
8	6/2 (月) 1限	高次脳機能障害に対する理学療法② (失認／注意障害)							山本
9	6/9 (月) 1限	高次脳機能障害に対する理学療法③ (半側空間無視／pusher症候群)							山本
10	6/16 (月) 1限	脳血管障害に対する理学療法①							山本
11	6/23 (月) 1限	脳血管障害に対する理学療法②							山本
12	6/30 (月) 1限	パーキンソン病の概要							山本
13	7/7 (月) 1限	パーキンソン病に対する評価と理学療法							山本
14	7/14 (月) 1限	失調の概要							山本
15	未定	失調に対する評価と理学療法							山本
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 毎回の講義前に指定された参考書などの関連部分を熟読しておくこと。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	期末試験(筆記)(100%)。								
試験時期	筆記試験については定期試験期間内に行う。								
テキスト・参考書	テキスト: 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版: メジカルビュー社. ISBN978-4-89632-686-4 参考書: 中枢神経障害理学療法学テキスト 改訂第3版: 細田多穂 監修. 南江堂. ISBN978-4-524-25257-2 参考書: 脳卒中理学療法の理論と技術 改訂第3版: 原寛美編集. メジカルビュー社. ISBN978-4-7583-1936-2								
教員紹介	担当教員は回復期リハビリテーション病院に勤務した経験があり、現在も回復期病棟で活動を継続している。実務経験に基づいて、神経学的な視座で授業を展開する。修士取得(保健医療学)。								
その他	・実技の際は四肢を出しやすく、動きやすい服装で出席すること ・講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	神経系理学療法治療学 I (脳血管障害)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	山本純一郎								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	金	時限	2		
授業概要	中枢神経障害のなかでも、理学療法の対象となる頻度の高い脳卒中片麻痺の病態・障害像を理解し、その評価および治療技術の習得を目的とする。特に、専門基礎科目で学んだ健常者の動作分析をもとに、疾患の特徴的な動作を理解して、治療理論を学習すること。								
学修目標	脳卒中片麻痺に対する理学療法評価の目的と方法を理解し、運動療法を実施できる。 1. 脳卒中片麻痺の障害像の理解と病態把握ができる 2. 脳卒中片麻痺の病態に合わせたプログラムの立案ができる 3. 脳卒中片麻痺の運動療法が実施できる								
授業方法	グループワーク、ディスカッションを取り入れながら、講義や演習を実施。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	基本動作練習 (寝返り/起き上がり)								山本
2	基本動作練習 (端座位/立ち上がり)								山本
3	基本動作練習 (立位姿勢/立位バランス)								山本
4	functional training①								山本
5	functional training②								山本
6	個別的治療練習 (ROM練習/ストレッチング練習/モビライゼーション)								山本
7	個別的治療練習 (筋力強化練習)								山本
8	運動学習								山本
9	基本動作練習・functional trainingのまとめ (グループワーク) ※レポート課題								山本
10	脳血管障害における異常歩行								山本
11	脳血管障害に対する歩行練習 (平行棒歩行/杖歩行/応用歩行)								山本
12	摂食・嚥下①								山本
13	摂食・嚥下②								山本
14	ポジショニング								山本
15	嚥下・摂食/ポジショニング (実技)								山本
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 毎回の講義前に参考書等の関連部分を熟読すること 復習: 講義後、配布資料および参考書等を再読し、理解を深める								
学修評価の 基準と方法	定期試験 80% レポート20%								
試験時期	後期末試験期間								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない 中枢神経障害理学療法学テキスト 改訂第3版: 細田多穂 監修, 南江堂, ISBN978-4-524-25257-2 脳卒中理学療法の理論と技術 改訂第4版: 原寛美編集, メジカルビュー社, ISBN978-4-7583-2039-9								
教員紹介	担当教員は回復期リハビリテーション病院に勤務した経験があり、現在も回復期病棟で活動を継続している。実務経験に基づき、臨床実習に向けた知識や技術の習得を目的に講義を行う								
その他	・実技の際は四肢を出しやすく、動きやすい服装で出席すること ・レポートについては、提出期限を厳守すること(遅れた場合は、採点対象外とする) ・質問は、講義終了後もしくは適宜								

# 講 義 要 項

科目名	神経系理学療法治療学Ⅱ(神経筋疾患等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	齋藤 雄								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	金	時限	1		
授業概要	「難病」と呼ばれる神経・筋疾患の症例は、臨床の現場でも担当する機会が大変多くある。原因は様々で、まだ解明されていない疾患も大変多く存在する。数ある神経・筋疾患の中でも、臨床の現場で比較的多く見られる疾患にフォーカスし、病態理解、リハビリテーション評価と治療プログラムについて講義を行なう。								
学修目標	疾患の特徴を理解したうえで神経・筋疾患の理学療法について学習し、各疾患における評価・治療プログラム立案を実施できるようになる。								
授業方法	パワーポイントと配布印刷物を活用しながら講義や演習を実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	神経系の構造と基礎								齋藤 雄
2	脱髄性疾患								齋藤 雄
3	多発性硬化症								齋藤 雄
4	末梢神経障害								齋藤 雄
5	ギランバレー症候群								齋藤 雄
6	脊髄小脳変性症								齋藤 雄
7	筋疾患								齋藤 雄
8	多発性筋炎・皮膚炎								齋藤 雄
9	筋ジストロフィーの概要								齋藤 雄
10	筋ジストロフィーの評価/治療								齋藤 雄
11	筋強直性ジストロフィー								齋藤 雄
12	筋萎縮性側索硬化症の概要								齋藤 雄
13	筋萎縮性側索硬化症の評価/治療								齋藤 雄
14	重症筋無力症								齋藤 雄
15	まとめ								齋藤 雄
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習:プリント・テキストに目を通しておくこと。 復習:必ずプリントやテキストを読み返しておくこと。								
学修評価の 基準と方法	小テスト(30%)・期末試験(筆記)による評価(70%)で評価する。								
試験時期	筆記試験については定期試験期間内に行う。								
テキスト・参考書	参考書:神経障害理学療法学Ⅱ(Crosslink 理学療法テキスト) MEDICAL VIEW 参考書:病気がみえる vol.7 脳・神経 メディックメディア								
教員紹介	担当教員は、総合病院(急性期/回復期/維持期/在宅)・介護老人保健施設での勤務経験があり、実務経験に基づいた授業を行っていく。修士(老年学)。								
その他	正当な理由なく30分以上の遅刻3回で欠席1回とする。 講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	神経系理学療法治療学Ⅲ(脊髄損傷等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	畠山 靖尚 他外部講師								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	月	時限	1		
授業概要	脊髄損傷に対する理学療法が行えるようになるための必要な知識を身につけることを目的とする。脊髄損傷における各残存レベルでの病態(症状、障害)をイメージし、それらに対応する動作・ADLについて理解する。また、脊髄損傷者モデルを通じ、理学療法評価、運動療法等を学ぶ								
学修目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な脊髄解剖・神経症状・レベルを理解し、脊髄損傷の病態を把握する</li> <li>・脊髄損傷患者の合併症と各種管理方法を理解できる</li> <li>・脊髄損傷の理学療法評価と治療を立案できる</li> </ul>								
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義を中心にすすめる。適宜グループワークを取り入れていく。</li> <li>・具体的な運動療法については、実技を中心にすすめる</li> </ul>								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	総論 脊髄の解剖・神経症状・レベル／病態								畠山
2	脊髄損傷の神経学的評価と予後予測								畠山
3	脊髄損傷の理学療法評価 損傷高位とADL								畠山
4	脊髄損傷の合併症と管理								畠山
5	急性期の運動療法								畠山
6	回復期の運動療法 ①(座位／プッシュアップ)								畠山
7	回復期の運動療法 ②(寝返り／起き上がり／移乗動作)								畠山
8	脳血管疾患における理学療法の評価								外部講師
9	脳血管疾患における理学療法の実践								外部講師
10	骨関節障害における理学療法の評価								外部講師
11	骨関節障害における理学療法の実践								外部講師
12	老年期障害における理学療法の評価								外部講師
13	老年期障害における理学療法の実践								外部講師
14	神経筋障害における理学療法の評価								外部講師
15	神経筋障害における理学療法の実践								外部講師
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	予習: 毎回の講義前に指定された参考書の関連部分を熟読すること。また動画で脊髄損傷者の病態を確認すること。 復習: 講義後、配布資料を再読し、理解を深めること。								
学修評価の基準と方法	本試験100%(畠山担当のみ)								
試験時期	後期末試験期間中								
テキスト・参考書	参考書   中枢神経障害理学療法学テキスト 改訂第3版: 細田多穂 監修. 南江堂. ISBN978-4-524-25257-2								
	参考書   脊髄損傷理学療法マニュアル第3版: 岩崎洋 編著. 文光堂. ISBN978-4-8306-4581-5								
教員紹介	担当教員は急性期・回復期病院と勤務した経験があり、現在、病院勤務・地域貢献と活動している。実務経験に基づいた授業を展開する。修士: 人間科学 他外部講師あり								
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本講義日程は、特別講義があるため適宜変更あり。</li> <li>・日程が決まり次第随時連絡する。欠席回数に注意すること。</li> <li>・実技の際は動きやすい服装で出席すること。</li> <li>・質問は、講義終了後もしくは適宜対応する。</li> </ul>								

# 講 義 要 項

科目名	運動器系理学療法学概論						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	○田中尚喜、梅村悟、中島啓介								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	火	時限	2		
授業概要	高齢者の中で要介護者、要支援者の多くは、運動器に問題がある方が多く、これらの疾患の評価と対応が必要となる。同時に、これらの疾病を予防することで要介護者を減少することにも繋がる。これら運動器疾患のアウトラインを押さえること、実際に確認していきたいと考えております。								
学修目標	①運動疾患の評価ができるようになる。 ②運動プログラムを立案できる。								
授業方法	プロジェクターを使用して講義を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/8 (火) 2限	総論							田中尚喜
2	4/15 (火) 2限	骨折・外傷・脊椎損傷							田中尚喜
3	4/22 (火) 2限	RA・膠原病							中島啓介
4	4/29 (火) 2限	腰脊椎疾患							田中尚喜
5	5/13 (火) 2限	股関節1							中島啓介
6	5/20 (火) 2限	股関節2							中島啓介
7	5/27 (火) 2限	膝関節 1							田中尚喜
8	6/3 (火) 2限	膝関節 2							田中尚喜
9	6/10 (火) 2限	足関節、足部							梅村悟
10	6/17 (火) 2限	肩関節・肘							梅村悟
11	6/24 (火) 2限	スポーツ1							梅村悟
12	7/1 (火) 2限	スポーツ2							梅村悟
13	7/8 (火) 2限	高齢者運動器不安定症を中心として							田中尚喜
14	7/15 (火) 2限	歩行							田中尚喜
15	7/22 (火) 2限	まとめ							田中尚喜
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	整形外科のアウトラインを確認しておくこと								
学修評価の 基準と方法	筆記試験:100%。								
試験時期	定期試験期間内に実施。								
テキスト・参考書									
教員紹介	下北沢病院 歩行分析室 田中尚喜(室長) ライオンズ整形外科クリニック リハビリテーション科 梅村悟(リハビリ室長 理学療法士) JCHO埼玉メディカルセンター リハビリテーション部 中島啓介(主任理学療法)								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	運動器系理学療法治療学Ⅰ(上肢)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	和田 桃子								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火	時限	1		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上肢の運動器疾患の運動療法を行えるようになるため、必要な基礎知識を身につけることを目的とする。</li> <li>・各運動器疾患に求められる医学的知識、理学療法評価、治療概念を学習する。</li> </ul>								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.上肢の運動器疾患について理解する。</li> <li>2.上肢の運動器疾患における理学療法評価、治療方針を理解する。</li> </ol>								
授業方法	講義: 視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。 演習: 配布印刷物を参考にしながら実技を実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	肩関節機能解剖								和田
2	肩関節機能解剖②								和田
3	肩関節機能評価								和田
4	肩関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価①(脱臼①)								和田
5	肩関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価②(脱臼②)								和田
6	肩関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価③(インピンジメント症候群)								和田
7	肩関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価④(腱板損傷)								和田
8	肩関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価⑤(凍結肩)								和田
9	肩関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価⑤(上腕骨近位部骨折)								和田
10	肩関節のリハビリテーション								和田
11	肘関節機能解剖								和田
12	肘関節の主な疾患、治療方針、理学療法評価(肘関節疾患)								和田
13	実技テスト								和田
14	グループワーク								和田
15	グループワーク								和田
	予習: 解剖学、生理学、運動学を復習して授業に臨む。 復習: 前回授業の見直し、疑問点・不明点の解決を行う。								
学修評価の 基準と方法	定期試験80%、実技試験20%								
試験時期	定期試験期間内に実施								
テキスト・参考書	テキスト: 実施しない、配布プリントあり								
	参考書: 随時紹介								
教員紹介	担当教員は、スポーツクリニックでアスリートのリハビリ担当や、スポーツ現場でアスレティックトレーナーとしての活動経験がある。								
その他	演習が実施可能な服装で授業を受けることが望ましい。 講義の進捗状況により、講義内容を変更する可能性がある。								

# 講 義 要 項

科目名	運動器系理学療法治療学Ⅱ(下肢)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	齋藤 雄、和田 桃子								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火	時限	2		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢の運動器疾患の運動療法を行えるようになるため、必要な基礎知識を身につけることを目的とする。</li> <li>・各運動器疾患に求められる医学的知識、理学療法評価、治療概念を学習する。</li> </ul>								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.下肢の運動器疾患について理解する。</li> <li>2.下肢の運動器疾患における理学療法評価、治療方針を理解する。</li> </ol>								
授業方法	講義: 視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。 演習: 配布印刷物を参考にしながら実技を実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	膝関節の機能解剖								和田
2	膝関節の主な疾患、治療方針、理学療法評価①(変形性膝関節症 保存療法)								和田
3	膝関節の主な疾患、治療方針、理学療法評価②(変形性膝関節症 観血的療法)								齋藤
4	膝関節の主な疾患、治療方針、理学療法評価③(変形性膝関節症 観血的療法)								齋藤
5	膝関節の主な疾患、治療方針、理学療法評価④(靭帯損傷)								和田
6	足関節・足部の機能解剖								和田
7	足関節・足部の主な疾患、治療方針、理学療法評価①(足関節捻挫)								和田
8	足関節・足部の主な疾患、治療方針、理学療法評価②(足部障害①)								和田
9	股関節の機能解剖								和田
10	股関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価①(変形性股関節症①)								齋藤
11	股関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価②(変形性股関節症①)								齋藤
12	股関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価③(変形性股関節症②)								齋藤
13	股関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価④(大腿骨頸部骨折①)								齋藤
14	股関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価⑤(大腿骨頸部骨折②)								齋藤
15	股関節周囲の主な疾患、治療方針、理学療法評価⑥(大腿骨頸部骨折③)								齋藤
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 解剖学、生理学、運動学を復習して授業に臨む。 復習: 前回授業の見直し、疑問点・不明点の解決を行う。								
学修評価の 基準と方法	定期試験100%								
試験時期	定期試験期間内に実施								
テキスト・参考書	テキスト: 実施しない、配布プリントあり								
	参考書: 随時紹介								
教員紹介	和田: スポーツクリニックでアスリートのリハビリ担当や、スポーツ現場でアスレティックトレーナーとしての活動経験がある。 齋藤: 総合病院(急性期/回復期/維持期/在宅)・介護老人保健施設での勤務経験がある。								
その他	演習が実施可能な服装で授業を受けることが望ましい。 講義の進捗状況により、講義内容を変更する可能性がある。								

# 講 義 要 項

科目名	運動器系理学療法治療学Ⅲ(体幹)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	和田桃子								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	木	時限	2		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体幹の運動器疾患の運動療法を行えるようになるため、必要な基礎知識を身につけることを目的とする。</li> <li>・各運動器疾患に求められる医学的知識、理学療法評価、治療概念を学習する。</li> </ul>								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.体幹の運動器疾患について理解する。</li> <li>2.体幹の運動器疾患における理学療法評価、治療方針を理解する。</li> </ol>								
授業方法	講義: 視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。 演習: 配布印刷物を参考にしながら実技を実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	組織治癒(骨・軟部組織の解剖、組織治癒過程)								和田
2	運動療法について								和田
3	体幹の機能解剖								和田
4	腰部の主な疾患、治療方針、理学療法評価①(筋筋膜性腰痛症)								和田
5	腰部の主な疾患、治療方針、理学療法評価②(仙腸関節痛)								和田
6	腰部の主な疾患、治療方針、理学療法評価③(脊椎分離症)								和田
7	腰部の主な疾患、治療方針、理学療法評価④(腰椎椎間板ヘルニア)								和田
8	腰部の主な疾患、治療方針、理学療法評価⑤(脊椎圧迫骨折)								和田
9	腰部の主な疾患、治療方針、理学療法評価⑥(脊柱管狭窄症)								和田
10	頭頸部の主な疾患、治療方針、理学療法評価①(頸椎捻挫、バーナー症候群)								和田
11	頭頸部の主な疾患、治療方針、理学療法評価②(スポーツ関連疾患)								和田
12	実技テスト								和田
13	ケーススタディ(グループ)								和田
14	ケーススタディ(グループ)								和田
15	ケーススタディ(発表)								和田
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 解剖学、生理学、運動学を復習して授業に臨む。 復習: 前回授業の見直し、疑問点・不明点の解決を行う。								
学修評価の 基準と方法	定期試験80%、実技試験10%、グループ発表10%								
試験時期	定期試験期間内に実施								
テキスト・参考書	テキスト: 実施しない、配布プリントあり								
	参考書: 随時紹介								
教員紹介	担当教員は、スポーツクリニックでアスリートのリハビリ担当や、スポーツ現場でアスレティックトレーナーとしての活動経験がある。								
その他	演習が実施可能な服装で授業を受けることが望ましい。 講義の進捗状況により、講義内容を変更する可能性がある。								

# 講 義 要 項

科目名	発達障害系理学療法学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	伊藤 晃洋								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	火	時限	1		
授業概要	正常発達について 小児リハ分野の評価バッテリー 小児リハで関わることの多い疾患の概要・評価方法・治療プログラムの立案								
学修目標	対象疾患の特性と病態を理解する。障害構造を把握し相関図を作成できる。介入プログラムを立案できる。								
授業方法	講義および授業内小テストを実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/9	(火)	1限	正常発達のポイント①(発達概論、運動発達、巧緻性の発達)					伊藤 晃洋
2	9/16	(火)	1限	正常発達のポイント②(あそびの発達、感覚機能の発達、心理的発達) 小児リハビリテーションの際に活用する評価バッテリー					伊藤 晃洋
3	9/30	(火)	1限	小児分野の評価方法(事例検討)小児分野に関係する疾患等)					伊藤 晃洋
4	10/7	(火)	1限	脳性麻痺の概要 痙直型脳性麻痺の評価					伊藤 晃洋
5	10/14	(火)	1限	痙直型脳性麻痺の理学療法介入①					伊藤 晃洋
6	10/21	(火)	1限	痙直型脳性麻痺の理学療法介入②					伊藤 晃洋
7	10/28	(火)	1限	アトニーゼ型脳性麻痺の評価					伊藤 晃洋
8	11/4	(火)	1限	アトニーゼ型脳性麻痺の理学療法介入①					伊藤 晃洋
9	11/11	(火)	1限	アトニーゼ型脳性麻痺の理学療法介入②					伊藤 晃洋
10	11/18	(火)	1限	先天性神経筋疾患の評価と理学療法					伊藤 晃洋
11	11/25	(火)	1限	二分脊椎の理学療法評価と理学療法介入					伊藤 晃洋
12	12/2	(火)	1限	ダウン症、染色体異常の評価と理学療法介入					伊藤 晃洋
13	12/9	(火)	1限	産時、NICUでの評価と理学療法介入					伊藤 晃洋
14	12/16	(火)	1限	事例検討					伊藤 晃洋
15	12/23	(火)	1限	まとめ					伊藤 晃洋
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	小児科学、人間発達の授業内容を復習して受講する。原始反射の出現・統合時期について復習して受講すること。								
学修評価の 基準と方法	小テスト(20%)、定期試験(80%)								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書									
教員紹介	賛育会病院 理学療法士								
その他	事前学習と事後学習を行い講義の理解度を高めること。口頭試問に積極的に参加すること。								

# 講 義 要 項

科目名	内部障害系理学療法 I (呼吸器、循環器等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	秋保 光利								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	水	時限	1		
授業概要	呼吸器疾患のリハビリテーションに関連する生理学や解剖学、疾患の知識などの基礎知識を復習し、呼吸器疾患と循環器疾患による障害の特性をふまえたリハビリテーションについて学ぶ。								
学修目標	1) 理学療法として知っておくべき呼吸器および循環器疾患の理解 2) 呼吸、循環リハビリテーションの中での評価方法やリスク管理方法を習得する 3) 実際の呼吸理学療法、運動負荷における呼吸循環動態の変化を理解し、正しい運動療法や患者指導方法を習得する								
授業方法	講義を行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/2	(水)	1限	授業全体のオリエンテーション、循環器疾患の疫学					秋保 光利
2	4/9	(水)	1限	循環器の解剖と生理に復習					秋保 光利
3	4/16	(水)	1限	病態→虚血性心疾患について、動脈硬化について					秋保 光利
4	4/23	(水)	1限	心臓リハビリテーションPhase I					秋保 光利
5	4/30	(水)	1限	心臓リハビリテーションPhase II					秋保 光利
6	5/7	(水)	1限	心臓リハビリテーションPhase III					秋保 光利
7	5/14	(水)	1限	運動処方					秋保 光利
8	5/21	(水)	1限	運動負荷試験、リスク管理					秋保 光利
9	5/28	(水)	1限	呼吸器疾患の疫学、呼吸器の解剖と生理の復習					秋保 光利
10	6/4	(水)	1限	病態→拘束性換気障害、閉塞性換気障害について					秋保 光利
11	6/11	(水)	1限	包括的呼吸リハビリテーションについて					秋保 光利
12	6/18	(水)	1限	呼吸器疾患のフィジカルアセスメント					秋保 光利
13	6/25	(水)	1限	呼吸理学療法(気道クリアランス、呼吸法など)					秋保 光利
14	7/2	(水)	1限	呼吸器疾患の運動療法の考え方					秋保 光利
15	7/9	(水)	1限	早期離床の考え方(循環、呼吸の見方)					秋保 光利
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	呼吸器、循環器の生理学と解剖学などを予習すること。講義では、講義用レジュメを配りますので毎回持参して下さい。								
学修評価の 基準と方法	期末テスト80%、提出レポート20%								
試験時期	2024年7月28日(月)～8月1日(金)								
テキスト・参考書	① テキスト	15レクチャー理学療法テキスト 内部障害理学療法学 循環・代謝 第2版 責任編集:木村雅彦, 総編集:石川朗 中山書店							
	② 参考書	「狭心症・心筋梗塞のリハビリテーション」木全 心一編著 南江堂 「PTマニュアル 循環器疾患の理学療法」奈須田 鎮雄著 医歯薬出版 「心電図と不整脈の手引き」村松 準 南江堂							
教員紹介	東京医療学院大学 准教授、理学療法士。三井記念病院にて2000年より呼吸リハビリテーション、2009年より心臓リハビリテーションの臨床と研究に従事。呼吸器と心大血管疾患リハビリといった内部障害リハビリテーションを得意とする。								
その他									

# 講 義 要 項

科目名	日常生活活動学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	畠山 靖尚								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	月	時限	1		
授業概要	対象者に日常生活活動(以下:ADL)の練習が出来るようになることを目標に、ADLの基本的支援方法について学び、理解することを目標とする。また、模擬症例の動作動画や検査結果からADLの状況を踏まえて統合と解釈を行い、目標設定を行う。そのうえで、科学的根拠のある治療方法立案を経験することも目標とする。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ADLの基本的支援方法について理解することができる。</li> <li>2. 模擬症例の全体像を捉え、適切な統合と解釈を行うことができる。</li> <li>3. 統合と解釈から目標設定および治療方法の立案を行うことができる。</li> </ol>								
授業方法	グループワーク、ディスカッションを取り入れながら、講義や演習を実施する。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	臨床実習におけるレジュメ作成について								畠山
2	レジュメ作成に関する基礎知識								畠山
3	ケーススタディ① :カルテ・情報収集、障害像・症状の把握								畠山
4	ケーススタディ② :問題点抽出・提示、順位付け、ゴール設定								畠山
5	"								畠山
6	ケーススタディ③ :治療プログラム、考察、統合と解釈								畠山
7	"								畠山
8	レジュメ作成								畠山
9	治療提示								畠山
10	治療提示								畠山
11	ケーススタディ④								畠山
12	ケーススタディ⑤								畠山
13	ケーススタディ⑥								畠山
14	ケーススタディ⑦								畠山
15	まとめ								畠山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習:毎回の講義前に参考書等の関連部分を熟読すること 復習:講義後、配布資料および参考書等を再読し、理解を深める								
学修評価の 基準と方法	定期試験 100%								
試験時期	筆記試験については定期試験期間内に行う。実技試験については日程調整して行う。								
テキスト・参考書	テキスト:指定しない。								
	参考書:講義の中で適宜紹介する。								
教員紹介	担当教員は急性期・回復期病院と勤務した経験があり、現在、病院勤務・地域貢献と活動している。 実務経験に基づいた授業を展開する。修士:人間科学								
その他	・質問は、講義終了後もしくは適宜対応する。								

# 講 義 要 項

科目名	物理療法学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	小堺秀樹								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	水	時限	2		
授業概要	物理療法の定義と分類、運動療法との関連を学び、①温熱療法、②寒冷療法、③水治療法、④超音波療法、⑤電気刺激療法、⑥電磁エネルギー療法、⑦衝撃波療法、⑧牽引療法、等について各物理エネルギーの特徴と生理的作用、適応、禁忌、リスク管理について学習する。機器を使用して自ら体験し、実際の治療現場を意識して患者への説明および物理療法の実施ができるようになるための演習を行う。								
学修目標	1.生体に対する様々な物理的刺激の作用を説明できる。 2.各種物理療法の適応と禁忌を説明できる。 3.各種物理療法を適切に選択することができる。 4.各種物理療法を実践することができる。								
授業方法	講義：視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。 演習：各種物理療法機器を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	物理療法学総論								小堺
2	物理療法の適応と禁忌								小堺
3	物理療法におけるクリニカルリーズニングと評価								小堺
4	温熱療法(概論、ヒートパック、パラフィン浴)								小堺
5	演習(温熱療法)								小堺
6	寒冷療法								小堺
7	演習(寒冷療法)								小堺
8	水治療法								小堺
9	演習(水治療法)								小堺
10	超音波療法								小堺
11	演習(超音波療法)								小堺
12	電気刺激療法								小堺
13	演習(電気刺激療法)								小堺
14	電磁エネルギー療法、衝撃波療法、牽引療法								小堺
15	演習(電磁エネルギー療法、他)								小堺
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習：テキストの当該ページを読んでおく。 復習：前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験：100%。								
試験時期	筆記試験：定期試験期間内に実施。								
テキスト・参考書	テキスト：物理療法学テキスト改訂第3版 木村貞治・他(編)南江堂 ISBN978-4-524-25179-7 参考書：標準理学療法学専門分野物理療法学第5版 網本和・他(編)医学書院 ISBN978-4-260-03948-2 参考書：15レクチャーシリーズ理学療法テキスト物理療法学・実習 日高正巳・他(編)中山書店 ISBN978-4-521-73670-9								
教員紹介	担当教員は理学療法士として医療提供施設(病院、診療所、介護老人保健施設等)に勤務した経験があり、実務経験に基づいて理学療法評価の習得に向けた授業を展開する。修士(学術)。								
その他	演習を行うことが可能な服装が好ましい。 講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	装具学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	畠山 靖尚								
開講年度	2025年度	学期	前期	曜日	木	時限	2		
授業概要	各装具についての構造や機能を学習し、装具に関する総合的な知識の習得を目的とする。下肢装具を中心に装具使用者のチェックアウトが可能となるように学習を進める。最終的に様々な疾患に合わせた装具の選択および装具を使用しての動作練習など運動療法への展開を図る。								
学修目標	各装具についての構造や機能を理解し、運動療法に活用できるようになる。 1. 装具の目的、構造、適応について説明できる 2. 様々な疾患に合わせた装具の選択およびチェックアウトができる 3. 運動療法への活用ができる								
授業方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義を中心にすすめる</li> <li>・グループワーク、実技演習を行う</li> </ul>								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	4/3 (木) 2限	装具学総論							畠山靖尚
2	4/10 (木) 2限	下肢装具の構成部品とそのチェックアウト							畠山靖尚
3	4/17 (木) 2限	足継手の制御機構							畠山靖尚
4	4/24 (木) 2限	疾患別の装具療法①整形外科的装具							畠山靖尚
5	5/1 (木) 2限	疾患別の装具療法②頸椎疾患・胸腰椎疾患の装具							畠山靖尚
6	5/8 (木) 2限	疾患別の装具療法③末梢神経障害の装具							畠山靖尚
7	5/15 (木) 2限	疾患別の装具療法④脊柱側弯症の装具							畠山靖尚
8	5/22 (木) 2限	疾患別の装具療法⑤靴型装具 小児疾患の装具							畠山靖尚
9	5/29 (木) 2限	脳卒中片麻痺者の歩行観察 ①							畠山靖尚
10	6/5 (木) 2限	脳卒中片麻痺者の歩行観察 ②							畠山靖尚
11	6/12 (木) 2限	疾患別の装具療法⑥脳卒中片麻痺の装具							畠山靖尚
12	6/19 (木) 2限	長下肢装具介助歩行(実技)							畠山靖尚
13	6/26 (木) 2限	短下肢装具のチェックアウト(実技)							畠山靖尚
14	7/3 (木) 2限	片麻痺患者の歩行観察と短下肢装具検討							畠山靖尚
15	7/10 (木) 2限	まとめ							畠山靖尚
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 毎回の講義前に指定された参考書の関連部分を熟読すること 復習: 講義後、配布資料および参考書を再読し、理解を深める								
学修評価の 基準と方法	本試験90% 授業内課題10%								
試験時期	前期期末試験期間								
テキスト・参考書	豊田輝, 石垣栄司. 『義肢・装具学異常とその対応がわかる動画付き第2版』羊土社, 2023. ISBN978-4-7581-0263-6								
	石川朗(編). 15レクチャーシリーズ, 理学療法テキスト, 装具学. 中山書店, 2018. ISBN978-4-521-73226-8								
教員紹介	担当教員は急性期・回復期病院と勤務した経験があり、現在は総合病院・地域貢献と活動している。 実務経験に基づいた授業を展開する。修士: 人間科学								
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークの時間では、自分の考えをアウトプットする練習の場にしてほしい。</li> <li>・質問は、講義終了後もしくは適宜対応する。</li> </ul>								

# 講 義 要 項

科目名	義肢学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	3	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	岡安 健								
開講年度	2025年度	開講学期	後期	曜日	水	時限	1		
授業概要	義肢は断端に対して正確に適合することや患者の生活能力に合わせた複数の機能を持ち合わせ、連続的に装着することができるような条件を兼ね備えることが必要となる。このため、義肢学を学ぶ上では理学療法評価、解剖学、運動学、物理学、工学など複数の学問に精通していることが求められる。講義ではこれらの知識補充を行いながら、義肢装着患者の理学療法を展開できる治療者の育成を目指す。								
学修目標	切断の理学療法が行えるようになる。								
授業方法	教科書および項目ごとの資料による講義形式								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	9/10	(水)	1限	総論、切断の原因					岡安 健
2	9/17	(水)	1限	断端管理、評価					岡安 健
3	9/24	(水)	1限	評価、義肢の装着時期					岡安 健
4	10/1	(水)	1限	術前の理学療法、義肢について					岡安 健
5	10/8	(水)	1限	大腿義足ソケットについて、膝継手について					岡安 健
6	10/15	(水)	1限	足継手について、アライメント					岡安 健
7	10/22	(水)	1限	アライメント、義肢装着時訓練					岡安 健
8	10/29	(水)	1限	ダイナミックアライメント					岡安 健
9	11/5	(水)	1限	義手、股義足					岡安 健
10	11/12	(水)	1限	義手スライド					岡安 健
11	11/19	(水)	1限	義手の評価					岡安 健
12	11/26	(水)	1限	下肢義足					岡安 健
13	12/3	(水)	1限	下肢義足					岡安 健
14	12/10	(水)	1限	股義足					岡安 健
15	12/17	(水)	1限	サイム切断・膝離断・足部切断					岡安 健
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	配布資料や教科書の熟読による予習と復習。								
学修評価の 基準と方法	試験の成績による。								
試験時期	2026年1月14日(水)～1月20日(火)								
テキスト・参考書	テキスト:「PT・OTビジュアルテキスト 義肢・装具学 異常とその対応がわかる動画付き」 羊土社								
教員紹介	理学療法士、東京医科歯科大学病院 リハビリテーション科 副部長・理学療法技士長								
その他									

2025 年度  
講 義 要 領  
(シラバス)

理学療法学科  
夜間部 4 年生



専門学校東京医療学院

# 講 義 要 項

科目名	地域リハビリテーションⅡ(生活環境)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	畠山 靖尚								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	金	時限	1		
授業概要	生活環境を、住居や公共交通機関、公共建築物などに代表される物理的環境のみならず、福祉制度や施策といった制度的環境、あるいは家族や介護者、専門家、当事者、ボランティア等、人的環境の視点からも捉え、障害者や高齢者の自立した主体的生活を保障するために、生活環境整備や改善の支援について学習し、理解することを目標とする。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活環境の概念を説明できる。</li> <li>2. 基本的な生活環境整備を説明できる。</li> <li>3. 疾患や障害に応じた生活環境を整備できる。</li> </ol>								
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	生活環境の概念								畠山
2	日本における生活環境の特徴と課題								畠山
3	生活環境整備に関する法的制度								畠山
4	生活環境整備の進め方								畠山
5	生活環境整備の基本①								畠山
6	生活環境整備の基本②								畠山
7	玄関、アプローチの環境整備								畠山
8	廊下、階段の環境整備								畠山
9	トイレの環境整備								畠山
10	浴室、脱衣室の環境整備								畠山
11	台所、食堂の環境整備								畠山
12	居間、寝室の環境整備								畠山
13	疾患別環境整備(中枢神経障害)								畠山
14	疾患別環境整備(運動器障害)								畠山
15	基本的な建築図面の読み方、書き方								畠山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は急性期・回復期病院に勤務した経験があり、現在急性期病棟勤務・地域貢献と活動している。 実務経験に基づいた授業を展開する。修士: 人間科学								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法概論Ⅳ(疾患別対応の実際)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	小堺秀樹								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	水	時限	1		
授業概要	各評価法、運動療法、技術論で学習してきた内容を深め、得られた情報から対象者に対する理学療法をどのように展開していくかディスカッションを通して学習する。また、各疾患に対する理学療法手技の習熟度を深めていく。								
学修目標	社会情勢の変化に伴い理学療法の対象領域が広がってきていることを認識する。 理学療法診療ガイドラインについて理解する。								
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	理学療法診療ガイドライン								小堺
2	背部痛								小堺
3	腰椎椎間板ヘルニア								小堺
4	膝前十字靭帯損傷								小堺
5	肩関節周囲炎								小堺
6	変形性膝関節症								小堺
7	脳卒中								小堺
8	脊髄損傷								小堺
9	パーキンソン病								小堺
10	脳性麻痺								小堺
11	糖尿病								小堺
12	心大血管疾患								小堺
13	慢性閉塞性肺疾患(COPD)								小堺
14	身体的虚弱(高齢者)								小堺
15	下肢切断								小堺
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は理学療法士として医療提供施設(病院、診療所、介護老人保健施設等)に勤務した経験があり、実務経験に基づいて理学療法評価の習得に向けた授業を展開する。修士(学術)。								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法概論Ⅴ(トピックス)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	小堺秀樹								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	金	時限	2		
授業概要	患者及び障害児等、高齢者の理学療法を展開していくために必要な知識や技術を習得し、実践することができるようになることを目的とする。症例やトピックスを通して課題解決能力を培うことを目標とする。								
学修目標	疾患や障害に関する理学療法を理解し、臨床医学の視点から各分野の課題を明確にする。救急医療は、医療福祉にたずさわる者にとって必須分野の知識であり、急変時に素早く対応できるような知識と技術を身につける。								
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	がんのリハビリテーション   文献紹介								小堺
2	がんの理学療法								小堺
3	呼吸器疾患のリハビリテーション   文献紹介								小堺
4	呼吸器疾患の理学療法								小堺
5	神経難病のリハビリテーション   文献紹介								小堺
6	神経難病の理学療法								小堺
7	小児疾患のリハビリテーション   文献紹介								小堺
8	小児疾患の理学療法								小堺
9	地域リハビリテーションと理学療法(通所リハビリテーション)								小堺
10	地域リハビリテーションと理学療法(訪問リハビリテーション)								小堺
11	地域リハビリテーションと理学療法(入所リハビリテーション)								小堺
12	救急医療(人工呼吸器の構造と種類)								小堺
13	救急医療(人工呼吸器の臨床)								小堺
14	救急救命(心肺蘇生の基礎理論)								小堺
15	救急救命(心肺蘇生の方法)								小堺
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は理学療法士として医療提供施設(病院、診療所、介護老人保健施設等)に勤務した経験があり、実務経験に基づいて理学療法評価の習得に向けた授業を展開する。修士(学術)。								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。 演習を行うことが可能な服装が好ましい。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法研究法						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	山本純一郎								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	木	時限	1		
授業概要	自然科学、社会科学を含めた理学療法学における研究の基本的な考え方を学修する。研究の企画および実践に必要な、倫理、実験計画、データ分析、考察、論文の書き方などの知識を学修する。また、データ分析時に必要な統計処理ソフトの使用法、考察時に必要な文献検索方法、論文の読み方などについても学修する。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理学療法における研究の意義と必要性を説明できる。</li> <li>2. 学術論文の検索を行い、読み方を理解できる。</li> <li>3. 研究方法の概略を説明できる。</li> <li>4. 学術論文の構成を説明できる。</li> </ol>								
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	理学療法における研究の意義と必要性								山本
2	研究倫理								山本
3	システマティック・レビュー、メタアナリシス								山本
4	シングルケーススタディ、症例報告								山本
5	学術論文の検索方法								山本
6	学術論文の読み方①								山本
7	学術論文の読み方②								山本
8	学術論文の読み方③								山本
9	研究テーマの選択								山本
10	研究対象の選択								山本
11	研究デザインの種類、エビデンスレベル								山本
12	データ測定								山本
13	統計処理①								山本
14	統計処理②								山本
15	考察								山本
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は回復期リハビリテーション病院に勤務した経験があり、現在も回復期病棟で活動を継続している。実務経験に基づき、臨床実習に向けた知識や技術の習得を目的に講義を行う								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法管理学						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	山本純一郎								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	木	時限	2		
授業概要	リハビリテーションに関連する組織を学び、専門職としてチーム医療に関わる為の管理運営を理解し、業務を遂行できる事を目的とする。具体的には業務管理、労務管理、教育システムから経営管理まで幅広い管理運営を学び、将来的に管理職として業務を遂行できる知識を習得することを目標とする。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理学療法管理学の概要を説明できる。</li> <li>2. チーム医療および関連する各種管理を説明できる。</li> <li>3. 各種保険制度を説明できる。</li> </ol>								
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	理学療法管理学総論								山本
2	病院の分類と組織								山本
3	専門職とチームケア								山本
4	社会保障のしくみ								山本
5	医療保険制度								山本
6	介護保険制度								山本
7	診療・介護報酬と収益構造								山本
8	保健・医療・介護・福祉の連携								山本
9	業務管理								山本
10	情報管理								山本
11	リスク管理								山本
12	感染症管理								山本
13	権利擁護と職業倫理								山本
14	教育管理								山本
15	理学療法士の政治・政策への関与								山本
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は回復期リハビリテーション病院に勤務した経験があり、現在も回復期病棟で活動を継続している。実務経験に基づき、臨床実習に向けた知識や技術の習得を目的に講義を行う								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	内部障害系理学療法学Ⅱ(糖尿病、がん、腎疾患、吸引法等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義・演習
担当教員	○畠山靖尚、山下幸華								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	水	時限	2		
授業概要	糖尿病、がん、腎臓疾患等の内部障害の理学療法が行えるようになるため、必要な知識を身につけることを目的とする。内部障害に対する評価法、目標設定と治療計画、リスク管理など理学療法の基本原則と流れを学習する。また、喀痰等の吸引といった実技の習得も目標とする。								
学修目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 糖尿病の理学療法を説明できる。</li> <li>2. がん(悪性腫瘍)の理学療法を説明できる。</li> <li>3. 腎機能障害の理学療法を説明できる。</li> <li>4. 気管吸引について説明し、実施できる。</li> </ol>								
授業方法	講義: 視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。 演習: 配布印刷物、参考書を参照しながらグループで行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	代謝障害の概要								畠山
2	糖尿病の障害理解								畠山
3	糖尿病の理学療法①								畠山
4	糖尿病の理学療法②								畠山
5	糖尿病の理学療法③								畠山
6	がん(悪性腫瘍)の概要								畠山
7	がん(悪性腫瘍)の障害理解								畠山
8	がん(悪性腫瘍)の理学療法①								畠山
9	がん(悪性腫瘍)の理学療法②								畠山
10	腎機能障害の概要								畠山
11	腎機能障害の障害理解								畠山
12	腎機能障害の理学療法①								畠山
13	腎機能障害の理学療法②								畠山
14	気管吸引①								山下
15	気管吸引②								山下
準備学修(予習・復習)等の内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は急性期・回復期病院に勤務した経験があり、現在急性期病棟勤務・地域貢献と活動している。実務経験に基づいた授業を展開する。修士: 人間科学								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。 演習を行うことが可能な服装が好ましい。								

# 講 義 要 項

科目名	理学療法学特論						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	○山本純一郎、齋藤秀之、秋保光利、岡安健(オムニバス)								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火・水・木・金	時限	1～2		
授業概要	理学療法士の使命、倫理を知り、職業教育を通してキャリア教育の重要性を理解する。理学療法士の職域、関係する法制度、生涯学習について理解し、実践することができるようになることを目標とする。								
学修目標	理学療法士の使命を理解する。 理学療法士の倫理を理解する。 キャリア教育を理解する。								
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	理学療法士の生涯学習①								齋藤
2	理学療法士の生涯学習②								齋藤
3	理学療法士が働く医療の現場(呼吸器①)								秋保
4	理学療法士が働く医療の現場(呼吸器②)								秋保
5	理学療法士が働く医療の現場(循環器①)								秋保
6	理学療法士が働く医療の現場(循環器②)								秋保
7	理学療法士が働く医療の現場(発達①)								山本
8	理学療法士が働く医療の現場(発達②)								山本
9	理学療法士が働く医療の現場(切断①)								岡安
10	理学療法士が働く医療の現場(切断②)								岡安
11	理学療法士が働く保健・福祉の現場								山本
12	理学療法士に関連する法律								山本
13	理学療法士の使命、倫理								山本
14	理学療法の対象、領域								山本
15	理学療法臨床過程								山本
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は回復期リハビリテーション病院に勤務した経験があり、現在も回復期病棟で活動を継続している。実務経験に基づき、知識や技術の習得を目的に講義を行う								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。 日程変更に留意する。								

# 講 義 要 項

科目名	臨床推論 I (神経系等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	○小塚秀樹、畠山靖尚								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火・水	時限	1～2		
授業概要	理学療法評価の核心をなす機能状態、障害の把握などの臨床的な判断能力を培うことを目的とし、理学療法における臨床的意思決定能力を養うこと、神経系疾患患者の動作分析能力を養うこと、神経系疾患患者の全体像を踏まえて目標設定をする能力を養うことを目標とする。								
学修目標	各疾患の概要を理解する。 各疾患にみられる代償運動を理解する。 各疾患に対する理学療法評価と治療を理解する。								
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	脳血管障害(急性期)①								小塚
2	脳血管障害(急性期)②								小塚
3	脳血管障害(回復期)①								畠山
4	脳血管障害(回復期)②								畠山
5	脳血管障害(生活期)①								小塚
6	脳血管障害(生活期)②								小塚
7	脳血管障害   高次脳機能障害								畠山
8	脳血管障害   嚥下障害								畠山
9	脳血管障害   小脳性運動失調①								小塚
10	脳血管障害   小脳性運動失調②								小塚
11	パーキンソン病①								畠山
12	パーキンソン病②								畠山
13	多発性硬化症								小塚
14	筋萎縮性側索硬化症								小塚
15	Guillain-Barre症候群								畠山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は理学療法士として医療提供施設(病院、診療所、介護老人保健施設等)に勤務した経験があり、実務経験に基づいて理学療法評価の習得に向けた授業を展開する。修士(学術)。								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	臨床推論Ⅱ(運動器系等)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	○山本純一郎、畠山靖尚								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	木・金	時限	1～2		
授業概要	理学療法評価の核心をなす機能状態、障害の把握などの臨床的な判断能力を培うことを目的とし、理学療法における臨床的意思決定能力を養うこと、運動器系疾患患者の動作分析能力を養うこと、運動系疾患患者の全体像を踏まえて目標設定をする能力を養うことを目標とする。								
学修目標	各疾患の概要を理解する。 各疾患にみられる代償運動を理解する。 各疾患に対する理学療法評価と治療を理解する。								
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	変形性膝関節症(保存療法)								山本
2	変形性膝関節症(手術療法)								山本
3	変形性膝関節症(高齢者プログラム)								畠山
4	変形性股関節症(保存療法)								畠山
5	変形性股関節症(手術療法)								山本
6	骨性障害   大腿骨頸部骨折(術前・術後)								山本
7	骨性障害   大腿骨頸部骨折(術後回復期)								畠山
8	骨性障害   大腿骨転子部骨折(術前・術後)								畠山
9	骨性障害   大腿骨転子部骨折(術後回復期)								山本
10	骨性障害   脊椎圧迫骨折(保存療法)								山本
11	脊椎性障害   腰椎椎間板ヘルニア								畠山
12	脊椎性障害   脊柱管狭窄症								畠山
13	脊椎性障害   慢性腰痛症								山本
14	関節リウマチ								山本
15	スポーツ外傷								畠山
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は回復期リハビリテーション病院に勤務した経験があり、現在も回復期病棟で活動を継続している。実務経験に基づき、知識や技術の習得を目的に講義を行う								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	地域理学療法学特論 I (展開と実際)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	小堺秀樹								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火	時限	1		
授業概要	地域における理学療法士の職域は拡大している。災害時における活動支援、国際支援における理学療法士の役割、緩和ケア・終末期医療における理学療法士の役割、そのほか産業理学療法、特別支援教育、スポーツ活動支援における理学療法士の役割を理解することを目標とする。								
学修目標	1. 地域理学療法における各種展開を説明できる。 2. 地域理学療法における理学療法士の役割を説明できる。								
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	地域理学療法総論								小堺
2	行政における理学療法士の役割								小堺
3	介護予防の展開								小堺
4	介護保険下の入所サービスの展開								小堺
5	介護保険下の通所サービスの展開								小堺
6	訪問における理学療法の展開								小堺
7	集団への対応								小堺
8	入院・入所から在宅への準備								小堺
9	成人障害者支援施設の取り組み								小堺
10	小児施設の取り組み								小堺
11	障害者とスポーツ								小堺
12	地域療育(乳幼児期)における理学療法士の役割								小堺
13	地域療育(学童期)における理学療法士の役割								小堺
14	地域における健康増進								小堺
15	自主グループ活動への支援								小堺
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は理学療法士として医療提供施設(病院、診療所、介護老人保健施設等)に勤務した経験があり、実務経験に基づいて理学療法評価の習得に向けた授業を展開する。修士(学術)。								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								

# 講 義 要 項

科目名	地域理学療法学特論Ⅱ(トピックス)						対象学科・専攻	理学療法学科 夜間部	
必修・選択	必修	配当年次	4	単位	1	時間	30	授業形態	講義
担当教員	小堺秀樹								
開講年度	2025年度	学期	後期	曜日	火	時限	2		
授業概要	患者及び障害児者、高齢者の地域における生活を支援していくために必要な知識や技術を習得し、ケースやトピックスを通して課題解決能力を培うことを目標とする。								
学修目標	1. 地域理学療法におけるリスクマネジメントを説明できる。 2. 地域における生活援助の方法論を説明できる。								
授業方法	視聴覚材料、配布印刷物を用いて行う。								
授業計画									
NO	授業内容								担当教員
1	施設におけるリスクマネジメント								小堺
2	訪問におけるリスクマネジメント								小堺
3	体力増進とリスクマネジメント								小堺
4	対人援助技術①								小堺
5	対人援助技術②								小堺
6	生活場面での疾患・障害像の理解(認知症)								小堺
7	生活場面での疾患・障害像の理解(精神領域)								小堺
8	生活場面での疾患・障害像の理解(発達障害)								小堺
9	生活場面での疾患・障害像の理解(精神発達遅滞)								小堺
10	生活場面での疾患・障害像の理解(脳血管障害)								小堺
11	生活場面での疾患・障害像の理解(神経変性疾患)								小堺
12	生活場面での疾患・障害像の理解(嚥下障害)								小堺
13	生活場面での疾患・障害像の理解(慢性呼吸不全)								小堺
14	生活場面での疾患・障害像の理解(脊髄損傷)								小堺
15	生活場面での疾患・障害像の理解(ターミナルケア)								小堺
準備学修 (予習・復習)等の 内容と分量	予習: 紹介した参考書の関連部分を読んでおく。 復習: 前回までの講義内容を確認し、疑問点があれば質問し解決する。								
学修評価の 基準と方法	筆記試験: 100%。								
試験時期	後期日程に適宜実施。								
テキスト・参考書	テキスト: 指定しない。								
	参考書: 随時紹介する。								
教員紹介	担当教員は理学療法士として医療提供施設(病院、診療所、介護老人保健施設等)に勤務した経験があり、実務経験に基づいて理学療法評価の習得に向けた授業を展開する。修士(学術)。								
その他	講義の進捗状況により講義内容を変更することがある。								